

Title	京都大学附属図書館蔵清家文庫『老子経抄』翻印並びに校異・解題
Sub Title	
Author	山城, 喜憲(Yamashiro, Yoshiharu)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1991
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.26 (1991.) ,p.265- 402
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	資料紹介
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000026-0265

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

京都大学
附属図書館 蔵 清家文庫 『老子経抄』

翻印並びに校異・解題

山城喜憲

凡例

一、本翻印に当たり、底本としたのは、左記の古鈔本である。

老子経抄 二卷 「室町末近世初」写 一冊 京都大学

附属図書館蔵 清家文庫 (略称 底本)

一、次の両本を参照対校し、校異を附す。

同 「室町末近世初」写 二冊 財団法人陽明文庫蔵

(略称 陽本)

同 「近世初」写 一冊 京都大学文学部国文学研究室

蔵

(略称 京本)

一、底本の忠実なる復元を期し、本文の誤字・脱字・衍文はも

とより、訓点・振仮名・仮名使いの誤りと雖も、底本通りそ

のままに翻字し、私意に懸かる訂正は一切加えない。只、本

翻印の誤植と誤認される懼れのある場合に限って、該字句左

旁に(ママ)を附贅した。

一、本書の行間には追補の加筆が希に存する(祖本既存の加筆

と見做され、底本書写者による増補ではない)。翻印では、

底本のままに、当該箇所行間に翻字した。只、行字数の関係

で多少のずれが生じている。

一、底本の見消し補訂の箇所は、原則としてその訂正するところに従い、原状は「校異」に記すこととする。

一、底本には、朱句点・合点の加筆がみられる。本文書写後程なく、書写者若しくはその近縁者が加点したものとみて支障無いであろう。従って、当時の句読法を伝えるものとして無視できない。依って読解の便宜をも考慮し、底本の加朱のままたまに、句点・合点を施した。

一、印刷技術上の制約により、次の如き更改を余儀無くされた。

1、行字数は、底本のそれを無視した。

2、底本の漢字異体字（略字・別体・俗字・くずし字等）、

異体の仮名等は、支障の無い限り原則として通行の字体に改める。

3、地名・人名・書名等に附された朱引は、全て省略する。

一、両本との校異は、次の要領に従って記す。

1、陽本との校異

イ、陽本との異同箇所を本文中字旁に*の付簽を以て示し、「校異」に於いて其の相違を記す。

ロ、底本の脱字・脱文が明らかで、陽本に拠って補い得る

場合、その陽本の字句を「」を附して翻印本文中に補

う。振仮名・送仮名・返点についても同様に扱う。

ハ、底本に有って陽本に無い附訓は、イ項に準じて、「校異」にその旨明記する。

ニ、「校異」は、原則として、底本の字句を掲出し、その下に、陽本の当該字句を並記して、同異を示す。見消ちは、該字左旁の「々」を以って示す。

2、京本との校異

イ、異同箇所は、翻印本文左旁に小圈（・）を附し、右旁に校異を記す。

ロ、左旁兩字中間の小圈（・）は、其の兩字の間に右旁の字句が有ることを示す。

ハ、右旁の■は、京本には当該字が無いことを示す。□は、損虫字句、「」は、改行箇所を表す。

ニ、返点・送仮名・振仮名の異同に関しては、原則としてその記述を省略する。

ホ、行間に表記し難い異同の箇所には、△*▽の簽を附して、「校異」中に記す。

老子經抄

老子經序、此序ハ、洪葛カ書ト云義ハ、義述ニ見タリ、

雖然、序サウニモノナイソ、多クハ、發題ニ似タリ、然ト

モ、義述ニ見タリ、ホトニサコソアルラメト也、發題ト

云ハ、老子ノ生テヨリ、以來ノ義ヲ云タル者也、義述ト

云ハ、老子經ノ末書也、葛洪ハ葛稚川也、仙人也、義述

ノ二ノ卷ニ見タリ、葛ハ氏也、是レハコガキ也、故ニ葛

洪序スト、下ニ書也、サテ序ニ、大序ノ終、小序終アリ、

大序ト云ハ、文章ハ少ケレトモ、余所ノ夏ヲ引テ書テ、

愛ノ義理ヲ明スヲ、大序ト云也、亦直ニ此上ヲ明スヲハ、

小序ノ体ト云也、是レハ文章多ケレトモ小序也、文ノ大

小ニ不依也、道德ヲ天地ニ象テ説也、道ハ天、徳ハ地

也、經ハ常也、法也、常ニ断絶ナク、可レ用道ト云心也、

惣ノ五經ト付クル心モ同也、常ト云字ニ、常ノ字ハ、常

住不変、断絶ナイ時ニ書也、毎ノツ子ハ、ツ子ノト云

テ、細々ノ心ニ書也、序ハ緒也、廊也、次也、字訓多ケ

レトモ、此義吉也、如常也、一部大数ヲ、以テ序引挙ケ

テ知ル心也、老子ノ此經ヲ説ク夏ハ、老子ノ年八十三歳

ノ時、周ノ代衰ルヲ見テ、天竺辺ニ行ヘシト思召テ、長

安城東ノ関キ、函谷関ニ御出アル時ニ、関ノ令尹喜、東

ノ方ヲ望見ルニ、來人アリ、老子青牛薄板車ニ乗テ、御

至リアル也、其時尹喜強テ、為レ我著シ書云、尹喜カ道ニ

叶タルヲ知テ、道德經上下ノ二篇ヲ著ス也、亦老子生ル

、夏ハ、周ノ定王元年乙卯九月十四日ノ子ノ時ニ生ル、

也、至關時ハ、周ノ景王廿四年、周ノ平王以下ヲハ、

春秋ノ代ト云、戦国也、經ヲ説所ヲハ、受經臺ト云也、

亦青牛白ハンノ車ニ乗テ、親ト云テ義モアル也、老子變

現ノ夏ハ、事林廣記ニ、委ク見タリ、大古ヨリ以來タ、

漢ノ代ニ至ルマテ、廿七度、変現セラル、也、大古ト云

ハ、伏犧以前ヲ云也、大古ノ時、金闕帝君万法天子ナン

ト、云テ、四度変現セラル、也、伏犧ノ時ハ、鬱花子ト

云、神農ノ時ハ、大成子ト云、黄帝ノ時ハ、廣成子ト云、

顛頊之時ハ、赤精子ト云、帝嚳ノ時ハ、録圖子ト云也、

如此、太古、三皇、五帝、三王、五霸、秦漢ノ代ニ至ル

マテ、廿七度也、周ノ景王時、老子周武王伐紂時ハ、

太公望越王句踐ノ時ハ、范蠡、漢ノ孝文帝ノ時ハ、河上

公也、(河上公ハ)廿七度メ也、生ル、時ハ、母ノ左ノ

腋ヨリ生也、其時紅光満室、紫氣浮天、玉女跪テ捧

蓋、仙童侍衛シ、竜吐水、騰鳳相候、歩々生蓮花、紫

髮重顔、兒圍満也、亦容兒者、黄色、翠眉、鶴髮童顔、

廣額長、重耳大目、疎齒方口、厚唇、額有參平遠理、日

角月絃、鼻骨有双、耳豎大ニシテ、有三門、足踏三二五、

手ニ把二十文、髮有日光、面疑金色、身長一丈二尺、

齒有二十四、其形相殊也、述ト云ハ、義述ト云心也、

葛洪ハソノ名、晋ノ代末ノ者ナルホトニ、漢ノ河上公ノ

時分ヨリハ、四百年ニ少シ余ル也、葛洪ハ、東晋ノ代、

咸和ノ年号中ノ者也、仕正帝也、此書ノ注者、色々多

シ、然トモ、河上公分テ、八十一章ニスル也、天數奇卅

七也、故ニ道經卅七章ニ分也、地數偶四十四也、故ニ

德經四十四章ニ分也、亦嚴遵分テ、七十二章ニスル也、

陽道ハ九、陰道ハ八、故得七十二也、亦唐ノ玄宗モ、

改テ定二章句、上篇云道、下篇ヲ曰徳、尤非也、葛洪

ハ道經ヲ三十六ニスル也、四季ニ陽ニ加テ三十六ニ分也、

德經ヲハ、四十五ニ分也、五行陽ヲ乘テ、四十五ニ分也、

林希逸カ句義アリ、色々ニ注者アレトモ、今日所講、河

上公ヲ用テ講也、老子ハ蓋ト云ヨリ、葛洪カ語也、蓋ト

云ハ、ウタカウ心也、大方ト云心也、上世ト云ハ上古也、

真人ト云ハ、天然ノ性ヲ得タル人ヲハ、真人ト云也、唯

延聖人ト云心也、亦一暎ハ、愛氣養神、益壽延年、

其徳如此ナルヲ、真人ト云トアリ、德經ノ五十四章メニ

見タリ、亦天真獨朗ノ人ト云テ、陰陽ノ神、能ク叶タル

ヲ云ト云義、或人ノ義アリ、ナラシト云点、ウタカ

ウ心ナリ、解形還神イト云ハ、為示有所始、カシ

コニ解形還神、サテ婦人ノ胸中ニ入テ、更生シ、婦人

ノ胸中ニ入ル時ハ、本ノ形ヲカヘテ、入ル所ヲ云也、亦

一陸ハ愛ヘシテ出ルヲ愛ヲ解形返神也、婦人ト云ハ、

タレテモアレ、顯スルトスル時ハ、婦人胸中ニ入テ生

也、婦人ト云ハ、女ノ惣名也、胸中ヲト誦ハ家ノ点也、

更ハ重也、カサ子く生也、其故ハ、太古ノ時ヨリ、漢ノ代マテ、廿七度生也、伏犧以前ヲ太古ト云也、太古ハ

上古也、太古ノ時、万法天子、古有先生、太上玄仲法師、金闕帝君、已上四度変現也、故ニ更ニ生タリト云也、如

此アルハ、示レ有所始也、老子ノ上ニハ、眞實ノ生死

苦ナキ故也、當ニ周時ト云ハ、周ノ定王ノ時也、定王ハ、

周廿四代目ノ王也、母氏ト云ハ、氏ハ付字也、タ、母ト

云ヘキタメ也、楚ト云ハ、国也、苦縣ハ、アカタ也、国

ノハシヲ、アカタト云也、厉郷ト云ハ、其ノ内郷ナリ、

曲仁里ト云ハ、其内ノ里也、李氏ト云ハ、李氏ノ人ノ、

女ニ因テ妊也、周ノ時ニハ、卅人ノ胸中ニ入テ、妊レテ

アルト云、支證也、故ニ老子ノ姓ハ、李氏ト云也、亦指ニ

李樹一、李姓ト云義アリ、流星ト云テ、日ノ如クナル者、

母ノ口中ニ入テ、妊レテ、李樹ノ下ニテ、生レタト云義

アリ、因ト云ハ、チナムト云心ナリ、八十一歳ニノ、八

十一年ノ間、ノ母ノ胎内ニ処也、天太陽ト云ハ、陽ノ極

リハ、九也、陽ハ半ニ取り、陰ハ兆ニ取、陽ヲ九ツ重テ、

天ノ太陽ト云也、故ニ九々、八十一歳ニノ生也、九月九

日ヲ、重陽ト云也、曆數ハ、列次ト云テ、次第也、此大

陽ノ次第ニ應ノ、生ル也、老タル徵ト云ハ、髮眉皎白也、

嬰兒ト云ハ、両乳ノ間ヲ、嬰ト云ホトニ、母ノ両乳ノ間

ニ、イタカル、時ヲ、嬰兒ト云也、故ト云ハ、決前生後

也、老子ト云ハ、老ハ八十ニカ、リ、子ハ嬰兒ニカ、ル

也、中ヲ取テ、老子ト云也、重耳ト云ハ、耳ニ輪ニアリ、

亦義ニハ、耳輪ニハナイ、大キサカ、人ノ耳、ニホトニ

アルト云義也、亦ハ孔ニアルト云義アリ、伯陽ト云ハ、

陽ノ勢ヲ、伯陽ト云也、日ノ如ナル者ノ、飛テ口中ニ入

ト見テ、妊ホトニ、サテ伯陽ト云義也、日勢カ伯陽也、

陽ハ日也、仕周ト云ヨリ、上ト一ツニハ、見マシキ也、

仕周時ハ、文王ノ時、守蔵室史ト云ハ、官ノ一也、蔵

ヲ奉行スル、賤キ官也、老子、聖人ナルホトニ、高位高

官ニモ、御座アルヘケレトモ、無名ヲ為務故也、此官

ノ時ハ、文王ノ時、変邑子ト変シテ、支邑先生ト号シタ

ル時也、一陸ハ、守蔵室史タルトキト、ヨミテ、ヲノ点

ヲ不_レ付誦也、是マテ一段也、惣ノ此序ハ、六段ニ會也、

孔子ト云ヨリ、二段也、此段ニハ、孔子ノ義云也、(エイ)適

周ト云ハ、代テハナシ、周ノ国也、昔周ノ文王、武王

モ、周ノ國、主一國ノ王ナルカ、伐_レ紂天子トナルホトニ、

國ノ名ヲ取テ、代ノ名トスル也、周ノ國ト云アリ、此孔

子ハ、魯ニ御座アリ、老子ハ、周ニ御座アル也、礼ト云

ハ、仁義礼智信、五常ノ道(ヲ)云也、子カ所_レ言ト云

ハ、孔子ヲ云也、孔子ヲヲシテ云心也、其人骨已朽ト云

ハ、五常ノ道、行レタツシ、聖先王違ハ、悉ク、没_レナ

キホトニ、骨已朽ル也、獨_リ其言在耳ト云ハ、獨リハ、

其言ニ獨也、其言ト云ハ、(其)辞バカリ、ノコツテアル也、

其辞ハ、五經六籍ナリ、也莊子ニ云、六經ハ、先王ノ塵迹

ナリト云、五經六籍ハ、先王ノ迹テアル也、如此云心ハ、

汝カ今、五常ノ道、行イタカルハ、人ノ啼唾ナメタルホ

トノ事テアル、先王違ノ迹ヲ、汝カ今ヨツテ、論シテノ

用ハ、無_レ益夏テアル、先王迹尋テ、用イ事テアルト、

孔子ヲ非ル心也、亦在_レ耳ト云点リ、凶也、君子ニ三ア

リ、体道、有_レ德、在位、々々ハ、殷紂夏桀ハ、在位ノ君

子也、孔子老子ハ有_レ德也、得_レ其人則嘉祥ト云ハ、其人ト

云ハ、聖人ノ德アツテ、在位ノ人ヲ云也、如此有_レ德ノ君

子ハ、聖德アツテ、行道入君タル人ヲ得テハ、嘉祥ノ、

其下ニ居テ、官位奉_レ祿ヲモ、食ム者也、嘉ハヨロコヒ、

祥ハサイハイスル也、不_レ得_レ其人則ト云ハ、德アル人君

ナキ時ンハ、蓬累ト、カシラカ、ヘテ、カシコニ去ルソ、

汝モ今不行_レ道、行イタカツテ、用_レナイ事テアルソ、汝モ

急テ行_レト云心也、蓬累ト云ハ、頭ニ戴_レ物ヲ、以手扶

スケテ、行_レ体也、如此アルハ、ワツラハシキ躄也、ワツ

ラハシキ所ヲハ、君子ハ急テ、去ルソト云心也、汝モ去

レト云心也、亦字ノ心ヲ云時ハ、蓬ハヨモキ、累轉行_レ完

也、蓬ノ風ニ相テナヒク、有_レ能人ヲ不_レ得_レ時ハ、君子ハ

チャツト、去ルソト云心也、亦家ノ点ニハ、蓬累カシラ

カ、ヘ、ミタリカハシフゾ、ユクトヨム也、吾_レト云ハ、

老子也、聞_レ之ト云ハ、良買ハ深藏ノ若_レ虚ト云、古人ノ

語ヲキイテアルト也、良買ト云ハ、ヨキ商人也、深藏若

虚ト云ハ、ヨキ商人ハ、ヨキ物ヲ、ヤスキ時ハ、買蔵納

ヲキ、何ニモノナク、若^レ虚シテ居テ、物ノキレテ、ナキ時、

取出テ、賣者也、此語ヲ云ハ、下ノ句云ヘキタメノ譬也、

若^レ不^レ足ト云ハ、君子ハ、外ハ愚癡々々トシ、物タラヌ

ヤウニシテ、内ハ物ヲ達^ニ、明ナルカ、ヨイソト云心也、

子^チト云ハ、孔子也、驕氣ト云ハ、五帝ノ道、行ヘキト

云ハ、老子ノ上ヨリハ、驕タル氣ト取也、多欲ト云ハ、

遠慮ノ心ト云テ、ヨク物ヲ慮方タ也、老子ノ上ヨリハ、

謙也、亦自牧ハ、驕氣ハ、仁義礼智信ノ五常ノ道、可^レ

行思フハ、ヲコツタル氣也、多欲ト云ハ、五常ノ道、

行テ後代ニ、傳ヘキト思フハ、多欲也ト誦也、慤色ト云

ハ、美色ト云テ、威儀容兒也、威儀ヲ調ヘル方也、五常

ノ道ハ、淫志ト云ハ、淫ハ過也、今ノ時代ニ、不行^ル

レ道ヲ、可^レ行ト云テ、來テ老子ニ問ハ、スキタル志也、

無^レ益^ニ於子之身ト云ハ、時代ニ不用、道可^レ行スレハ、

返テ蒙^レ害ホトニ、无^レ益也、而巳ト云ハ、是ハカリト云

心也、是ヲタニ、去ケタラハ、ヨカルヘキト云義也、孔

子去テト云ハ、老子ノ前ヲ去テ、魯国ニ版テ、諸弟子ニ

謂ル也、走者可^レ為^レ羅ト云ヨリ、上ヲ再釈スル也、糴^ハ

釣糸也、游ク魚ナトニ、釣糸ヲサゲテ取ヘキ也、曹ト云

ハ、アミ也、亦異本ニハ、糴ニ作也、是等ヲハ、如此シ

テ、取ヘキ衰ヲ、吾知テアルカ、コ、ニイカントモ、吾

レ了簡不^レ及者アリ、至^ニ竜不能^レ知也、其故ハ、乘^ニ風

雲、上^ル故ナリ、如此云ハ、下ノ句ノ老子ヲ、ホムヘ

キタメ也、猶^レ竜耶ト云ハ、老子ハ、如^レ龍御座アル、其

故ハ、老子ノ徳、如^レ何トモ、不^レ計ト云心也、老子修^レ道

ト云ヨリ、三段也、脩^レ道ト云ハ、无^レ為自然ノ道ヲ、老

子ノ身ニ、能ク修^ル義也、其学ト云ハ、自然ノ道ノ学也、

自^レ隠タリト云ハ、無^レ為自然ノ道ヲ、学ニヨツテ、天然自

然ニ、隠^ル也、無^レ名ヲ為^レ務故也、居^レ周年久ト云ハ、

年ト云字ハ、ナキ本モアリ、有^ル本モアリ、平王ト云ハ、

景王ヨリ、十二代前ヘ也、周ノ代表事ハ、平王ヨリ、衰

始^ル衰ハ、平王ヨリ、四代前、幽王ノ前ヨリ、衰^ル也、平

王ノ時ニハ、(ヨク)衰ヘテ、居所ヲ余所ニ、移^シタリ

ナント、セラル、也、コ、ニ、見^二周^一衰^一乃^レ遂^ニ去^ルト云
ハ、老子今日、至^レ関^時ニ、衰^ヘタルヲ、見^ルテハナキ
也、平王ノ時ヨリ、衰^ヘ来^テ、今日マテニ、衰^ルヲ見^テ、
至^レ関^義也、関^ト云^ハ、長安城ノ、東ノ関キ、函谷関也、
長安城ト云^ハ、都也、亦ハ西ノ方ニ、行^ト云^義アリ、其
時ハ、西ノ関ヲ、散^レ関^ト云^也、コレテアルヘキ也、都ヨ
リ四方ニ関アル故ニ、東ノ関ヲ、函谷関ト云、西ノ関ヲ、
散^レ関^ト云^也、愛^テノ関ハ、唯函谷関ニテ、アルヘキト也、
令^レ尹喜^ト云^ハ、令^ハ、其^レ関^{々々}ヲ司^ル、令^レ官^也、尹喜ハ
名也、有^レ来^ト云^ハ、老子也、其^レ時、老子青牛薄板ノ車ト
云^ニ、乘^ノ来^也、薄板^ノ車ノ中ヨリ、五色雲立^也、於^レ愛、
尹喜變化ノ人ト思^テ、謁^請申^也、青牛ハ、アヲキ牛也、
薄板ハ、ウスイタノ車ト云、車也、亦ノ義ハ、所^々ニ、
アバラニ、板ウチツケタルヲ、薄板ト云心アリ、二義也、
變化無常ト云^ハ、コ、ニ来^{ラル}ヤウカ、變化、常サマニ
モナキ也、亦一^ニ睦^ハコ、ヘ、^代ニ^ニチャツ^クト、変
現^ノ、出^{ラル}、所^ヲ、變化無^常、御^誦アル也、謁^請ト

云ハ、喜カ所^ニ、謁^請申^義也、謁^ハ、問^也、見^也、參^也、
知^ニ喜^入道^ト云^ハ、老子モ、ヤカテ喜カ請^{スル}ヲ以^テ、
老子ノ道^ニ、叶^{タル}ヲ、御^存知^{アル}也、子^ト云^ハ、コ、
テハ、老子ヲ云^也、將^レ隱^ト云^ハ、今老子西戎辺^ニ、行
ヘシト思^召ノ、至^レ関^{ホト}ニ、將^レ隱^ト云^也、強^ト云^ハ、
道ハ、全言語ニ不^レ渡、取^テモ、不^レ頭^者ヲ、老子ノ道、
殊勝^ニ御^座アルホトニ、為^レ我^著書、被^レ可^ヨト云^ハ、
強^{タル}義也、五千余言ト云^ハ、大数ヲ挙^テ云^也、五千三
百二言也、百六十余歳ト云^ハ、胎内^ニ在^ル衰^カ、八十一
歳、至^レ関^時カ、八十三歳ナルホトニ、百六十余歳テ、
アリケナト云^也、是^レハ、^洪葛^カ云^心也、亦或人ハ、二
百余歳テ、アルト云^也、コ、ヲハ、經^々異^説ト、心得^ヘ
キ也、或人ハ、カヤウニモ、云^タツト云^心也、^以其^修
道^養壽^故也ト云^ハ、何^衰ニ、壽^長アツタツト、人ノ不
審^{アル}ヘキニ、依^テ此^語ヲ云^也、本^經ニ、谷^神童^ト云^ア
リ、谷^神長^命ナル義、與^ニ見^タリ、老子之子^ト云^{ヨリ}、
四^段也、自^是、老子ノ末^ヲ云^也、魏^ト云^ハ、此^魏ハ、

々ノ代チハナシ、七雄戦国ノ魏ノ国也、將ト云ハ、將軍也、段干ト云ハ、所也、漢ハ前漢也、孝文帝ハ、高祖ヨリ、四代目ノ王也、孝ノ字ヲ、付ル心ハ、至テ孝文帝ト云心也、膠西王ト云ハ、諸侯王也、膠西ハ所也、齊ノ国ノ、膠東膠西膠ノ中ト、三ニ分ル寛アリ、印ト云ハ、王ノ名也、大傳ハ、印カ、傳官也、家于齊ト云ハ、齊国ニ、家シテ居也、用ト云ハ、再與ト見タリ、經道ト云ハ、老子經道也、實太后ト云ハ、文帝ノ后、景帝ノ母也、實氏也、太后ト云ハ、后キノ惣名也、術ハ道也、令景帝以教ト云ハ、實太后直教也、群臣ト云ハ、臣下也、不通者ト云ハ、老子經ニ不通者也、朝ハ朝廷也、無為ニ自化ト云ハ、老子ハ、無為自然ノ道也、自化ト云ハ、柳ヲハ、縁リト成リ、紅イハ、誰カソメテ、紅イトナスソ、天然自然ニ、己レト成ル、此レ自化ノ義也、天何ヲカ言哉、四時行レ、百物生ル義、此レ也、老子ノ道ハ、清淨ニ、自正ナル道ナリ、莫能名ト云ハ、世上ニ、此人ハ何ニトヤウナル、人テアルト、名ヲ付ケヘキヤウナキ

也、太史公ト云ハ、漢ノ司馬遷カ父、司馬談ト云者也、是レカ、隱君子テアルト云也、太史公ハ、随分ノ者ト見タリ、世ニ無名、其德隠ルタル、君子ト云ハ、随分也、公ノ字ヲ付ル心ハ、司馬遷カ、漢ノ史記ヲ注ス時、我カ父ナルホトニ、賞斷ノ、公ト云字ヲ付テ、太史公ト云也、莫能得一ト、老子ノ道ニ、莫及時ハ、點之ト云ハ、世上ノ者カ、老子ヲ黜也、チユツノ音也、亦之ト云字ヲ不講、但黜ト云時ハ、老子退也、謂之為竜ト云ハ、唯孔子ノ上聖人テ、御座アルニ依テ、猶竜耶ト、仰アル也、列傳ト云ハ、列傳ハ、多ケレトモ、是ハ史記ノ内ノ、列傳也、着ト云ハ、孔子師事老子ト云ハ、列傳ニ着也、以ルニト云ハ、葛洪カ、以ミル也、礼記ニ曾子問ニ於孔子申テアレハ、孔子曰、聞之老聃ト、仰アルカ、其レ斯ノ謂レテ、アルヨト、ヲトシ付クル也、以愛見ルニ、孔子ノ老子ニ、問礼ヲタルハ、治定也、亦遠侍者ハ、聞之老聃ト云マテ、列傳ノ辞テアルト也、聃ノ字ノ心ハ、耳ニ輪ニツ、アルホトニ、聃ノ曰聃也、實聃、常上

ヲ略ノ、聯トカク也、

△京本改行無シ

所以分為二篇云ヨリ、五段也、自是以下ハ、道經ノ

分ヲ云ナリ、取二象天地ト云ハ、象天テハ、日月星辰、

地テハ万物也、天地ニ象テ、二篇トスル也、先道ト云

ハ、道經ヲ、上卷トスル義也、後徳ト云ハ、徳經ヲ下

卷トスル義也、以ト云ハ、葛洪カ以ル也、經ニ云、本

經ニ云也、道ノ尊ク徳ク貴ト云ニ、尊ノ字ト、貴ノ字ト

ヲ、審ク、差別ヲ、河上公カ、見分テ、上下トスル也、

尊ノ字ハ、至テ高キ位、貴ノ字ハ、少シ下キ位ナルホト

ニ、尊ナルカ故ニ、為レ上也、天以四時生ト云ハ、天ハ

春夏秋冬ノ四時ヲ以テ生也、地以木火土金水ノ五行、

成就スル也、以四ト云ハ、四時也、九ハ陽也、四時ヲ、

陽ニスレハ、四九卅六也、爰以葛洪ハ、上卷ヲ、卅六章

二分也、河上公ハ、卅七章二分也、禽ト云ハ、天ヲカケ

ルヲ云也、獸ト云ハ、地ヲ走ル類也、万物ト云ヘハ、蟬

云ハ、陰陽也、天テハ、陰陽ト云イ、地テハ、剛柔ト云、
皆陰陽ノ義也、以五ト云ハ、五行也、九ハ陽也、故ニ

下卷ハ、四十五章二分也、應ト云ハ、アタツテト云心也、

九宮ト云ハ、天ニ九野ト云テ、九ツノ野アリ、是レノ九

宮ト云也、亦一陸ハ、天ハ九道ト云テ、天ニ九ノ道アルト

云義アリ、五方ニ、中央ヲ加ル也、羅ト云ハ、四方ノ角

也、九州ト云ハ、古ヘ、夏禹王ノ時、大唐ハ、九州ニ、

ワル也、因而九レ之ト云ハ、九宮、九州ニ、應ノ此章ヲ、

分ツコトヲ、九ニノ九々八十一カ、數ノ極メ也、眞實卅

九宮、九州ニ應ノ、陽ノ數ヲ九ニ、シタルテハナシ、是

レハ暫ラク、表物者也、今陳国ト云ハ、今ハ葛洪カ、

時分ニ今也、葛洪ハ、東晋ノ代、咸和年中ノ者、正帝ニ

仕者也、代々ニ依テ、国ヲ分ツホトニ、古ハ楚國ノ苦縣、

今ハ陳國ノ苦縣ナリ、

河上公ト云ヨリ、六段也、自是以下ハ、河上公カ義云

学者ノ為彌也、体道ト云ハ、道ニノツトツタト云心也、
 体スルト云テハ、トコモ悉皆、道テアルト心得ヘキ也、
 体スルト云道理ハ、首ヘヨリ、足ノアナウラマテ、少シ
 モ、取ノクヘキ所ナキハ、体スル道理也、体ハ明也ト云、
 字訓アリ、道可道ト云ハ、上ノ道ハ、老子ノ本意ノ虚無
 自然ノ道也、可道ト云道ハ、世上ノ、仁義礼行フ道也、
 上ナル道カ、立下テ、可道々ト成タルハ、非常道也、
 可ノ道、々チハ散々ノ道也、常道ト云ハ、老子ノ本意ノ
 道也、混沌未分ナツシ時ヨリ、今日ニ至ルマテ、常住不
 変也、上ナル道ト、下ナル道ト同也、此道ハ、全ク道ト
 モ、云ハレマシキ者ナレトモ、不得^レ已云ヘハ、道ト付
 ル也、道ト云心ハ、大道長安ニトラルト云テ、フンテ行
 フ者ナルホトニ、サテ道ト付ル也、一睦ハ、理ハ道也、
 万物ノ上ノ理ヲ見テ、道ト名付ルト也、万物ノ上ノ理ト
 云ハ、春夏ニハ生長シ、秋冬ハ各ニ^レ根、万物ノ上ノ
 理也、注ニ^レ經術ト云ハ、二字共ニ^レ理也、非^レ自然長生
 之道ト云ハ、可道々ハ、非^レ自然長生也、其故ハ、仁

義礼智信ヲ行フ道ハ、時代ニ依テ、變化スル也、養^レ神ト
 云ハ、五藏神也、堯ノ手ヲ、岩廊ニ拱^レ無為、タウ^レ
 ニ、無^レ為天下ヲ治メラレタツシコソ、無^レ妄ニ^レ安^レ民
 義也、老子ノ道ハ、含^レ光、藏^レ暉、滅^レ跡、匿^レ端、
 不被^レ称道ト道コソ、老子ノ道ナレ、含^レ光ト云ハ、躡
 也、藏^レ暉ト云ハ用也、取分テ云時ンハ、如此、唯夕光
 リマテ也、跡ト端トハ、前後也、名可^レ名ト云ハ、上ナ
 ル名ハ、老子ノ道ノ、真實ノ名ト云ハンスルハ、嬰兒未
 言、雞子ノ未^レ分、類ノ如クシ也、可^レ名ト云名ハ、富
 貴尊榮シ、此人ハ何ンホトノ、名アル人テアルナント、
 云ハ、散々ノ惡シキ名也、上ナル道ト、上ナル名ト、同
 心也、上ナル名ト、可名ト云名ト同也、注ニ^レ嬰兒未^レ言
 ト云ハ、嬰兒ハ、眼耳鼻舌身意ヲハ、能ク具足スレトモ、
 未^レ言、六根具足ノ、モノイワヌコソ道ナレ、雞子ヲ愛
 ニテ^レ拳ル心ハ、鳥ノ内ニモ、五徳アル故也、雞ノ子ノ、
 カヘル時分ヲハ、母モ知り、子モ知テ、鷺ノ内ヨリト、
 外ヨリト、同時ニ合スル也、是レヲ啐啄同時ト云也、コ

ハカ簡要也、啄ハツイハムトヨム也、[○]蚌ト云ハ、ハマク
 リ也、美玉ハ石間ニ在ル者也、^{(○)并}卞和氏カ玉モ、ミカ、又
 前ハ石也、是石間ニ在義也、[○]内昭々ト云ハ、此嬰兒、雞
 子、蚌中、石間ノ義也、昭ハ明也、頑ハカタクナシト云
 テ、イヤシキ方タナリ、^也左傳ニ云、心不^レ則^レ得義經、
 為^レ頑ト云(へ)リ、[○]無名ト云ハ、道也、尚書ノ序曰ク、
 道ハ冲寂、^{キニ}非^レ有^ニ名言ニ云ヘリ、^キ冲ハフカキ也、寂ハシ
 ツカ也、天地始ト云ハ、此道ヨリ、一氣發動ノ、出テ生
 陰陽、天地二氣ト推分ルホトニ、サテハ無名ハ天地ノ始
 也、始ト云所カ、混沌未分當也、[○]注ニ吐^レ氣ヲト云、四
 氣八節ト云テ、一年ニ廿四氣アリ、八度ノ節アリ、此氣
 ハ廿四氣也、一睦^ハ此氣ト云ハ、混沌ト、シタツシ内ヨ
 リ、發動ノ、一氣生タル氣トアリ、如此一氣出テ、氣形
 質ニ渡テ、布^レ化也、今聞所ハ、氣ハ廿四氣、布^レ化ト云
 ハ、柳ハ緑リ、花ハ紅ト成リ、荷葉ハ圓、松葉ハ長所也、
 化ト云ハ、物ヲ利益スル心也、化ハメクムトヨム也、布
 ハホトコストヨム也、亦クハルトモヨム也、[○]虛無ハ道也、

本始ト云ハ、此道カ、天地ノ根本始ト成ル也、[○]有^ニ形位
 ト云ハ、天ハ上位シ、地ハ下ク位ノ、陰陽ト位スル義也、
 陰ハ地也、陽ハ天也、天ニテハ、陰陽ト云、地ニテハ、
 柔剛ト云、此(レ)陰陽ノ名也、是其名也ト云ハ、陰陽
 ノ名也、[○]含^レ氣ト云ハ、道ノ氣ヲ含也、[○]無欲ト云ハ、ヨ
 モウ事ナキトヨムホトニ、無心ナル所也、^也是レカ道也、
 觀^ニ其妙ト云ハ、妙ハ道微妙也、吾カ身カ、無欲ニノ、
 道ノ上ニ、坐タンセテハ、道ノ妙ハ、見ラレマシキ也、
 故^ニ無欲ナレハ、觀^ニ其妙也、一睦ハ、妙ハ一文字ト心
 得ヘキト也、觀ノ字ノ心ハ、觀念ノ見ル義也、注ニ妙ハ
 要也ト云ハ、道ノ簡要也、[○]一ト云ハ、道ノ始テ、一氣生
 タル所也、^也一出布^レ名ト云ハ、混沌タツシ内ヨリ、一カ
 出、一生^ニ、生^ニ三也、布^レ名ト云(ハ)柳櫻松楓ト布也、
 道讚叙ト云ハ、万物カ、道ヲ讚叙、是テアル、非テアル
 ト明ス也、一睦ハ、讚解ノ字ノ心トアル也、道カ万物ヲ、
 讚叙ノ、明^ニ是非也、易曰ク、道ハ万物ニ妙也、其傲ト
 云ハ、世上ノ趣ヲ、見ルマテ也、傲ト云ハ、柳ハ何^ニト

成
ンシテ

シテ、縁リトナリ、花ハ何トゾ、紅トナル、人ハ根本ナ

ニト云者カ、生レテ來タルトハ不知、唯人ヲハ、人テ

アルトハカリ見、柳ハ緑、花ハ紅テアルトハカリミル義

也、此レハ趣也、同謂之玄ト云ハ、有欲、無欲、蟬

蟻、蚊、蚋、蝦蟇、蚊、蚊、木畜、人天ニ至ルマテ、同氣ヲ

受テ天故也、玄之又玄ト云ハ、天モ一乾坤、人モ一乾坤

也、人ノ頭ノ圓ヲハ、天ニ取リ、足ノ兩足フミアワセテ、

方ナルヲハ、地ニ取ホトニ、天人モ天也、庄子曰ク、天

ノ天、人ノ天ト云義アリ、上ナル天ハ天也、下ナル天ハ

人天也、假令受氣有薄厚義マテ也、天ノ中ニ復有テ天、

譬也、注ニ中和滋液ト云ハ、中和ハ、陰陽天和ト云テ、

陰ニスキス、陽ニモスキス、陰陽中道ナル所カ、中和也、

滋ハシケシトヨム也、液ハシル也、コイシルノヨキシル

也、錯乱ハ、ミタル、ナリ、濁海ハ、ニコレケカル、也、

衆妙ノ門ト云ハ、衆ハ万物也、妙ハ柳ハ緑リ、花ハ紅イ

ト成リ、万物各出立テ、出ルハ、妙也、門ト云ハ、通要

ノ義ト云テ、道ニ通要シタル心也、柳ハ緑リ、花ハ紅イ

ト成テ出ルハ、道ニ通要スル義也、一陸ハ、門ハ万物、

各ニ出テ立テ出ルヲ、門ト取也、自牧ハ、此門ハ、万物

迷テモ、悟テモ、生死ノ二ツニハ、此門ヲトヲラテハ、

叶ハ又ホトニ、至テ深キ、万物ノ微妙ト云也、守ニ中和

ト云ハ、是レハ中道也、守ニ中和ト云迄カ、上ノ注也、

下モハカリハ、不レ言ホトニ、上ノ注ヲ引テ云テ、未ニ

衆妙ノ門ノ注ヲ明也、是謂知ニ道要之門戸、上ト云カ、

衆妙ノ注也、

（改葉）
△京本改葉無シ

○養身章第二 養身ヲ也、功成而不居、養身義也、

天下皆知ニ美之為美ト云ハ、天下人カ美ヲナシテハ、揚

美自頭ハサシムルハ、知ニ美之為美義也、亦為美自不

頭、美成シタルマテ、不知、為美ホトニ善也、斯惡

已ト云ハ、美ヲ美ト知タルハ惡也、斯惡已トヨムハ、家ノ

点也、注ニ有ニ危亡ト云ハ、知ニ美惡キホトニ、有ニ危亡

也、美ト善トハ、同心ナレトモ、美ハ理也、善ハ夏也、

不レ頭方タハ理、取テ行フ方ハ夏也、一陸ハ、當時ニ叶

ヲ善ト云、事理ニ叶ヲ美ト云、當時ニ叶ト云ハ、古ヘノ
 法度ニハ、不_レ叶トモ、當世ニ叶タルハ、當時叶也、
 理ニ叶ト云ハ、古モ今モ叶タルヲ云也、注_二人所_レ争ト
 云、裏ノ注也、不善ナル夏ニハ、人争者也、天下ト云ハ、
 天下ノ人ト云心也、故有無相生ト云ハ、成_レ美不_レ知_レ美
 時ハ、無テヨキカ、知美ホトニ、有力相生也、如此アル
 ホトニ、ハヤ有テアルヨ、無テアルヨト、云夏カ生也、
 注_二見_レ有而為_レ無也ト云ハ、見テハ有、無テアルト云、
 見_レ無_レ有テアルナト、云也、下モ皆同心ナリ、難_レ易相
 成ト云ハ、難ハ易ヨリ、相成就スル者也、其故ハ、易キ
 夏_レヲ、不_レ慎ヨツテ、難ハ出来也、高下相傾ト云ハ、高
 キ夏カアレハ、必ス下キ夏アツテ、相傾也、音声相和ト
 云ハ、注_二上唱レハ、下必和義也、其譬ニハ、上座_ニ歌
 ヲ出_レ、ウタヘハ、下_ニモ同音_ニ付テ歌フ、是レハ、相
 和義也、音声ノ二字ハ、同声ナレトモ、辞_ニ文アルヲ、
 音ト云ホトニ、五音ナント多ク、音ソロヘテ、出スヤウ
 ナル体也、声ハ但一ト音_ニ出ル体也、前後相隨ト云ハ、

上行時_リ、下必隨義也、前ハ上、後ハ下也、自_レ是上來
 ハ、皆有為ノ方也、一_レ隨ハ、見_レ有為_レ無、見_レ有_レ无トセ
 ハ、ヨカルヘキト也、難_レヲ見テハ、易シトセハ、ヨカル
 ヘキ義也、以下皆同心也、是_レ以ト云ハ、結前生後也、不
 言教ト云ハ、天何ヲカ言哉、四時行_レ、百物成_レル義也、
 註_二以_レ身師導ト云ハ、我カ身_ニ、法度ヲ行_イ、身ヲ治
 テ、人_ニ法スル也、万物作ト云ハ、如此聖人、居_ニ无_レ為
 夏_レ、行_ニ不言教_レ、万物ハ、己_レレ々_ニ、柳ハ緑_リ、花ハ
 紅_ト、所作ヲ成シテ出ル也、而不_レ辞ト云ハ、此道ハ、
 誰_レニモ行ル也、彼ニハ、道カ辞退_レ、行_レマシキ、此
 レニハ行_レヘキ、ナント云テ、道ノ方ヨリ、不_レ辞退也、
 一_レ隨ハ、道_リ万物_ニ施シ、生長サセルカ、ハヤ退_レ岨シタ
 ホトニ、半_リマテ辞退シテ、万物ヲ生長スル夏_レヲ、止_ヘ
 キトハ、不_レ思也、イツマテモ、自然_ニ行者也、注_二謝_ハ
 辞也、退也、逆_ハアラカシメ也、生_レ而不_レ有ト云ハ、道
 ハ万物ヲ生シテモ、取_レ有、吾カマ、ニスヘキトハ、不
 思也、注_二元氣ト云ハ、元氣ト云道也、為_レ而不_レ待ト

云ハ、注ニ委ク見タリ、功成而不居ト云ハ、道ハ、万物ニ功ヲ成シ、万物ノ上ニ乘リ居テ、功不有也、如此聖人モ、功成就ノハ、不居其位也、注ニ夫唯不居ト云ハ、深く其位ニ不居也、ツヨク云ヘキ為也、唯但ノ二字ハ、余縁ヲ不借也、道ト聖人トハ、一体ト心得ヘキ也、是以不去ト云ハ、道ノ上ニモ、イカホトノ、福カアルラウナレトモ、道ヲ不去也、聖人モ、功成テ、位ヲ退クホトモ、不去也、功成テモ、其位不_レ退、福ヲ自去ヘキ也、注ニ不行不可隨ト云ハ、上不行、下隨フ衰ナキ也、不言不知者也、知ルト云本モアリ、イツレモヨキ也、上ノ六句ト云ハ、有無相生ト云ヨリ、前後相隨ト云マテ、君開一源二ト云ハ、君カ悪キ衰ヲ、一源開ケハ、下ニハ生二百端一也、百端ト變化ゾ、來タルホトニ、無_レ不_二動_一乱_一也、一陸ハ、君カ善テモ、惡テモ、一源ヲ開ケハ、下ニハ生二百端一也、變ト云ハ、變化惡キ方也、百端カ變化シ、惡カラスルニハ、無_レ不_二動_一乱_一也、

○安民章第三 安民也、不尚賢ト云ハ、此賢人

ハ、世俗ノ儒道ノ賢人也、注ニ明文ト云ハ、明文文章也、行_レ權ト云ハ、權道也、偽道也、背_レ經_一也、道一也、離_レ道ト云ハ、無為ノ道ヲ離也、為_レ文ト云ハ、文花也、使_レ民不_レ争ト云ハ、此賢人カ、偽ノ道ヲ、依_レ行_レ惡_レホトニ、是ヲ不尚、民ハ不_レ争_二功名_一、返_二自然_一ヘキ也、難_レ得_レ之_レ貨ト云ハ、黄金珠玉也、黄金ハ在山、珠玉在_レ淵ホトニ、是レハナンボ、難_レ得_レ貨也、不_レ貴ト云ハ、不_レ取其ノマ、ニ、ヲク也、注_レ御ハ、ヲサムル也、_レ弃_レ於_レ山ト云ハ、不_レ取其マ、ニ、ヲク_レ義也、_レ弃_レ於_レ淵ト云ハ、自然ト云ハ、天然義也、庄子曰、天ハ自然ノ称也ト、注スル也、春カ夏ニ移リ、夏カ秋ニ移ル、皆自然義也、可_レ欲ト云ハ、淫_レ欲也、注_レ鄭声ト云ハ、鄭衛淫花ハ、淫乱不女ノ樂也、淫ノ字ハ、女ヘント、同心也、俗ニハ、サンスイニ乍也、

不_レ乱ト云ハ、不_レ見_二可_レ欲_一、使_レ心不_レ乱也、注_レ不_二邪淫_一ト云ハ、妻ヲモ、一人ハクルシカラスト見タリ、虚_レ其心ト云ハ、情欲ヲ悉ク、洗イステ、心ヲ空虚ニスル也、

△京本改行無シ

實^ニ其腸^一ト云ハ、道ヲ一盃満也、庄子ニ曰ク、虚ニノ行

テ、能ク實チテ、販ルト云、此心也、空々然ト、空虚ニ

ノ、腹^ニ一盃ヲ道ヲ満也、弱^ニ其志^一ト云ハ、注^ニ和柔、

謙讓^ニノ、不^レ処^レ權也、權ハ勢也、イキライ也、上^ニ五

神ト云ハ、五藏神也、道ト一トハ、同キ義ナレトモ、文

章ノ對^ニ云也、強^ニ其骨ト云ハ、淫衰ヲ不^レ洩、髓満テ骨

強也、注^ニ愛^レ精ト云ハ、腎ノ藏ノ精也、重^レ施ト云ハ、

淫衰ヲ施ス^一ヲ重也、愛ハ悵也、ヲシム也、無知無欲ナ

レハ、反^ニ質朴^一、守^レ淳也、上古ノ風ハ、淳風也、淳ハ

スナラ也、使^ニ夫知者^一、不^レ敢^レ為^レ上ト云ハ、智者ニ、何衰

ヲモ、ナサセマシキ也、智者カ、衰ヲナシ、教ヘヲナセ

ハ、有智有欲ニ成テ、民ハ情欲多ク、凶也、注^ニ思慮

深、不^レ輕^レ言也、善也、知者ハ、輕ク言ホトニ惡也、

因^一循ト云ハ、ヨリシタカウ也、春カ夏ニ移リ、夏カ(秋

ニ)移ルハ、因循義也、

○無源章第四 無源ト也、道ハ誰カ、不知子、

象^ニ帝先^一ト云ニ、カ、ルヘキ也、道^ニ沖^一而用^レ之ト云ハ、

沖ハ中也、道ハ中道ナルカ、用助也、一陸ハ、道沖而用

之、道ハ藏^レ名藏^レ譽者ノナルホトニ、沖用助也、中ノ

字ハ、フカキト云心マテ也、常^不盈ト云ハ、道ハ謙虛

ナル者也、常^不盈也、淵タル兮似^ニ万物宗^一ト云ハ、道

ハ深淵幽微ニノ、知^レ又者也、然レトモ、万物ハ道ヨリ、

生スル者ナルホトニ、此道ハ万物ノ根本也ト云心也、宗

ハ本也、似ト云ハ、シツカト道ハ、万物ノ根本テハアレ

トモ、老子ノウタカフ心也、カウ(テ)アリケナト云心也、

注^ニ宗祖ト云ハ、宗ハ本也、祖ハ本也、挫^ニ其銳^一ト云ハ、

情欲ノ愛^ニ進テ、欲^レ取^ニ功名^一心、挫^レ止テ、法^ニ道^一不^ニ自

見^レヘキ也、上ヨリ文段ノ下リヤウハ、如此道ハ、深淵

ナル者ナルホトニ、人モ情欲ノ、愛^ニ進^一挫、道ノ不

見^レヘ所^ニ、法ト云心也、解^ニ其紛^一ト云ハ、結^レ恨、道ノ

念^ニ无為^一、可解也、和^ニ其光^一ト云ハ、聖人ハ、獨見ノ明

アレトモ、如^ニ闇昧^一、曜^ニ乱人^一セサルハ、和^ニ光義也、道

ト聖人ト一昧也、道カ如此也、曜ハカ、ヤク也、同^ニ其塵^一

ト云ハ、庶人ト、同^ニ垢塵^一、自別^レ、貴トモセヌハ、同^ニ

其塵一義也、注(一)別(二)殊ニスノ二字ヲ、コトニ

一ツニヨム也、湛(ル)兮似(レ)或存(ト)云ハ、湛ハ静カ

ナル兒也、此道ハ、湛然ト静ニシテ、常住不變ニ存テ、不

亡者也、吾不知(レ)其誰之子(ト)云ハ、吾レハ老子也、道

ハ誰レカ、子テアルト云ハ、不知也、象(レ)帝之先(ト)云ハ、

帝ハ天帝也、天地ト云心也、吾カ不知道理テアル、天地

ヨリ、先キニ、法象メ、アルホトニト云心也、至(レ)今

此道存(ル)衰ハ、湛然安靜ニシテ、依(レ)不(レ)勞煩、壽(ホ)ト

ニ、人モ當(ル)ニ修(ル)身、法(レ)道安靜弱ナルヘキ也、

此辞云ヘキタメマテ也、

○虚用章第五 此章ハ、虚ナルカ用助也、天(ト)地(ト)不

仁ト云ハ、天万物ヲ施シ、地化(レ)ノモ、是レハ吾カ仁恩ヲ

以テ、柳ハ緑ト成シ、花ヲ紅トナシ、春ヲ夏ニ移シ、夏

ヲ秋ニ移シ、秋ヲ冬ニ移シテアルトハ、不(レ)思、任(レ)自然

也、是仁恩ナキ心也、故(レ)不(レ)仁ナリト云也、注(二)天施ト

云ハ、天ヨリ一氣ヲ施シ、雨露ヲ施シ、地ヨリ五行ヲ出

テ、化スルト云ハ、柳ハ緑リ、花ハ紅ト成ハ、化スル義

也、化ハメクム也、錡狗ト云ハ、祭ノトキ、ワラニテ、

犬ヲ作テ、祭り過キヌレハ、取テ彼(カシコニル)捨義也、天(ト)地(ト)生(ス)

万物(ト)ホトニ、人ハ最モ貴トスル也、天地ヨリ万物ヲ見

ル衰ハ、錡狗ノ如ク思召テ、不(レ)望(レ)其報(一)也、聖(ト)人(ト)不(レ)

仁ト云ハ、次ル者ノハ、聖人ナル程ニ、愛(レ)養(ス)万(ニ)民(ト)、

是吾カ仁恩トハ、不(レ)思也、故(レ)百姓ヲ、為(レ)錡狗也、天

地間ト云、注(二)和氣ト云ハ、天地ノ和氣也、天地和シタ

ル氣也、節(レ)滋味(ト)云ハ、ムマキ味ノ物ヲモ、次第ノ

如ク、食スルハ、節スル義也、滋ハシケキトヨム也、其

猶(二)彙(ト)籥(ト)乎ト云ハ、天地ノ間、空虚ナル所ハ、猶(二)彙(ト)籥(ト)

也、河上公ノ心ニハ、彙ハフキノ中ノ、ソコモナキ袋也、

籥ハ笛也、句義ノ作者、林希逸カ心ニハ、二字共ニ、鍛

治(レ)ノフキ也、籥ハフキノ口ノ、トコノヤウナル所ヲ云也、

虚(二)ニ(ト)而(レ)、愈(レ)出(ト)云ハ、天地ノ間、空虚ニシテ、動(レ)愈(レ)万

物ヲ出(ス)衰(レ)不(レ)屈也、天地ノ間モ、空虚ナルニ依(レ)テ、万物

ヲ出(ス)也、彙籥ノ中モ、空虚ナルニ依(レ)テ、声氣ヲ出(ス)、万

器ヲ出(ス)也、爰カ虚用ノ章也、揺(レ)ハウコク也、多(レ)言(レ)數(ト)

窮ト云ハ、多言サイ、窮スルホトニ、不_レ如_レ守ニ

中道也、窮ト云ハ、窮困ト云テ、困ハクルシムトヨム

也、数ト云ハ、細々ノ心也、如此云モ、唯虚ナルカ、善

ソト云心也、不_レ如_レ守中ト云ハ、中道ヲ守ルニハ、不

如也、

○成象章第六 成象ト義也、一陸ハ、万象トモ云、

万物トモ云ホトニ、万物成就シタル義也、谷_レ神不_レ死、

是レカ万物成就也、谷神ト云ハ、云_二情欲_一、心ヲ空虚ニ

ンアレハ、道カ胸中ニ、ヤトルホトニ、五蔵ノ神モ、所

居得_テ、居ルホトニ、不_レ死也、亦多情欲_二、利路名_二、閻_門ニ

フケル時_ハ、五神去ルホトニ、五蔵尽傷也、故死也、

不_レ死ト云ヘハトテ、イツモ不_レ死テハナシ、七十八マ

テモ生テ、全可_レ死道理ニ當テ、死ヌルハ、不_レ死、五蔵

ト云テ、蔵ノ字ヲ付ル心ハ、魂魄神精志ノ、五蔵ヲ蔵ル

故也、是謂_二玄牝_一ト云ハ、此神ヲハ、不_レ死ヤウニハ、

誰カ養ソト云ニ、此玄牝カ養也、其故_ハ從_レ鼻天ノ五氣

ヲ入レテ、心ノ蔵ニヲサメ、口ヨリ五味ヲ入テ、胃ノ蔵

ニヲサムルホトニ、玄牝ノハナクチカ、能ク養也、鼻口

ヲ塞ケハ、暫時モ、人ハ不_レ生者也、注_ニ玄ヲ天ニ譬ル

心ハ、天ノ五氣ヲ、從_レ鼻入ル_レ、ホトニ、主_ニ与_レ天

通_ニ、天譬也、亦心ヲ云ヘハ、人ハ先_レ（ツ）五竅ヲ受ル

時ハ、鼻ヨリ出ルホトニ、天ニ形取也、口ヲ地ニ譬ル故

ハ、口ヨリ五味ヲ入レテ、胃ニ蔵ルホトニ、地ヨリ五形

ヲ、出スニ形取テ、地ニ譬也、人ノ先祖ヲ、鼻祖ト云フ、

五竅ハ鼻ヨリ出ケル故也、五氣ト云ハ、木火土金水ノ五

形也、清微ト云ハ、五氣ヲハ、天ニ取り、五味ヲハ、地

ニ取ホトニ、濁濁也、清濁ノニヲ云故也、聡_ハミ、トキ

也、耳ニカ、ル也、明ハ目ニカ、ル也、音声ハ一也、五

性ト云ハ、五蔵ノ性也、其鬼ト云ハ、鬼ノ字ノ心ハ、ツ

カサト云心也、○雄ト云ハ、男ケタモノ、出_ニ入_レ於_レ人鼻

ト云ハ、五氣出入スル義也、胃ト云ハ、胃ノ蔵也、濁濁

ト云ハ、海ノ字モ、濁ノ心也、形ハカタチ、四足ニカ、

ル也、該_ハ五竅ニカ、ル也、六情ト云ハ、喜、怒、愛、

樂、哀、惡_ハ六情也、雌ト云ハ、妻ケタモノ也、如此天

地ヨリ司ル者也、玄牝之門、是謂天地根ト云ハ、天地

ト云ハ、我カ身也、首ヘノ圖(ナルヲハ)天ニ形取、足ノ兩足フミ

ソロヘテ、方ナルヲハ、地ニ形取也、天地ニハ、取マシ

キ也、根メト云ハ、根本也、根本ハ道也、今モ人ノ始テ、

生ル所ハ根メ也、此鼻口ノ門ヨリ、根本ノ道カ、往來ス

ルホトニ、サテハ、鼻口ハ、元氣ノ往來スル、所ヲ根メ

也、注ニ元氣ト云ハ、道也、綿々ト云ハ、連ナル兒也、

玄牝ノ門ヨリ、往來スル、注呼吸、喘息ノ氣、綿々ト、

連テ、若存ナルカ善也、用之ト云ハ、用氣義也、不

動勞善也、呼吸喘息ハ、鼻ニモアリ、口ニモ(アリ)

取合テ云ヘハ、呼吸ハ口ニカ、リ、喘息ハ鼻ニカ、ル也、

若無有ト云ハ、此ノ氣ヲハ、アラクツカフ、マシキト

云心也、

○韶光章第七 韶光ト云ハ、後己先人義也、天

長地久ト云ハ、天地長久ナル衰ヲ擧テ、人ニ教ヘキ為也、

不自生ト云ハ、我レ天トナランスル、地トナランスルト、

不レ思義也、輕ク清メル者ノハ、上テ天ト成リ、重ク濁

ル者ノハ、下テ地トナル也、如此天然自然ナルニ依テ、

天ハ長、地ハ久也、人モ多情欲、久ク世ヲ、保ツヘキ

ナント、スル者ノハ、早ク亡ル也、注ニ獨ト云ハ、天ニ

獨リ、地ニ獨リ也、汲々ト云ハ、急ノ字ノ心也、不レ休、

急ナル兒也、字心ヲ云ヘハ、水ヲ汲ニ、千丈万丈ノ井ヨ

リ汲トモ、用アルトテ、半ハマテ釣瓶テ、引サイテ行ヘ

キトハ、不レ思、引擧ヲナラテハ、不レ行也、如此不レ休

兒也、奪人ト云ハ、人ノ物ヲ、奪心也、身先ト云ハ、

先人後己スルニ依テ、天下ノ人カ、敬レ程、先テ以

官、長トスルナリ、百姓愛レ之ト云所ニ、譬ヘヨ云ヘハ、

周ノ武王紂ヲ伐ツ時、東伐テハ、西戎怨ムト云、此レ愛

義也、非レ以其私耶ト云ハ、有私也、此聖人ノ私ハ、無

私私也、無私之私アル也、世上ノ私ハ、自求ニ富ニ貴ニ、

情欲ヲ成ス、私也、聖人ノ私ハ、虛無自然ノ私也、亦自

牧ハ、無私云義ニアソハス也、此耶ノ字ハ、有ルト云

ニモ、無ト云ニモ、兩ニカ、ル字也、

○易性章第八 易ハ變易スル方也、易ハカヘトヨム

也、易性義也、一陸ハ易イト、心得テアルト、アソハ
 ス也、易ハヤスキ也、此水ノ譬ヲ、拳ル心ハ、聖人ノ道
 ニ、近キ道理一ツ、取ヘキタメ也、惣ノ庄老列、(ハ朱)(ラウ)源 寓言
 ト云テ、道理一、取ヘキ為ニ、万夏ノ譬ヲ拳也、上善ト
 云ハ、聖人也、水善利ニ万物ト云ハ、上ノ再釈也、利ト
 云ハ、養ノ心也、注ニ居レ之ト云ハ、水ハ賤所ヲ不嫌、
 卑湿垢濁ニ居也、衆人ハ、賤所ニ不居也、如譬、聖人
 ハ身ヲ儉約ニシ、不奢、衆人ハ、不謙奢ヲ義也、故幾
 於道ト云ハ、道ニ似タリト云心也、水ノ性ハ、似道也、
 聖人ハ即道士トモ、老子ノウタカツテ、云心也、幾ト云
 字ヲ、ホトント、ナレトモ、ホトウト、ヨミクセニヨ
 ム也、居善地ト云ハ、水ハ草木ノ上ニ在テモ、流テ地ニ
 下ル也、聖人ノ上ニ云時ハ、地モ悪ク、無道ナル所ニハ
 不居也、注ニ上ヘト云字ヲハ、上トヨムヘキ也、草木ノ
 リニワ
 上ハ、必ス在水者也、牝動而下人ト云ハ、唯柔ノ義ヲ、
 取ヘキタメマテ、牝ハ取レハ女ニ也、獸ノ時ハ、女獸
 也、メケタモノハ、男獸ヨリ、柔弱ニシ、人ニツヨク、

恐ル、者也、故ニ牝動下人ト云也、男獸ハ亦剛強也、飛
 フニ曰ニ雌雄、走シ曰ニ牝牡、語アリ、心善、測ト云ハ、水
 ノ心ハ、深測ニシ、清明ナル者々、聖人ノ心モ、深測ニ
 ノ清空虚ナル者也、與善仁ト云ハ、水ノ上マテ、仁ト云
 ハ、与レ虚不レ与レ盈義カ、水ノ上ノ仁也、聖人ノ上ニモ、
 富者ニハ不レ与、貧者ノニ与ルハ、仁也、佛家ニハ、慈
 悲ト云、儒道ニハ、仁ト云也、言善信ト云ハ、水ノ上
 ニ云時ハ、内影照レ形、不レ失其情所カ、善信義也、
 内影ト云ハ、水ノ影ハ、上ヘニ不レ見者也、影ヲ自内ニ
 スル者也、灯ナントハ、影カ外ニ、キツカト、頭ル者也、
 自牧一陸ハ、水ニ万物カ、望ニ見ルニ、影ハ水ノ内ニア
 ルト、アソハスナリ、照形ト云ハ、水ハ上ヘヨリ、底ニ
 至ルマテ、スキトヲツテ、見ヘテ、清キ所カ、照レ形義
 也、不レ失其情ト云ハ、清キ心ヲ、失ハヌ者也、聖人
 ノ上ヘニ云時ハ、言ニハ信カ簡要義也、政善治ト云ハ、
 水ノ上ノ政ハ、ヨコレタル者ヲ、洗清レハ、イカニモ清
 クナルカ、水ノ上ノ政也、聖人ノ上ニハ以レ水ヨコレタ

ル者ヲ、洗イ滑ル如ク、政ヲ正シクスル時ンハ、無レ不^(五)

治也、是善^(レ)治義也、注ニ洗滑ニメ、且平ト云ハ、政洗

滑ニスレハ、天下太平也、水ノ上テモ、ヨコレタル者滑

クスルハ、平ク義也、夏^(ニ)善能ト云ハ、水ノ上ニハ、能

方ナル者入レハ、方ニナリ、圓ナル者ニ入レハ、圓ニナ

ル夏、水ノ上ノ能ナリ、方トヨム也、聖人ノ上ニハ、水

ノ方ニ入レハ、方ニ成、圓ニ入レハ、圓ニナル如ク、其

レ^(レ)ニ從テ、夏ヲ成シ、教ヲナス所カ、善能義也、動

善^(レ)時ト云ハ、水ハ夏ハ散シ、冬ハ凝、應^(レ)期動所カ、

善^(レ)時義也、聖人ノ上ニハ、時代ノ、變化ニ從フ義也、

聰ト云ハ、マカスル心也、

○運夷章第九 運^(レ)ハハコフ、夷ハヤフル也、恃^(レ)而

盈^(レ)方タハ、心運義也、揣^(レ)而銳スル方ハ、夷義也、一陸^(レ)ハ

運^(レ)ハ、天ノ運數、夷^(レ)ハ平也、タイラカト云心ニ、アソハ

ス也、天ノ運數ト云ハ、十九年ニ一メクリスル也、恃^(レ)而

盈^(レ)之ト云ハ、不義ノ富、恃^(レ)而盈義也、命吾^(レ)ニ此心アリ、

不^(レ)如^(レ)其^(レ)已、不義ノ富^(レ)ハ、ヤンタルニハ、不^(レ)如也、恃^(レ)

ト云ヲ、句義ニハ、テヘンニカク、余本ニハ、リツシン

ヘンニ審^(レ)、イツレカ、善ナルヘキトハ、不^(レ)分明^(二)也、

揣^(レ)而銳ト云ハ、國ヲ治メテ、法度ヲ銳スル時ハ、長ク其

國ヲ、不^(レ)保義也、銳^(レ)ルトト云ハ、德ナル兒也、筆ノサ

キニ譬也、揣ト云字ハ、スイノ音アリ、シノ音アリ、注

ニ先^(レ)揣^(レ)之、後^(レ)必^(レ)弃^(レ)捐ト云ハ、先ト云ハ、辞字ニメ、先

治^(レ)國、法度ヲ、銳ニスルハ、後ニ必^(レ)弃^(レ)捐スル心也、自

收^(レ)リ、能ク揣^(レ)メテ、長ク可^(レ)保^(レ)ヲモハモハ、後ニ必^(レ)弃^(レ)捐

スル心也、金^(レ)玉^(レ)滿^(レ)堂、莫^(レ)之^(レ)能^(レ)守ト云ハ、上來ノ如ク、

恃^(レ)而盈、揣^(レ)而銳者ノハ、金玉カ我カ滿^(レ)堂、守^(レ)ナキト也、

自^(レ)收^(レ)ハ、金玉滿^(レ)堂、莫^(レ)之^(レ)能^(レ)守ト、アソハス也、富貴

而還^(レ)テト云ハ、支本ニハナシ、自^(レ)還^(レ)其^(レ)咎ト云ハ、驕^(レ)タ

ル咎ヲ、吾身ニ還^(レ)ヲク心也、其^(レ)咎^(レ)ハ、ノコツテヲル、不

失也、財利アルヲ富ト云、官位ニ在ルヲ貴ト云ホトニ、

貴ノ字ハ、ニニカ、ルヘキ也、功^(レ)成、名^(レ)遂^(レ)身^(レ)退、天之

道ト云ハ、譬^(レ)ヘニ、吳ノ范蠡^(レ)ハ、越王勾踐ノ臣下也、吳

王ニ、越^(レ)戰^(レ)負^(レ)テ、越^(レ)會稽山ニ、取^(レ)入^(レ)テ、耕^(レ)ゾ、アツカル、

謀ヲ成シテ、西施ト云、美人ヲ、吳王ニ販、吳王ニ、

淫欲ニヲホレタル時、出テ伐テ取也、其後、此美人ヲ、

越ニ帰ナラハ、越王、マトワルヘキトテ、美人ヲツ

レテ、五湖ノ水ニ、浮テ、二度不販、功成名遂身退義

也、吳王ヲ、伐シタカヘタルハ、功成名遂義也、五湖ノ

間ニ浮テ、二度不販、身退義也、日中移ト云ハ、日

中ニ成テハ、西ニ移者也、月モ十五夜ニ、清月スレハ、

必ス一分宛虧ル者也、以下如此、是天道ノ、自然ノ道也、

○能為章第十 能為ト云ハ、與ニ能為ニ離乎ト云所

ニ、カ、ルヘキ也、載ニ宮魄ト云ハ、宮ハ魄也、人ハ魄

魄ノ上ヘニ、乗居テ、乗保ニ生也、注ニ肝ト云ハ、肝ノ

蔵也、美酒ハムマキ酒也、甘メ有ハ、ムマキサカナ也、

ハ京本改行無シ

(改行) 抱レ一能無離乎ト云ハ、魂魄ノ上ニ、乗居テハ、此一

道ヲ抱テ、離ルコナケレハ、善也、一ハ道也、抱トモ

同心也、注大和ト云ハ、道ノ太和也、此ノ一道ハ、道ノ

大和シタル所ノ、精氣也、精ト云者ノハ、万物ニアル

者也、譬ハ梅ノ内ニ、サ子アツテ、其中ニシンアル如也、

是ヲ精ト云也、故ニ一名ヲ布ニ天下ニ也、入ヲハ為レ心ト

云ハ、此道カ、胸中ニ入テハ、心ト成也、出ヲハ為レ行、

此ノ道カ、出テハ、行迹ト成也、布施為徳ト云ハ、柳

ハ緑リ、花ハ紅ト、布施スルハ、道ノ徳也、惣ノ名テ為

レト云ハ、上乘ヲ惣テ、名唯道トスル也、一カ為レ言

ト云ハ、余ノ一ハ、一ト云ヘハ、二ニ渡ルカ、此一ハ二

ツトナキ、一ナルホトニ、至一ニ、無二也、專氣致

柔ト云ハ、我カ精氣ヲ、專ニ正クスレハ、形跡モ、應

レ之柔弱ニ成也、如ニ嬰兒乎ト云ハ、專氣、致柔、如

嬰兒也、滌除玄覽スルト云ハ、滌除ク二字ハ、共ニ

アラウ也、我カ心ヲ、滌除ノ、其心ヲ、玄冥ノ深キ所ニ

タイテ、覽ニ万冥一也、如此アレハ、無疵也、玄冥ト云

ハ、道ノ至テ、深キ所也、淨ニ、能無ニ疵病ト云ハ、

淨字ハ、ナキ本モアリ、愛ハ悖也、ヲシム心也、能無

知乎ト云ハ、治國、恩惠ヲ施テモ、君ノ徳テアルト、

民ニ無知善也、堯ノ民、井ハ傭テ水飲、田耕ノ食ハ、

何ソ帝ノ徳、有レ我乎ト云、是也、治身、呼吸ノ氣ヲ、
耳ニ聞ヘル衰、ナキカ如クスル時^則ンハ、身全ノ、善也、

注ニ呼吸ノ精氣ト云ハ、呼吸、喘息ハ、精氣ヨリスル

故也、天門ト云ハ、天ニテ云時ハ、北極紫宮ノ門ヲ云也、

北極ハ、天帝ナルニ依テ、衆星拱ノ、集ル門也、人ニ云

時ハ、鼻孔也、開闔ト云ハ、天ニ云時ハ、終始ノ五際ヲ

云也、開ト云ハ始也、闔ト云ハ、トツル心也、終ノ方タ

也、タテキルトモヨム、唯キルトモヨム也、人ニ云時ハ、

開ト云ハ、喘息ヲ云也、闔ト云ハ、呼吸ヲ云也、注ニ終

始ノ、五際ト云ハ、木火土金水ト終レハ、亦木火土金水

ト、始ル義カ、天ノ開闔義也、終始ハ、遠ク云時ハ、四

季、近ク云時ハ、日ノ中ニモ、終始アル也、五際ハ木火

土金水ノ五行也、能為雌乎ト云ハ、開闔、呼吸、喘息

ヲ、雌牝ノ、安靜柔弱ナルカ如ク、シツカニスヘキト云

心也、注ニ應變ト云ハ、時代ノ變化ニ應也、唱ト云ハ、

モヨホス心也、我ヨリ手ヲ出ス心也、明白四達ト云ハ、

道ノ明白ナル衰ハ、天下ハ極ノ外ニ、満ル如クト、云心

也、四モト云ハ、四方也、注ニ八極ト云ハ、八方也、樞

々煌々ト云ハ、アキラカナル兒ナリ、能無知乎ト云ハ、

道ノ明白ナル衰ヲ、天下人カ、無知也、生而不有ト云

ハ、道万物ヲ、生長フアルトテ、宰割、器ニ作ランス

ル、亦屋具足ニスヘキナントハ、セヌ義也、玄德ト云ハ、

玄冥ナル、至テ深キ徳ト云心也、注ニ道行徳ト云ハ、

万物ヲ生シ、畜養スル方ハ、皆道ノ行ノ徳也、如此云

心ハ、人モ道ノ如ク、恩惠ヲ施テモ、我(カ)恩テアルト不

レ思、無心ナルカ、善也、

○無用章第十一 無カ用助ト成ル章也、卅輻共一


轂ト云ハ、車ニ卅ノ輻ト云者アリ、輪ト轂ノ間ニサス、

軛輻ト云也、一月ノ日ノ数ニ、法テ卅アリ、共ニ一轂

ト云ハ、一ノ轂ヲ共トノ、卅ノ輻集ル也、輻ナクシテハ、

車不行、此輻簡要ナルカ、是レモ、中ニ空虚ナルニ依

テ、卅輻集テ、簡要ト成也、此如譬、人モ空虚ナレハ、

道カ胸中ニ、ヤトルホトニ、空虚カ簡要也、 輪也、

卅ト云字ハ、サツノ音アリ、去声也、轂ト云ハ、輪ト

リ中ノ輪也、注ニ轂ノ中ニ、有孔ト云ハ、此孔、輪ト
轂トノ間ノ孔也、濼^(マ)之ト云ハ、轂ニ集也、神ト云ハ、

五藏ノ神也、販^ハ之ト云ハ、各ノ居所ニ依テ居也、販ハ

依也、寡ニノ能總^ハ衆ト云ハ、寡ハ轂、衆ハ輻也、於人、

寡ハ一人君也、衆ハ万民也、君ハ一人ナレトモ、能ク万

民ヲ總ル者也、弱共扶^ハ強ト云ハ、弱ハ卅輻也、卅輻共

ニ集レハ、扶^ハ強大成也、於人、弱ハ衆人也、衆人カ、

共ニ集レハ、タスカツテ、強ニ成也、扶^ハ強ト云ハ、タ

スカツテ、強ナルト云心也、得^ハ輪轉行ト云ハ、轂ノ

中ナル孔カ、空虚ナルニ依テ、其孔ニ、軸ヲサスホトニ、

車轉リ行也、舉ト云ハ、車ノ上ニ舉アリ、是モ中空虚ナ

ルニ依テ、人乗夏ヲ得也、爰ニ本ニ、舉ト云ハ、車ヲ取

ハナシテ、アリクナリ、墟ト云ハ、子ハキ土也、シヨク

ノ音ノ時ハ、去声也、シノ音アリ、挺ト云ハ、ツキフル

ウテ、和クル也、エンノ音アリ、センノ音アリ、為^ハ器

ト云ハ、花瓶、香目、土器ノ類作也、鑿^ハ戸^ハ牖^ハ、以為

空ト云ハ、家ヲ作テハ、先ツ戸ト牖トカ簡要也、語ノ

前後スルヤウナレトモ、文ノ法ニ、如此タカヘテ、書

也、注ニ出入ハ戸ニカ、ル也、覲視ハ、牖ニカ、ル也、

有^ハノ之以為^ハ利ト云ハ、万物ノ器ノ利潤ト云夏ハ、無也

以為^ハ用也、中ノ虚空ナル所カ、用助也、注ニ物利ニ於形

ト云ハ、物トハ、中ニ盛ル、者也、利ニ於形ト云ハ、形

トハ、万物ノ器也、盛ル、物ハ、器ヲ利潤トスル也、器

中ニ物有^ハホトニ、其物ノ利潤ハ形也、形ハ器也、下モハ

其譬也、器中有^ハ物ホトニ、為^ハ物、器カ利潤也、室中ニ

ハ有人、家ノ恐^ハ破也、家ノ不^ハ破所カ、人ノ利潤也、腹

中ニハ有^ハ神、畏^ハ形(ノ)消亡一也、形不^ハ消亡一所カ、

神ノ利潤也、虚^ハ无^ハ、制^ハ有形ト云ハ、カシコニアル、

文ノ辞ヲ引テ、爰ニ置也、制^ハ製作ノ心也、虚^ハ无^ハ道^ハ曰

リ、有形者ヲ、ナス心也、

○檢欲章第十二 檢^ハ欲也、為^ハ腹不^ハ為^ハ目檢欲

也、五^ハ色令^ハ人目^ハ盲ト云ハ、青黄白黒ノ色ニハ、人面

白カルホトニ、貪^ハ淫欲、好^ハ色ホトニ、傷^ハ精、失^ハ明

程ニ、人目ヲ盲目ニナス義也、五音ト云ハ、官商角徵羽

○輕拳ノト云ハ、道ノ自然ヲ、体シツレハ、輕拳ノ、昇

雲、出入無間一スヘキ也、是レハ譬也、無間ト云ハ、

金石ノ間也、金石ノ間ニモ、出入スル者也、貴以身ト

云ハ、貴ク吾身ヲ思者也、寄ト云字ノ心ハ、暫時、一夜

ナント、兩ヤトリスル心也、如此身ヲ、貴ク思者ノハ、

天下ヲ持テ、治レトモ、不レ久、暫時天下ヲ持也、愛ト

云ハ、ヲシム義也、去レ情欲、守レ道、体ニ自然、愛レ身

心也、託ト云字ハ、天下ヲ、長久ニ持託心也、

○贊玄章第十四 (ホムル) 贊レ玄也、玄ハ深キト云心也、道

ヲモ玄ト云、徳ヲモ玄ト云也、是ハ贊レ道義也、視レ之ト

云ハ、道ヲ視レトモ、不レ見也、曰夷ト云ハ、夷カ道也、

夷ハヒトシキト、ヨム也、道ハ、天下夷満タル、者ナレ

トモ、無レ色モ、无レ緑色一モホトニ、不レ見也、曰希ト

云ハ、希カ道也、希ハナシトヨム也、道ハ無レ音モ、無

レ香モ程、不聞也、曰微ト云ハ、微カ道也、道ハ微妙ニ

シ、無レ形程ニ、搏レ之不得也、注ニ以レ神ト云ハ、陰陽

不レ計、云レ神ト云テ、凡慮ヲ以テ、不レ計所カ神也、此

道求メンスルニハ、胸中ノ、不レ計所ノ、神ヲ以テ、可

求也、詰ルト云ハ、ソシル心也、詰音也、混而為レト

云ハ、夷希微ノ三ヲ合テ、唯道一ツト成也、其上不レ瞰

ト云ハ、此道ヲ、上ヘヲシアケテ、見トモ、瞰ニ、光明

モナキ也、注ニ在天一上ト云ハ、天ニアツテモト、云

心也、其下不レ昧ト云ハ、亦下ヘ、ヲシサケテ、此道ヲ

見トモ、亦クラクモナキ也、繩一々ト云ハ、動行テ、無

レ極完也、無レ状之状ト云ハ、无レ状状也、其故ハ、状ナ

キカトスレハ、為レ万物、柳ハ緑リ、花ハ紅ト、形ヲナ

スホトニ、無レ状之状也、万物ヲ形スル、故ハ道ノナス

処也、無レ物之象ト云モ、無レ物象也、無物ト、無状ト、

如此アルトキンハ、一ニナルホトニ、無状ヲハ、用ト心

得ヘキ也、無物ヲハ、赫ト心得ヘキ也、体ト云ハ、シツ

カト、象チアル者也、用ト云ハ、形シツカト、不レ顯、

アルヤラ、ナキヤラウノ、ヨウナルヲ、用ト云也、忽悦

ト云ハ、アルカトスレハ、ナキカ如クナルヲ、忽ト云也、

ナキカトスレハ、アルヲ、悦ト云也、悦ト悦ト同心也、

道ハ恍惚ナル者也、隨_レ之不見_ニ其後_一ト云ハ、此道ニ隨_レ也、隨_ト云ハ、アトニ行クヲ、隨_ト云ナリ、迎_レ之不見_ニ其首_一ト云ハ、此道ヲ前ヨリ、立マワツテ、見レトモ、不見_ニ其首_一也、迎_ト云字ノ心ハ、居ナカラ、物ニ迎者也、亦門ヨリ、外ニ出テモ、迎者ナルカ、迎時ハ去声也、愛テ居ナカラ、迎時ハ上声也、端末ト云ハ、始終也、執_ニ古之道_一、以御_ニ今ノ之有_一ト云ハ、是ガ、古ノ道アルト云ヲ執_テ、今ノ道ヲササムル也、今ノ有ト云ハ、今ノ道也、御ハラササムル也、知_ニ古始_一、是謂_ニ道紀_一ト云、古ヨリ今ニ至ルマテ、道ハ、如此、行ハレテ、知タル人ハ、道ノ紀綱ト成ル也、紀ハコツナ、綱ハラウツナ、簡要ト云心也、

○顯德章第十五

顯_レ德也、是ハ道經ナレトモ、德

ノ哀ヲモ、道ニ云、道ノ哀ヲモ、德經ニ云ホトニ、互ヘ

テ見ヘキ也、古之善士ト云ハ、得_レ道君也、士ト云ニ、

三ノ心アリ、十一、能ナキ者ヲハ、士ト云マシキト云義

アリ、亦一ハ數ノ始、十ハ數ノ終リナルホトニ、物ノ始

末ヲ、知タルヲ、士ト云ヘキト也、亦士ハ哀也、事_レ君

有_レ忠者ヲ、士ト云ヘキト也、微妙_ニノ、玄通ト云ハ、

德道君ノ德ハ、微妙_ニノ、玄通也、玄ハ天也、其君ノ精、

与_レ天通スル也、微妙ト云ハ、至テ深ク、詞モ不_レ及所カ、

微妙也、注_ニ志節ト云ハ、ミサヲナリ、深_ク不_レ可_レ識ト

云ハ、此君ノ德ハ、至テ深キホトニ、不_レ知也、注_ニ内

視ト云ハ、父母所生ノ目、世上ノ視_ル目ニ非也、内ヲ視

ル義也、内ヲ見ト云ハ、道ヲ見也、道ハ外ニ不_レ顯者也、

深ク内ニアル者也、若_ク盲ト云ハ、世上ノ目ヨリハ、盲者

ニ似タト見也、真実ノ盲者ニ非也、反_レ聽ト云ハ、无声

ノ声ヲ、聽ホトニ、世上ノ聞ニハ反也、若_ク聾ト云ハ、一

旦聾タルニ、似タルテアル也、莫_ク知_レ所長ト云ハ、此

君ハ、何ニ長タル、人テアル、何事カ上手テアルトハ、

不_レ知也、夫唯不_レ可_レ識ト云ハ、深ク不_レ知ト云心也、強

為_ニ之容_一ト云ハ、下ノ句ニ、カタチヲ顯ス義也、強ト云

ハ、其君ノ德、微妙_ニノ、不_レ知者、其兒ヲ云ハ、強ク

ル義也、與_ト云ハ、深ク慎タル兒也、若_ク冬涉_レ川ト云ハ、

此得道ヲ君ハ、イカヤウニ、慎シマル、ソト云ニ、冬
涉川、心若難慎也、注ニ挙哀ト云ハ、前ヘニ得道、

君ノ徳、微妙ニシテ、玄通ナル哀ヲ挙テ、下句加ニ重慎也、

猶タル哀ト云ハ、畏兒也、猶ノ字ヲ、醫書テハ、タメラ

ウトヨム也、若レ畏ニ四鄰ニト云ハ、此ノ君ノ畏兒、人カ

法度ヲ犯ノ、四隣ニ、不知ヤウニト、畏ル如ク畏也、

注ニ拘ヘ制ト云ハ、拘法度ヲ行フ哀也、拘ルト云心ハ、

人カシロウスルロウト、ツ、シム所カ、拘ル心也、制ハ

法度也、儼タルト云、其若客ト云ハ、此君ノ、威儀儼

然タル哀ハ、客人ノ、主人ニ因テ、心中ニ無ニ造作、儼

然トゾ、アル如ク也、注ニ造作ト云ハ、心中ニ、造作ナ

キ体也、渙兮、若氷之將積ニト云ハ、渙々然ト云テ、物ク、

イカニモユウト、積タル兒也、氷將ニ積ケントスル

ハ、イカニモ、ユウトシタル者也、教号ト云ハ、教

厚ト云テ、道ヲ能ク守ル人ヲハ、敦厚ナル人ト云也、此

君ノ道ヲ能ク守タル体ハ、如朴也、朴ハアラキツクリ

カリノ朴、ツクラハ、イカヤウノ器ニモ、ナルヘキホト

ニ、内守ニ精神義也、曠号ト云ハ、此君ノ、廣大ニ空虚

ナル哀ハ、天地ノ間ノ如ク也、谷ト云ハ、天地ノ間ヲ云

也、曠ハ廣ノ心也、注ニ無所不ニ包容ト云ハ、若レ谷

ナレハ、万物ヲ無不ニ包容、能ク容也、包ハツ、ムトモ

ヨム也、渾号ト云ハ、渾ハニコル、トヨム也、情欲ナク、

生レナカラナルヲ、渾然ト云也、此君ノ、守ニ本真、無ニ

情欲所ハ、若レ濁也、濁トモ、以静之、徐情ト云ハ、

水モ濁止メテ、徐ク(ニ)静清スム也、如此ニ君モ、無ニ

情欲、守ニ本真一昧モ、濁レタル如ク、見タレトモ、徐

クニ見ル時ンハ、此君ハ、道ニ明達ナル君也、孰カ能ク、

安カニソ以久之徐生ト云ハ、孰カ如此君、久ク徐ニ生

ラウト云心也、保ニ此道者ト云ハ、徐クニ生ル道ヲ、

保ツ者也、不欲盈者、徐クニ生ル也、夫唯ト云ハ、

ツヨク、云ヘキ為也、弊ト云ハ、匿ニ光榮一義也、不新

○ 版根章第十六 版根也、至虚極一ト云ハ、虚無

ノ道ノ、マン中ニ至義也、注ニ五内ト云ハ、五蔵也、守

静篤一ト云ハ、静ト云ハ、道也、至虚極ノ道一、守静淨

道ニ、其道ヲ篤行ヘキ也、虚極ト、静淨トハ、同心也、

至道、守道、篤ク可レ行ト云心也、万物並作ト云ハ、

万物ハ、此虚無ノ道ヨリ、並ニ生也、並ト云ハ、万物ニ

並ニ也、作ナルト云時ハ、去声也、作音也、五以觀ニ其

復ト云ハ、吾老子也、以ト云ハ、万物ハ、各道ヨリ生

ル所ヲ以テ、根本ノ道ニ、復スル所ヲ觀ル也、觀ノ字ハ、

心カ觀ノ、見心也、人モ本ノ道ヲ、可レ重也、如此、万

物ノ上ハ、アルト云（キ）ツテ、ヲイテ、下句ヲ云也、

夫物芸々ト云ハ、物ハ万物也、芸々ト云ハ、衆多ノ完

花葉ノ盛兒也、根ト云ハ、道也、更生也ト云ハ、春ハ

生長シ、冬ハ枯落ノ、版本故ナリ、版根曰静ト云ハ、

前ヲタ、ンテ云也、静ハ道也、版根不枯者也、人モ如

此也、注ニ復還性命ト云ハ、天ヨリ受タル性ヲ、天命

ニ復還也、如此アレハ、不死也、曰常ト云ハ、万物枯

落ノ、復根、不死、是ハ道ノ常住不變ニ、所レ行也、

故ニ曰常也、曰明ト云ハ、道ノ常住不變ニ、所レ行知

ル者ハ、道ニ明達ナル者也、故ニ曰明也、曰容ト云ハ、

道ノ常住不變ニ、所レ行知ル者、去情欲一ホトニ、万物

ヲ、不ニ包容ト云哀、ナキ也、故曰容也、公ナリト云

ハ、無私クガイ也、王ナリト云ハ、公正ニシテ、無私、

天下ノ王者ト成也、注ニ形一ニト云ハ、形子道ト一

也、道ト一轉ナル時ンハ、神明也、千万共ニ、溱ニ己躬

ト云ハ、万物ノ上ノ、千万カ己カ、身ニ集ル也、天ト云

ハ、王者トナレハ、天ト徳ヲ、等スル程ニ、天ナリト云

也、道ナリト云ハ、天トナレハ、道ト徳ヲ、等クスルホ

トニ、道ナリト云也、久ト云ハ、与道、徳同キ時ンハ、

長久也、没身ヲ不危ト云ハ、道トナツテ、没身不危

ナリ、四者ト云ハ、公、王、天、道也、

○ 淳風章第十七

上古ノ、淳風アル章也、風ハ

教也、太上ト云ハ、太古也、伏犧以前ヲ云也、一陸ハ時

代ヲハ、不指也、自牧遺者ハ、太古ト云ハ、伏犧以前

ヲ、指へケレトモ、先ツ愛テ、時代ヲ指リ、太上ヲハ、
 三皇ノ代ニ指也、注ニ無名之君ト云ハ、三皇以前ノ君也、
 天皇氏地皇氏人皇氏ナント云也、周ノ成王ノ時、周公旦
 ヨリ、謚ノ法ト云、始テ、伏犧神農黃帝ナント、後ニ
 斯ル也、知有之ト云ハ、下タル者、上ニ君アルト云
 夏ヲハカリ知テ、臣下ト成テ、仕フル夏ナキ也、質朴ノ
 厚ニ依テ、如此也、其次親之譽之ト云ハ、五帝ノ代
 也、上古ノ後ハ、其君ノ徳、ウスキニヨツテ、イカホト
 ノ、有徳君テアル、イカホトノ、恩恵アル君テアルト、
 見ホトニ、親之譽之也、注ニ可レ称ト云ハ、可名ト
 云義也、五帝ト云ハ、少昊顓頊帝嚳堯舜也、長之ト云
 ハ、三王ノ時代也、三王トハ、夏殷周ノ三代也、悔之
 ト云ハ、五霸ノ時代也、禁制多、令煩依テ、下ヨリ上ヲ
 悔也、注ニ禁ル々制、令ル号令也、猶兮ト云ハ、深く慎
 ム兒也、其貴言ト云ハ、上古ノ君ノ夏ヲ、亦愛ニ引テ
 云也、大上ノ君ハ、猶々ト慎ミ、貴言也、如此慎故ハ、
 離道ヲ、失自然恐テ也、上ノ大上ノ君ノ夏ヲ、愛ニ

引テ結スル也、注ニ舉夏ト云ハ、太上ノ君ハ、何夏ヲ
 挙テ、行ニモ猶々トノ、貴言也、貴言ト云ハ、言行ハ、
 君子ノ樞機ナルホトニ、惡キ夏ヲ不言也、謂ニ我自然
 ト云ハ、君ノ徳ニ依テ、天下太平ナルトハ、不知、天
 然自然ニ、太平ナルト思也、注嘗然ト云ハ、自然ナル
 ト、思フ心也、

○俗薄章第十八 世俗ノ薄キ章也、俗ル習也、注

ニ家ト云ハ、人ノ家ニハト、云心也、戸ト云ハ、人ノ
 各ノ家也、軒ハカタマシキ也、六親ト云ハ、事林廣記ニ
 ハ、父母、兄弟、妻子ト見タリ、ウラホン經ニハ、父母、
 伯叔、兄弟ト見タリ、經々異説ト、心得ヘキ也、孝慈ト
 云ハ、孝行、慈悲也、愛ニ舜ノ孝アル譬アリ、注ニ六紀
 ト云ハ、六親也、親戚ト云ハ、親ハ父方也、戚ハ母方也、
 牧ハ養也、争權ト云ハ、權ハ勢也、イセイヲ争也、邪
 僻ト云ハ、二字共ニ同心也、ヨコシマ也、不知廉ト云
 ハ、不知廉直也、貞ト云ハ、タ、シキ也、日中ノ盛
 明ナル時ハ、屋ノ光ヲ失者也、

○還淳章第十九

上古ノ淳ナル風ニ、還ル章也、

絶^レ聖ト云ハ、此聖人ハ、儒道ノ聖人也、^注註ニ制作ト云

ハ、文書ヲ制作スル義也、^レ反^レ初、守元、道ヲ守ル義也、

唯一ノ心也、^レ畫像ト云ハ、五帝ノ繪ヲ懸テ、法度トゾ、

行^レ道方タハ惡也、^レ倉頡ト云者、^レ黃帝ノ代ニ、出タル者

也、彼レカ書ヲ作り、文字ヲ始ル也、^レ三皇結^レ繩ト云ハ、

三皇ノ代ニハ、文字ナキニ依テ、^レ結繩ノ政ト云テ、結

繩^レ（ヲ）政ヲスル也、^レ倉頡ハ、^レ黃帝ノ代ノ末ニ、出タ

ル者ナレトモ、^レ愆テ云時ンハ、三皇ト云也、^レ民利、百倍

シナント云ハ、老子ノ、今ノ時分ノ民ニ、^レ利潤カ、百倍

アルヘキト也、^レ華言ト云ハ、^レ文花ノ方也、^レ復^レ孝慈ト云

ハ、^レ民ニ根本アル、者ナルヲ、^レ德化薄キニ依テ、^レ仁義頭

テ、^レ民ニ偽カ、出テアルホトニ、^レ絶^レ仁義、^レ根本ノ孝

慈ニ、^レカヘルヘキ也、^レ絶^レ利ト云ハ、^レ利路名聞ノ方ヲ、

塞クヘキ也、^レ樞門ト云ハ、^レ高位ニ居ル義、^レ此三者ト云ハ、

絶^レ聖^レ弃^レ智一也、^レ絶^レ仁^レ弃^レ義二也、^レ絶^レ仁^レ弃^レ利是三也、

以為文不足ト云ハ、^レ上ノ三ヲ以テ、^レ民ニ教ルニ、^レ文カ不

足也、^レ故令^レ有所屬ト云ハ、^レ下ノ三句ヲ、^レ上ノ句ニ屬

也、^レ屬ト云ハ、^レ其（ノ）下タニ、^レ付クヲ云也、^レ見^レ素、

抱^レ朴、^レ少^レ私、^レ寡^レ欲三句ヲ、^レ上ノ句ニ屬スル也、

○異俗章第二十 世俗ニ、^レ異ナル章也、^レ絶^レ學ト云

ハ、^レ道ニ不^レ合、^レ學ヲ絶シタラハ、^レ憂アルマシキ也、^レ注

ニ不^レ真ノ學ト云ハ、^レ老子ノ道ニ、^レ不^レ合學也、^レ孔子ノ道

ヲハ、^レ老子ノ上ヨリ、^レ皆ナ不^レ真ト指也、^レ浮^レ華ト云ハ、^レ儒

道、^レ有^レ為方也、^レ浮^レハ過也、^レ唯^レ之^レ与^レ何、^レ相去^レ幾何ト云

ハ、^レ質素ニ對^レヲ、^レ曰^レ唯也、^レ文ニ對ルヲ、^レ何ト云也、^レ幾

何ト云ハ、^レクワツト相去タル也、^レ楞嚴經ニハ、^レ唯ト何

トアリ、^レ余ニハ、^レ唯与^レ何アリ、^レ多クハ、^レ阿カヨカルヘ

キ也、^レ注ニ同為^レ應對ト云ハ、^レ唯ニ應對、^レ何ニ應對也、

應ハコタフル也、^レ善之与^レ惡、^レ相去^レ何若ト云ハ、^レ善ト惡

トモ、^レクワツト相去ル也、^レ如此、^レ唯与^レ何、^レ善与^レ惡、^レ相

去タルホト、^レ有^レ為ト、^レ無^レ為トハ、^レ相去也、^レ有^レ為ハ、^レ文花

ノ方也、^レ無^レ為ハ、^レ質朴ノ方也、^レ老子ノ道ハ、^レ無^レ為也、^レ孔

子ノ道ハ、^レ有^レ為也、^レ人之所^レ長ト云ハ、^レ此人ハ、^レ無^レ為ノ

道アル人也、所畏ト云ハ、有為ノ方、不真ノ学ヲ、不

絶哀ヲ、畏也、注ニ畏ニ絶学君ト云ハ、此学ハ、

不真ノ道ニ、不合学也、不可不畏ト云ハ、此不真学

ヲハ、不畏、不可有也、其故ハ、近ニテ令色一、殺仁

賢一故也、荒兮、其未央哉ト云ハ、時代人カ、學文ス

ルトテハ、スレトモ、央ハニモアラスノ、止ホトニ、曲

モノイ衰テ、アルトナリ、荒ト云ハ、スサミタル也、ス

タル、心ナリ、熙々ト云ハ、情欲多キ兒也、衆人熙々ト、

多情欲也、如享大牢ト云ハ、大牢ハ、牛羊豕ノ、

イケニヘ也、衆人ノ多情欲一所ハ、飢ヘテ大牢ノ、イキ

ニヘヲ、受ル如クニ、アキタル衰ナキ也、如春登臺

ト云ハ、春登臺、世門ヲ見レハ、万物感動ノ、花モサキ

ミタレ、心モサツトシテ、面白者也、如此上ノ人ノ、

多情欲一、盛ナル精力、アル也、譬也、春ハ陰陽交通

スルト云ハ、正月ノ卦ハ、泰ノ卦也、三陽交泰ト云テ、

地ノ陰カ天ニ乗、天ノ陽カ地ニ下テ、陰陽交通ノ、万物

感動ノ、盛也、七月ハ、否ノ卦ト云テ、天ノ陽モ、地ニ

不下、地ノ陰モ、天ニ不上、陰陽カ、フサカル也、故

秋冬ハ、万物枯落スル也、感動ト云ハ、万物ノ、花ナト

モ、サキミタレテ、動キハタラク、ヤウナルハ、皆感動

スル心也、志意ト云ハ、見ル人ノ志意也、淫々ト云ハ、

盛ナル兒也、淫ハ過也、我獨ト云ハ、老子也、伯ト云ハ、

静ナル兒也、道ノ至テ、深キヲ、怕然ト云也、泊泊同義

也、未兆ト云、情欲一点モ、未兆也、兆ト云ハ、モヨ

ウス心也、形ト云ハ、アラハル也、如嬰兒之未咳ト

云ハ、怕トノ、未兆所ハ、如嬰兒也、未咳ト云ハ、

一向無心ナル所也、注ニ答隅ト云ハ、咳ノ心也、隅ニ

ハ對也、對スル心也、儻々ト云ハ、窮鄙ノ兒也、若無

所欲ト云ハ、上來ノ如ク、鄙ノ何衰ニモ、販り就所ナ

キカ如也、若ト云ハ、似リト云心也、有餘ト云ハ、衆

人ハ、餘財奢ヲナシ、餘智偽ヲ成也、若遺ト云ハ、

我ハ何ヲモ、ウチワスレテ、アル如クナト也、遺トモ同

心也、愚人之心哉ト云ハ、世俗人ニハ、不相隨、守レ

不移ホトニ、愚癡ナル者ノ、善ヲ聞テモ、不移如也、

一ハ道也、沌々ト云ハ、無ニ分別一^〇見也、俗人ト云ハ、世

俗一人也、照々ト云ハ、明達ナル見也、如^〇昏云ハ、如

闇昧一也、察々ト云ハ、急疾ナル見也、悶々ト云ハ、不

明見、不割截一見也、忽兮ト云ハ、キワマリナキ見也、

若海ト云ハ、老子ノ道ノ極ナキ夏、海江ノ流レテ、無

窮極一^〇如ク也、漂兮若無所止ト云ハ、老子ハ漂々然

ト、飛揚ノ、止ル所ナキカ如也、漂^〇ヒルカヘル、夕

夕ヨウ也、如此漂トノ、似無所止云心也、注ニ志意

在^〇神域ト云ハ、上來ノ如ク、飛揚ノアルトテ、意ナキ

テハナイ、心在域一也、神域ト云ハ、胸中ト云心也、有

以ト云ハ、有為也、以^〇ヲトハ、ヨマス、頑ト云ハ、

無為也、此頑ノ字ヲ、スルコトナシト、ヨマセタルハ、

注ニ本トツイテ、先儒達、ヨマル也、一睦ハ、カタクナ

、リト、ヨンテ、ヨカルヘキト也、雖^〇然先儒ノ、ヨミ

ツケニ任也、似^〇鄙ト云ハ、無為ニノ、スル夏ナキホト

ニ、一旦似^〇鄙也、異^〇於人ト云ハ、世俗ノ人ハ、有為

母ト云ハ、無為ノ道ヲ用也、

〇虚心章第二十一 虚^〇心、孔^〇徳之容ト云ハ、

大徳ノ万物ヲ、無所不容也、其故ハ、如^〇天地一也、

天ハ不^〇覆ト云所ナシ、地ハ無^〇所不^〇乘、大徳ノ人ハ、

万物ヲ無^〇所不容、唯道是^〇從ト云ハ、大徳ノ人ハ、唯

道ニ^〇從フ也、世俗ノ行所ニ、不^〇從也、

道之為^〇物ト云ハ、道ノ於^〇万物、往來スル夏ハ、唯^〇恍

唯^〇忽、唯ト云ハ、道ニ唯也、恍ト云ハ、ナイカトスレハ、

アル也、忽ト云ハ、アルカトスレハ、ナキ也、往^〇來於

其所ト云ハ、万物ノ上ヘニ、其^〇レノ所ニ、往來ス

ル也、忽兮、恍兮ト云ハ、前ヲサシカヘシテ云也、其

中有^〇象ト云ハ、為^〇万物ノ、設^〇象故也、此象ト云ハ、

万物トモ云、万象トモ、云ホトニ、下ノ物ト云字ニ、一

ニ成ルホトニ、此象ノ字ヲハ、似^〇リト云字ノ、心得ニノ、

見ヘキ也、用ノ方^〇也、注ニ設^〇法象ト云ハ、法ノ字ノ

心カ、混沌トシタル中ヨリ、是^〇レハ、人テアル、是ハ牛

亦前ヲ、サシカヘシテ云也、其中有^レ物ト云ハ、此物ハ、
 シツカト、有^レ形者也、赫ノ方也、注經營ト云ハ、万物
 ヲ生スル所^ハ、道ノ經營也、主^ル化ト云ハ、柳ハ縁、花
 ハ紅ト、成ル所カ、主^レ化機也、化ト云ハ、ヲシヘル心
 也、竊^クト云ハ、深遠ナル兎也、冥^クト云ハ、昏^キ方也、
 道ハ竊冥ナル者也、精實ト云ハ、實ハ信ノ心也、注^ニ神
 明ト云ハ、道也、相薄ト云ハ、セマルト云心也、薄ルト
 云ハ、一ハイ満タル心也、城^ノ墮^ニ、セメ入ルヲモ、セメ
 ルト、云ホトニ、如其イツクマテモ、不^レ入ト云所ナキ
 カ如ク、入ルヲセマルト云也、神妙ト云ハ、微妙ノ心也、
 其信在^レ中ト云ハ、匿^ニ功名^一タル中^ニ、信アル也、其名
 不^レ去ト云ハ、自古今^ニ至ルマテ、其道ト云名ハ不^レ去也、
 閱^ニ衆甫^一ト云ハ、衆ハ万物也、万物ハ、道ヨリ、一氣ヲ
 受テ、始テ生スル者也、亦衆ノ甫ト云点^モ、同心也、稟
 ヒンノ音アリ、ホンノ音アリ、稟^与ト云ハ、万物^ニ、ウ
 ケサセ、アタヘルナリ、然ト云ハ、如此ト云心也、

○益謙章 第二十二 謙約ニスレハ、益、アル義

也、曲^ク則全^クト云ハ、曲^レ己^ニ、從^ニ衆人^一、身全^ク也、此曲^ク
 云、字ノ心ハ、我身ヲ、キツト、腰ヲカ、メテマケ、或
 ハ竹木ナントヲ、曲ケタリナント、スル時ノ曲ル也、枉^ク
 則直ト云ハ、枉^レ己^ニ、申^ル人、身全也、此枉ノト云、字ノ
 心ハ、人ノ上^ニ、枉^ニ高^一駕^トヘナント、云時ノ枉也、自^リ
 我貴人ノ、不^レ來^キヤウナル人ナントノ、來ルヲハ、枉^ラ
 ルト云也、窪^アノ音也、如^レ注也、弊^ニ則新^ト云ハ、弊ハ、
 薄ノ字ノ心也、我身^ニ、何^レ夏^ヲモ、薄^ク受^ク時^ハ、天下人
 敬^レ之^ノホトニ、日^ニ新也、句義^ニハ、弊ハ故也、故^ニ新
 ニコタフ字也、亦ツイヤストモヨム、ヲ、ウトモヨムホ
 トニ、其時ハ、我カ光榮ヲ、弊^ニ義也、少^ク則得^ト云ハ、我
 身^ニ、何^レ夏^ヲモ少^ク受^ク時^ハ、得^レ多也、注^ニ天道ハ
 祐^ク謙、神明ハ託^レ虚^ニト云ハ、易ノ語也、多^ク則惑^ト云ハ、
 如^レ注也、抱^レ一^ト云ハ、守^レ道也、式^ト云ハ、法度也、不^レ
 自見^ニ、故明^ト云ハ、自^ラ我身^ノ、功^ヲ美^ヲ不^レ見^ニ、故^ニ天
 下人カ、此^ノ聖人^ニ、何^レ夏^ヲカシ、見^聞テ、知^ラセ申^サン
 ト、スルホトニ、天下ノ夏^ヲ、能^ク知也、故明^達也、注

其目ト云ハ、聖人ノ目也、聖人ナレハトテ、我カ目ヲ
 以テ、千里ノ外ヲハ、不見也、因天下之目ト云ハ、天
 下ノ目ニ依テ、視ル義也、其故ハ、上ニ聖人御座アツテ、
 治レ国政スル時ハ、天下人カ、何莫ヲカナ視聞テ、此聖
 人ニ、告テ申サウスルト、スルホトニ、居ナカラ、天下
 ノ莫ヲ、能ク知ルハ、因天下之目、視ル心也、不自
 是、故彰ト云ハ、如注也、彰シヤウノ音也、不自伐、
 故有レ功ト云ハ、自功莫不取也、不自矜、故長ト云ハ、
 如注也、與之ト云ハ、此聖人ト、莫争也、注賢与
 不肖ト云ハ、本來、賢人トハ与不肖、不爭者也、賢
 与賢、不肖与不肖、争フ者ナレ、無能与不爭
 者、争ト云ハ、賢人トモ、不肖トモ、不爭ト云心也、
 不肖ト云ハ、美人ノ徳ニ不肖ト云心也、亦ハ天地ノ徳
 不肖ト云心也、所謂ト云ハ、彼莫ヲ、愛ニ引テ
 云也、曲則全トハ者、豈ニ虚言哉ト云ハ、古ヘモ、我身
 ヲ、曲ル時ンハ、身全シト云、辞アルカ、豈ニ虚言ニテ、
 アツタヨト、愛ニテ、ヲトシツクル心也、虚言哉ト云点

其同心也、誠全而皈之ト云ハ、父母ニ皈ヌ義也、孝經
 ニ、身軀髮膚ヲ、受ニ父母、敢不毀傷ニ、孝ノ始トスル
 ト云語アリ、注肌ト云ハ、ハタヘトヨム也、曲則全ト云
 所ニ、尺蠖ノ縮身、一タヒ為伸、牡丹花下ノ睡猫、心
 有ニ舞蝶ト云語アリ、尺蠖ト云ハ、シヤクハカリスル、
 虫ヲ蠖ト云ナリ、牡丹ノ花下ニ、子ムル猫ハ、心ハ花ニ
 舞、蝶ヲ取テ、食フヘキト、思フハカリ也、
 ○虚無章第二十三 希言自然ト云、愛カ虚無
 義也、希言自然ト云ハ、天何ヲカ言哉、四時行レ、百
 物生ル義也、注愛言ト云ハ、愛悌也、ワシム也、愛
 言自然道也、不終朝ト云ハ、朝ヨリ、暮ニ至ルマテ
 ハ、不吹ト云心也、分テ云時ハ、朝ハ辰巳時也、日中
 ハ、午未ノ時也、暮ハ申酉ノ時ヲ云也、驟雨ハ、ニワ
 カ雨、時雨ノ類也、而ヲ况ヤ於人乎ト云ハ、天地スラ、
 長久ニスル莫、不能、况ヤ於人、アルマシキ莫ト云心
 也、注至神ト云ハ、至テ神靈也、合フテト云ハ、天地
 和合ノト云心也、亦合為飄風暴雨ト云、点モアリ、

此合ノ字ヲ、ヘキニトヨム心ハ、合ト云（心）ノ時ニワ

ク也、ヘキニト、云ツメル時、此合ノ字ヲ書也、從哀

ト云ハ、何哀ノ事ヲ、成スニモ、道ノ如ク、スヘキ也、

失者ト云ハ、有過テ者也、

道モ亦樂フ得ト云ハ、道モ此人ニ、エラレンコトヲ、樂

フ義也、物類、相帰、同聲相應ト云ハ、易ノ語也、物

類相皈ト云、證拠ニ、銅山崩レテ、洛鐘應スト云語アリ、

是ハ蜀國ニ、銅子山カ、崩レタレハ、洛中ノ鐘子、響

アルト云義也、亦堂上ノ樂、堂下ノ樂ト云義アリ、是ハ

樂ヲナスニ、堂上ノ樂カ、始レハ、堂下ノ樂モ、始ル、

是レ相應スル義（也）、

○善思章第二十四 善思ト云ハ、此章ノ裏ラ也、

面ニハ、惡ヲ挙タリ、惡ヲアレハ、善アル理也、跛者

不立ト云ハ、譬也、跛ト云ハ、走ル者ハ、不立者也、

如此進テ、欲取功米者、立身、不行道義也、句義

ニハ、跛トアリ、注ニ貪權ト云ハ、權門也、跛ト云ハ、

兩足ヲ、フミハタケテ、立ル者也、跛者ハ不行者也、

踏ト云ハ、ヲコツタル心也、不行ト云（ハ）道不行ト云

心也、句義ニハ、踏マタカルトアリ、自見者不明ト云ハ、

前ニ在ルニ同心也、如注可見ナリ、我カ形容見テ、善

ト思フ者ノハ、不明者也、注ニ為應道ト云ハ、何哀

モ、我カ行フ哀ハ、應道思也、形醜ト云ハ、形容ニカ

ル也、操行ト云ハ、見所行カ、ル也、家ノ点ニハ、

操行ノ二字ヲ、コ、ロハセトヨム也、テヘンノ時ハ、ト

ル也、キヘンノ時ハ、ミサヲトヨム也、俗字ノ時ハ、テ

ヘンニ書也、其於道也、日餘食賢行アリト云ハ、

上來ノ如クナル者ハ、如此行迹アリ、日ト云ハ、日々

ニナリ、賦斂ト云ハ、年貢也、禄食ト云ハ、邦禄也、賦

ハクバルトヨム也、ナンホトノ田ニハ、年貢イカホト、

クハル義也、斂ハラサム、物ト云ハ、万物也、不處ト云

ハ、其國ニ不處也、

○象無章第二十五 万物ノ根本ヲ明ス也、万象、

万物同心也、有物ト云ハ、道也、爰ニ一物アルカ、混沌

トノ、雞卵ノ如ク也、成ト云ハ、其物ヨリ、万物ヲ成就

サセル也、先天地一^ニ生ト云ハ、此物ハ、イツコロヨリ、アルソト見レハ、天地ヨリ、先生^{キニテ}ゾアル也、寂兮寥兮ト云ハ、此物ハ、寂兮タル也、寂兮ト云ハ、人境ナキヲ、寂ト云テ、在^レ人無^ニ音^ハ一^ニ見^ル也、寥兮ト云ハ、一向ナキヲ、寥ト云ホトニ、人境モ絶ヘハテ、空虚ニシテ、無^レ形云也、獨立而ト云ハ、此物ハ、フタツトナキナリ、不改ト云ハ、万物ヲ化スル莫、常住不変也、匹^一双ト云ハ、匹^ハ配也、ナラフ、双モナラフ也、二ツトナキ故也、周^一行ト云ハ、此道ハ、天地ニモ、通行スルホトニ、周^行ク義也、不^レ殆ト云ハ、在^レ陽不^レ焦、吾ハ老子也、曰^レ道ト云ハ、道ハ理也、万物ノ生ル所ノ、理ヲ見テ、道ト名ル也、春生、夏ハ長、秋ハ収、冬ハ蔵、万物ノ上ノ理也、強ト云ハ、道ヲ大ト云ハ、強タル心也、曰^レ大ト云ハ、無^レ形万物ヲ利スル莫^ハ、道ニマシテ大ナル者ナキ故也、大ナル故ハ、高ノ無^レ上也、イカニ高キ者ニモ、上ハアル者ナルカ、此道ニハ無^レ上也、羅テアル者ノニハ、外カアル者ナルカ、此道ニハ内外モナキ也、

万物ヲ、無^レ不^レ容程ニ、道ニマシテ、大ナル者ナキ也、注^ニ無^レ不^レ包容ト云ハ、此道ハ、万物ヲ無^レ不^レ容也、曰^レ逝ト云ハ、逝去テ、無^ニ常所^一故也、遠ト云ハ、道窮ニ無^レ窮^一ホトニ、遠者也、窮^ニ無^レ窮^一ト云ハ、布^ニ氣^一天地、無^レ不^レ還故也、曰^レ反ト云ハ、此道ハ、遠ナルカト思ヘハ、亦不^レ越絶^一、立反我身、在者ナルホトニ、曰^レ反ト云也、注^ニ不^レ越絶^一ト云ハ、遠ナル者ナレトモ、立反テ、人ノ身ニ、在^レ者ナルホトニ、コヘタヘ又者ナリ、無^レ不^レ制ト云ハ、禁制也、王ノ禁制ニ、余ル所ナキ也、域中ト云ハ、八極ノ内也、八極ト云ハ、八方也、甘泉ト云ハ、唯イツミト云心也、人^ハ法^レ地ト云ハ、ノツトレト云心也、湛泊ト云ハ、シツカナル心也、道也、道^ハ法^ニ自然^一ト云ハ、道ハ、ハヤ法ルヘキ、者ナイホトニ、我カ性ニ法ル也、道ノ性ハ、自然ナル者也、
 ○重徳章第二十六 重徳也、重^ニ為^レ輕根^一ト云ハ、重者人君、輕者臣下也、輕者、根本ナルホトニ、不^レ重則^レ不^レ尊^レ也、其故ハ、輕^ハ葉、重^ハ根也、根

仍

ハ重キニヨツテ、不_レ動、葉_ハ輕ヨツテ、動ク也、靜_ハ為_レ躁

君_ト云ハ、靜ナルハ、君也、躁_ハ臣下也、天_ハ虧ト云ハ、

天ハ、壽命不_レ終曰_レ天、折也、若ク_ン死ヌルヲ、天ト云

也、四五ニテ、死ヌルヲ、上天ト云也、十八カリニテ、

死ヌルヲ、中天ト云也、十四五ニテ死ヲ、下天ト云也、

上殤、中殤、下殤ト云モ、同心也、生タル木ノ、枝ナン

トヲ、折テ取ヲ、夭折ト云ホトニ、壽命不_レ終方也、虧

ハカクルトヨム也、終日ト則_レ圓ナントハ、アソハス也、

亦伊勢物語リニハ、終日トアリ、日本テハ、ヒ子モスト、

ヨンテモ善キ也、輜_ハ重_ハ、如_レ注也、榮_ハ親ト云ハ、内裏

也、燕_ハ處ト云ハ、后ノ居所也、貴_ハ所也、超_ハ然ト云ハ、遠

ク去テ、不_レ居也、遠ク避ト云ハ、其所ヲ去ルテハナシ、

心ニ去_ハ義ナリ、万_ハ乘之主ト云ハ、王者ナリ、諸候ハ、

千乘也、而以_レ身ト云ハ、王者ノ以_レ身也、

○巧用章第二十七 巧用助トスル也、善行者、無_ニ

轍_ト迹ト云ハ、善行_レ道者、不_レ下_レ堂、不_レ出_レ門、天下

ヲ知_ル程ニ、無_ニ轍_ト迹ト云也、行ト云テモ、行ト云心也、

轍ト云ハ、車ノワタチノ迹也、注_ニ求_レ之於身ト云ハ、

求_レ道義也、善言者ト云ハ、言ヲモ、善ク擇_テ云者也、

無_ニ瑕_ト璃ト云ハ、瑕ハキズ也、論ハ責也、セムルナリ、如

此善言者、キスツキ、セメラル、責ナキ也、注_ニ論_ト過

ト云ハ、論ノ字ハ、過ノ心也、善計者ト云ハ、以_レ道計

責者也、籌_ハ策ト云ハ、カストリ也、策ハ算木也、易ノ、

メドノトニ、五十算木アリ、不_レ用所計、不多ホトニ、

カストリ不_レ入也、

善閉者ノト云ハ、善以_レ道、閉_ニ情欲_一者也、無_ニ闕_ト捷_一、

而不可_レ開ト云者ハ、以_レ道閉タルニハ、闕_捷ナイホト

ニ、開カレマシキト云心也、無_ト云ハ、無_ト云心也、門

戸ノ有_ニ闕_捷、如_レ闕_ニハ、アルマシキ也、闕_捷ナクシ

テ、善ク閉テ、ワイタルホト也、闕ト云ハ、門ヲ推合ス

ル所ヲ云也、簡要ノ処也、捷ト云ハ、門ヲコバム木也、

拒ト云ハ、サス木也、善結者ト云ハ、善以_レ道ヲ、結

責スル者、無_ニ繩_ト約ト云トニ、解_レマシキ也、繩ハナワ

也、約ハ約束也、約束ト云ハ、以_レ繩ヲカタク、ユイカ

△京本改行無シ

ラゲタル、如クナルヲ云也、是モ同前也、繩約ヲ以テ、
結カラケタル者ヲ、コソ、トケ、繩約ナイホトニ、解

(カ)レマシキト云心也、結トヨムハ、ヨミクセ也、カ
タフスルト云心ナリ、故無^也弃^也人ト云ハ、聖朝ニ、無^也

弃物ト云テ、直ナル者ヲハ、定木ニ成ス、曲タル者ノ

ヲハ、カキニスルホトニ、無^也弃^也人也、註^也得^也其所ト

云ハ、貴者^{ノニハ}貴、所賤者^ノ賤所^ヲ得^セサスル義也、殘

ハソコナイ、傷^ルハヤフル也、是^{シテ}謂^フニ襲^ト明^ト云ハ、句義

ニハ、襲^ルハ蔽^ル也、カクスト云心也、無^ル弃^ル物所^ハ、天道

明ナル所^ヲ蔽^ス心也、不^レ蔽^レ明、善^ヲ上^ニ、惡^ヲハ可^ク捨、

道理也、善惡^ヲ、不^レ捨、天道ノ、明ナル^處処^ヲ、蔽^ス心

也、亦襲^ハ、重也ト云、字訓アリ、此時ハ、ヲ、フト云

心也、襲^レ明義也、教^ニ民、順^ニ四時ト云ハ、民ハ、春

ハ耕^ル、夏^ハ耘^ル、秋^ハ收^ル納^ルシ、冬^ハ蔵^ルス義教也、此時カチ

カヘハ、万物ヲ殘傷也、師ト云ハ、善人ハ、不善人ノ坊

主也、資ト云ハ、タスケナリ、其故ハ、不善人カ、在ル

ニ依^ルテ、善人ノ德、顯ル、ホトニ、サテハ、善人ハ、不

善人ノ用助タスケ也、給^ハ用ト云ハ、給^ハ用ノ字ト同心也、

不^レ貴^ニ其師ト云ハ、才子カ師ヲ不^レ貴也、注^ニ獨^ニノ、

無^レ輔ト云ハ、弟子獨立ニノ、輔^ケナキ也、不^レ愛^ニ其資

ト云ハ、師ノ坊カ、才子ヲ不^レ愛也、言ト云ハ、此人ハ、

何^レ復^ク云ニモ、人ニ迷惑シタル、人テアルト云義也、是

謂^ニ要妙ト云ハ、不^レ愛^ニ其師、不^レ貴^ニ其資者、雖^レ有

知、大迷タル人テアルト、知ル人ハ、微妙ノ要道ヲ知

タル、人テアルト云心ナリ、注^ニ通^ニ此意ト云ハ、雖^レ智

アリト、大迷ト知タルハ、通^ニ此意也、

○反樸章 第二十八 反^ニ質^ニ朴^ニ也、知^ニ其^ニ雄^ニ守^ニ

其^ニ雌^ニ、為^ニ天^ニ下^ニ谿^ニト云ハ、今日、高位高官ニ、上^ニ夕

リトモ、昨日マテ、賤カタツシ所^ヲ、能^ク守^ル則^ンハ、

天下人カ、此人ニ販スル哀、水流テ如^ク入^ニ深谿^ニ也、雄

ト云ハ、今日高位ニ上ル義也、雌ト云ハ、昨日ノ無^レ位

時也、雄^ハマサレルトモヨム也、雌^ハヲトレルトモヨム

也、谿ト云ハ、山ノ谿^ニ不^レ限、天地ノ間ヲ云也、守^レ雌、

天地ノ間ニ、万物ノ販スル如ク、此人ニ天下人カ、可

販也、注ニ守レ之ト云ハ、守レ離也、卑微ト云ハ、道也、
販ハ依也、不レ離ト云ハ、不レ離レ己也、復販ニ嬰兒ト云

ハ、上來ノ如ナレハ、嬰兒懋然、如無所知也、懋然ト
云ハ、愚癡ナル兒也、注ニ昭々ト云ハ、明達兒也、黙々

ト云ハ、闇昧ノ兒也、無極ト云ハ、道也、汚濁ト云ハ、
汚ハ濁ノ字ノ心也、谿ノタニハ、セハキ也、谷ノタニハ、

ヒロキ也、販ニ於撰一ト云ハ、販道也、散ト云ハ、アラ
クルトヨム也、撰ハアラキツクリ也、五行ト云ハ、木火

土金水也、聖人用レ之ト云ハ、用朴義也、元長ト云ハ、
二字同心也、大制ト云ハ、道也、不割ト云ハ、万物ヲ

不割也、制御ト云ハ、二字共同、心ヲサムル也、
○無為章第二十九 無為ヲ云ヘキ為ニ、先ツ有為

ヲ舉也、去レ甚、去レ奢、去レ泰、是レ無為也、將欲取ニ天
下ニ而為レ之ト云ハ、以ニ有為一、取ニ天下ニ治スル義也、吾

見ニ其不レ得レ曰ト云ハ、以ニ有為ニ天下ヲ治メントスル時
ンハ、天道人心ヲ、不得見ヲ見ル也、吾ハ老子也、神

器ト云ハ、神物也、神物ト云ハ人也、為者敗レ之ト云ハ、

有為ヲスル者ノハ、敗ニ吾性一也、賢ハ性ノ字心也、執者
失レ之ト云ハ、有為ヲ執教者、失レ情實一也、故物或行

隨ト云ハ、物ハ万物也、上ノ所行、下必隨フ也、是レ
ハ皆有為ノ方也、或隨ト云マテ、人君タル者ノハ、スマ

シキ夏ヲ明ナリ、是以聖人ハ去レ甚、去レ奢、去レ泰ト云
ヨリ、上來ハ、皆有為也、宮室臺榭ト云ハ、各四也、皆

家也、榭ト云ハ、マワリニ樹ウヘテ、中ニ家ヲ作タルヲ
云也、亦ハ臺ノ上ニ家ヲ作タルヲ云也、亦ハ家ヲ天ニ作

テ、家ノ間ヲ、シキラヌヲ云也、三義アリ、中和ト云ハ、
中道也、

○儉武章第三十 儉約ニ武スル義也、以道佐人
主ト云ハ、以道德一、自我カ身ヲ佐ル人主也、兵ト云ハ、

兵具也、注ニ兵革ト云、革ノ字ヲ、付ル心ハ、兵具ヲハ、
以革スル故也、其事好レ還ト云ハ、以兵、天下ニ強大ニ

スレハ、其ノ報カ、我カ身ニ還ルト、知テ、強大ニセヌ
義也、好スルト云心ハ、善カ吾カ身ニ還リ、惡ヲ行ヘハ、

惡カ我身ニ、還ルト知テ、慎メハ、惡ハ不レ來好也、愛

好スト云也、注、拳夏ト云ハ、上來ノ以兵、天下ニ、
 強大ニセサル夏ヲ、拳テ、好、還ト云ハ、天下ニ強大ニ
 スレハ、我身ニ強大カ、還ルト知テ、不為、責己不
 怨人也、拳ト云モ、同心也、荊ハウハラ、棘ハカラタ
 チ也、凶ハ惡也、故善ハ者果而巳ト云者、善ヲハ直ニ、
 果スヘキ也、明日マテト、云ハハ、惡シカルヘキ也、果
 敢決断ニ、直果スヘキ也、亦違者ハ、善者果而巳ト、ア
 ソハス也、此心ハ、行善者、果敢決断而巳、不_レ休行
 善ト也、注、行善者、嘗ニ果敢一而巳不_レ休也ト、ヨ
 ム点ハ凶也、古本ニハ如此アリ、不_レ敢以取強焉ト云
 ハ、善ヲハ直ニ果ノ、強大ノ名一ヲ、取ルマシキナリ、
 敢ハタシ、果ハタスト云テ、果敢決断ノ四ツ者、皆ハタ
 ス義也、不ノ字ヲ、上ヘニヨキ、余ニハ不_レ置心ハ、強
 大ヲ取ル方ハ、惡キホトニ、上ヘニ不ノ字ヲ置也、余ノ
 善キ方ニハ、不_レ置、果トハカリラク也、
 矜ト云ハ、ヲコル也、注、推讓ノ二字ハ、同ユツル也、
 其美ト云ハ、功義也、不_レ得巳ト云ハ、至誠アル夏ヲ、

ヤム夏、アルマシキ也、亦不_レ得巳ト云点ハ、不_レ心得
 也、迫ルト云ハ、逼迫也、不_レ當_レ迫_レ不得巳ト云ハ、迫
 トナリ、不_レ迫_レ惡也、至城アル夏ヲ、不_レ得巳、迫ルヘ
 キ也、侵ハヲカス、陵ハシノク、人ヲ殺ス夏ハ、皆優陵
 也、物ト云ハ、万物也、坐ト云ハ、依_レ不_レ行道、枯老
 スルホトニ、我ト我カ身ヲ、坐スル心也、
 ○偃武章 第三十一 偃武也、偃ト云ハ、不_レ用
 方ヲ也、飾兵ト云ハ、五兵ノ類、兵具ヲ飾義也、五兵ト
 云ハ、太刀、長刀ト云如クノ類イ五アリ、不_レ祥ト云ハ、
 不善也、注、和氣ト云ハ、吾身ノ和氣也、和氣ト云故ハ、
 陰陽和合ノ、受_レ氣故ニ依_レラ云也、物ト云ハ、万物、貴
 左ト云ハ、君子タル、人居ルトキハ、柔弱ナル国ニ居
 也、文武ノ二ヲ云時_則ハ、左_ハ文右_ハ武也、右ハ夏ヲ取
 テナスニ、ヤスキ方、剛強ノ方也、左ハ夏ヲ成スニ、自
 由ニナキ方タ、柔弱ノ方ナリ、貴右ト云ハ、右ハ剛強
 也、陰ノ方也、注、兵革ト云ハ、兵具ハ、以_レ革スル故
 也、君子ノ器ト云ハ、道也、不_レ得巳而用之ト云ハ、

殷紂夏桀如キ(ノ)人ハ、一人ヲ殺シ、万民ヲ助ル、義ナルホトニ、君子モ不得レ曰、殺也、周ノ武王殷紂ヲ殺ス、不得レ曰、而用レ之義也、注ニ遺衰ト云ハ、代ノ遺衰也、逢乱ト云ハ、代ノ乱也、注ニ自守ト云ハ、守道義也、恬憍ト云ハ、道也、恬ハ静也、憍ハ安也、道ノ至テ、深キヲ、恬憍ト云也、注ニ不ノ字ヲ上ニ置クハ、二ニカ、ルヘキ也、不食ニ土地、不利ニ人財宝ト云心也、此類前ヘニ多也、勝而不美也ト云ハ、戦勝モ、利潤トシテ、不美也、不可_三以得_二志於天下ト云ハ、我カ志ヲ、天下人ニ、得サセマシキト、云心也、注ニ制_二人命ト云ハ、人ノ命ヲ、助ルモ殺モ、王者ノ禁制ニ在ル故也、刑誅ハ二字共ニ殺ス也、上左ト云ハ、左ハ陽ノ方、方物生ル位也、上右ト云ハ、右ハ陰ノ方、物ヲ殺ス方也、偏將軍ト云ハ、偏ノ字ノ心ハ、東西南北ノ、四方ノ中ヲハ、正方ト云也、少モソハヘ、ヨリタル方、角ヲハ偏ト云也、上將君ヨリ、次ノ將軍也、愛本ニテノ、副將軍、不殺方ヲ、賤キニ取也、言_三以_二喪禮_一處_レ之ト云ハ、上軍ヲ

云也、泣_レ之ト云ハ、我_レ以_レ道、不能_レ化_レ人、害_二無辜_一民ト云テ、泣也、以_二喪禮_一處_レ之ト云ハ、戦勝テモ、將軍素服ノ、居_二喪禮位_一、哭スル也、素服ト云ハ、喪服ノ色ハ、素色也、喪モ服ヲ着テ、訪_レ成也、比_レ喪_三ト云ハ、喪ト云ハ、君親ノ喪カナリ、如其居_レ喪トニ、サテ比スルト云ナリ、哭ハ、ナクトヨム也、
 ○聖德章 第三十二 聖人ノ徳ヲ顯ス也、常無名ト云ハ、如_レ注見ヘキ也、注ニ弛ト云ハ、陰ノ方也、根_二版スル故也、弛ト云字ヲハ、弓ヲハツストモヨム也、俗字ニハ、施ノ字ニモ作ルナリ、亦弛ノ字ニモ作也、張ト云ハ、陽ノ方也、春ハ万物モ、葉ニ出テハツテ、盛ルホトニ、陽ニ取也、撲ト云ハ、道也、直ニミチト(モ)ヨム也、小ナリト云ハ、微妙ナル処ハ、小ナル心也、若能守_レ之ト云ハ、守_レ道也、將_二自賓_一ト云ハ、賓_レ客人也、客人_レ來_レテ、主人_二服者ナルホトニ、万物_レ、客人ノ主人_レ、從_レフ如ク、此侯王ニ、從_レヘキト云心也、注ニ賓服ト云ハ、賓ハ服ノ字ノ心ト、云ヘキ為也、二字共ニ、同

心也、大學ニハ、賓ノ字ヲ、ミチヒクトヨム也、主人ニ
 能ク、ミチヒカル者也、相合ト云ハ、和合也、甘露善
 瑞ト云ハ、堯ノ時ニ、五日一風、十日一雨アリ、是甘露
 ノ善瑞ヲ、下ス必也、莫之令ト云ハ、侯王、守道、
 天降甘露ホトナレハ、民ニ号令法度ヲ、下クサ子トモ、
 自調テ如道也、制有名ト云ハ、万物ヲ作ス也、制ハ
 制作ノ心也、名モノト云ハ、万物也、既有ト云ハ、万
 物ニハ、善ニ情欲アル、惡ニ情欲アルカデコソアレ、尽
 ニ有^{ニル}情欲也、善ニ情欲アルハ、善也、惡ニ情欲^{ニル}、惡
 也、注ニ叛道、離德ト云ハ、叛道、離道者、身ノ辱
 也、毀ハソコナフトヨム也、天亦將知^レ之ト云ハ、如
 注可見也、如此アレハ、天道ニ將^レニシロシメス也、知
 之ト云ハ、天道ニ人法道、行德ヲ^レ知ル時ンハ、
不殆也、注ニ神靈ト云ハ、天地ノ神靈也、猶川谷之与
江海ト云ハ、道ト人ト、相通スル^レ夏ハ、川谷ノ流レテ、
江海ニ^レ如^レ通也、川谷ヨリ流レテハ、江海ニ^レ入ト云夏
 ナキ也、

○弁徳章 第三十三

弁徳也、弁ト云ハ、分別ス

ル心也、知人者^レ智也ト云ハ、人ノ好惡ヲ知ル者ノハ、
 智惠アル者也、(此)智ハ惡キ智惠也、其故ハ人ノ、好
 惡ヨト云ハ、惡キ也、

△京本改行無シ

自知者明ト云ハ、我身賢人テアル、不肖テアルト、立反
 テ知タル者、無声ノ道ヲ聞キ、無形ノ道ヲ、見者ナルホ
 トニ、明達ナル者也、注ニ内ト云、道ハ内不見、ミラ
 レマシキ也、道ハ内ナル者也、外父母所生ノ、目ヲ以テ
 ハ、不見也、有力ト云ハ、能勝人者、我カ威力ヲ以テ、
 勝ホトニ、有力也、自勝者ト云、如注可^レ見、知足者ノ
 ハ富ト云ハ、人財宝ハ少ナクトモ、吾レハ是レカ、至極
 足テアルト、知ル者富也、其故ハ長ク保^レ福祿一故也、強
 行ト云、強行ニ善道一者也、有志ト云ハ、如此アル者ハ、
 有^レ志^レ道者也、注ニ強力ト云ノ二字ヲ、一ニツトメテト
 ヲム也、強万ト云ハ、惡也、道モ亦有意^ニ於人ト云ハ、
道ノ方ヨリ、人ニ有^レ意義也、不失其所ト云ハ、人受
 天所、精氣不^レ失則^レ久キ也、節養ト云ハ、法度

ノ如ク養也、多食スルモ凶シ、少ク食スルモ凶ホトニ、
 中道ニ食スルハ、節養義也、死而不妄者壽ト云ハ、若
ク三十四ノ間ニテ、死ヌルモ、不守道、妄ニシテ死
ヌル者、命短也、句義ニハ、孔子ノ朝闢道、夕ニ死可
ト、仰アル此心也、世上ニ、道行フ者アルト云義ヲ、朝
ニキイテアラハ、道行フ者ノハアリテアルホトニ、夕ニ
死スルトモ、可也ト、仰アル、是レ不妄義也、

○任成章第三十四 任成ト云ハ、万物ノ成就シタ

ルニ、任ト心得ヘキ也、汜号ト云ハ、大道ハ、汜々然、
不繫如松、自由ナル者也、不繫如舟ナルヲ、汜然ト
云也、注ニ難殊ト云ハ、不明ト云心也、難殊ト云ハ、
是コソ道ヨト、別ニスル意モ、ナイト云心也、殊ワイチ
シロキトヨム也、其可ニ左右ト云ハ、左リニアツテモ、
右ニアツテモ、此道ハ、宜キ者也ト、云心也、注ニ無
所不宣ト云ハ、イツクニアツテモ、宜也、特之而生
ト云ハ、如注也、

不辭ト云ハ、前ニ多クスキタリ、功成而不名有ト云
 ハ京本改行無シ

ハ、万物ニ功ヲ成シテモ、我カマ、ニセ又義也、愛養
万物ト云ハ、如注可見也、道ハ万物ヲ、愛養スル者
也、不為主ト云ハ、道ハ万物ヲ、養テアルト云テ、万
物ノ主人トハ、不成也、可名ニ於小ト云ハ、道ハ匿名、
匿徳者ナルホトニ、小ナルニ、似ト云心也、注ニ微小
ト云ハ、微ハ少ノ字ノ心也、万物販スト云ハ、万物ハ販
道也、注ニ禁止ト云ハ、人主ノ禁制シ、止如クニハナ
キ也、禁ハイサカウトヨム也、可名ニ為大ト云ハ、道ハ
万物、横來、横去、使各自在、程ニ大ナル者也、道
依無形、小ナトモ云、大トモ云、色々ニ云也、是以聖
人ハ、終不為大ト云ハ、道モ隠徳、蔵名小ナルホト
ニ、聖人法道ホトニ、不為大也、能成其大ト云ハ、
聖人ハ法道、不為大、以吾身、人ヲ師導ホトニ、
万叟能ク治マリ、修ルホトニ、能成其大也、至深キ心
也、我身ヲ大ニセ又ニ依テ、人ヨリ大ニナス義也、注以
身師導ト云ハ、吾身ニ行法度、人ニ法ヲスルツ、以
身（ワ）師導心也、師ノ字ヲ、ヒキイルトヨムヘキヲ、

○以是者ナル

愛本ニ、師ノ字ヲヨムハ、悪キト、遠者ハ仰アル也、化
ハラシフル心也、

○仁徳章第三十五 仁者ノ徳ヲ、顯ス也、執ル大象ヲ

ト云ハ、守ニ大道一也、天下往ト云ハ、聖人守ニ大道一則ン

ハ、天下ノ万民、移心皈往スル義ナリ、注ニ移レ心ト云

ハ、此聖人ニ、万民カ移レ心也、皈往ト云ハ、往來スル

心也、樂ヲ與レ餌過一客止ルト云ハ、樂ヲ美スル哀トニハ、

客人モ止ル者也、是ハ譬也、過客ト云ハ、道也、人道ヲ

樂ミ美スレハ、道カ其人ニ止ル也、亦道ヲ過客ト云心ハ、

客久、其所カ善ケレハ、久ク逗留シ、悪シケレハ、彼チ

ヤツト、走ル如クニ、此道モ、人去ニ情欲一、心空虚ニス

ル時ンハ、胸中ニ、久クヤトル也、多ニ情欲一、悪ヲ行時

ンハ、出テ彼ニ走ルホトニ、過客ト名クル也、亦句義ニ

ハ、樂ヲ樂シテ、餌エハニスル也、面白キ樂、亦食物ト

ニハ、客人留ル者也、道ハ吉衰ニ、付クト云心ヲ、取

ヘキタメノ譬也、注ニ忽々ト云ハ、スクル客ト云者、ア

ルカトスレハ、ナキ者ノナルホトニ、忽々タル者也、道

モ如此也、出レ口ト云ハ、道ハ人ノ口ヨリ、出入スル者

也、淡兮無味ト云ハ、道ハ、口ヨリ出入シテ、五味ノ、

アチハイアルカ、如クニハナキ者也、淡ト云ハ、アワシ

ト云テ、水ノアワノ（アル）如ク、味イナキ兒也、莊子

ニ曰ク、君子ノ交リハ、淡トメ、如水、小人ノ交リハ、

甘ニ如レ醴ト云ヘリ、醴ト云ハ、アマ酒也、後ニ辛ナル

義也、是ハ淡ノ字ノ、アチハイナイト云心、取ヘキ為也、

用レ之不可既ト云ハ、此道ヲ、天下一同ニ、用レトモ、

道ノ尽ルト云衰、ナキナリ、故ニ用レ道、治レ國、富民ノ

昌、無レ尽、治レ身延長ニ、壽尽ル衰ナキ也、

○微明章第三十六 此章カ、其ノ謀リ（ヲ）成ス

道ハ、微ニ其ノ効明ナル義、將欲レ禽レ之必固張之ト

云ハ、譬ヘハ、箱ニ先ツ蓋ヲセンスルト思フ時ハ、必ス

蓋ヲ開ク者也、如此人ヲ滅スヘキト思時ハ、先ツ奢ヲ濶極

メサセル也、奢極ル時（ハ）、必ス滅ル也、是皆國ヲ治ヘ

キ、謀リ衰也、亦禽トモヨム也、禽トヨム凶也、非學者

注ニ開張ト云ヲ、見アヤマツテ、ヒラクト点ヲ仰ル也、

開張ト云ハ、唯張ト云字ノ、心ハカリ也、張ハ、ハルト

モヨム也、張夕方ハ、奢ル義也、以下モ皆、同心ナリ、

注ニ此四夏ト云ハ、上ノ四也、柔弱ハ、勝ニ剛強ト云ヲ、

和シタル哥也、中々ニヨワキヲ、ヲノカチカラニテ、風

ニモヲレヌ、岸シノ青柳、此心也、魚不可脱於淵ト

云ハ、下(ノ)句ヲ云ヘキ為ノ譬也、其故ハ、魚ヲ淵

ニ脱テ、後ハ、二度ト不抱也、注ニ去剛得柔ト云ハ、

魚ハ上ヘニ在テ、ヲトリハ子タル所ヲ、剛強ニ取り、水

ニ入テ、自由ナル所ヲ、柔弱ニ取也、国之利器ヲハ、不

可ニ以示人ト云ハ、利器トハ、国ヲ治ルノ樞道也、治

國樞道ヲ、他人臣下ナントニ、示シタラハ、ヲツ取テ、

二度ト、カヘスマシキ所ハ、魚ヲ淵ニ離テ、二度ト取ヲ

レ又如也、樞道ヲハ、人ノ臣下ニ示スマシキ也、經ニソ

ムイテ、叶道樞道ト云也、亦聖跡ヲ、樞道ト云義アリ、

注ニ不可ニ以示執夏之臣ト云ハ、此執夏ヲハ、他人ノ

執夏ノ臣ニ、示マシキト云心也、亦一陸ハ、此執夏ハ、

我カ執夏ノ、大臣下ナントニモ、治國大夏ノ、樞道ヲ

ハ、示スマシキト也、示タレハ、ヲツ取テ不販、背主
者也ト、アソハス也、示非其人ト云ハ、治身人ニ非
レハ、示スマシキ也、

○為政章第三十七 為政也、無不為ト云ハ、天

施シ地化ノ、万物ヲ生スル程ニ、無不為也、守之ト

云ハ、守道、自化ト云ハ、自然ニ、我カ如ク、ナルヘキ

也、注ニ効於己ト云ハ、如我効スヘキト云心也、爰

テ化スルト云心ハ、如我スヘキト云心也、欲作ト云ハ、

巧偽ヲ作也、鎮之ト云ハ、此巧偽ヲ、シツムルニハト

云心也、鎮ハシツムトヨム也、不欲以靜ト云ハ、此無

名朴ヲ、不欲、不止、ヲシカヘシ、此道ヲ行ヘト

也、如此アラハ、天下ハ自正ト云心也、注ニ改ト云ハ、

不_レ用トモ、此道ヲ改テハ行イ、ミミミ、不止行ヘト云

心也、無名ノ朴ト云モ、靜淨ト云モ、同道也、句義ニハ、

淵ヲ道ニ譬ヘ、魚ヲ人ニ譬也、

老子道經上

老子德經抄

上下ヲ、配^ニ天地^ニホトニ、是レハ配^レ地^ニ德^ニ經^也也、字心ヲ

云ヘハ、德ハ得也、道ヲ得タル人ヲ、德アル人ト云ホト

ニ、道ヲ得タルカ德也、亦一儼^ハ、得^ニ万物^ノ精^ヲ、人ヲ有

レ德人ト云也、一睦^ハ、道ヲ不^レ離^ル、心得タルカ吉ト也、

此德ハ、道ヨリ得ル德也、

○論德章第三十八 論^レ德也、上德不^レ德、上德ト

云ハ、三皇以前、太古ノ德ヲ云也、德大ニシテ、無^レ上ホ

トニ、上德ト云ナリ、

○不^レ德ト云ハ、以德民ニ教ヲ不^レ成、自然ニ因循^ノ、

養^ニ人性^一命^ヲタツシホトニ、至テ其德深ニヨツテ、不^レ顯

ホトニ、不^レ德ト云ナリ、

○注^ニ太古ト云ハ、三皇以前、天皇氏 地皇氏 人皇氏

水神氏ノ時代ヲ指也、○無^ニ名号^一ト云ハ、其時分ノ君ニ、

無^ニ名号^一也、

○是以有^レ德ト云ハ、其君ノ合^ニ天地^ニ、民得^ニ以全^一ホト

ニ、是レハ至テ有^レ德也、○和氣ト云ハ、天地ノ、和合

シタル氣也、流行ト云ハ、水ノ流レテ、不^レ至^ル所、ナキ

カ如ク、行レテ得^ニ民全^一也、○下德ト云ハ、三皇以下ヲ

指也、其君ノ德、上德ニ不^レ及^ルホトニ、下德ト云也、○

不^レ失^レ德ト云ハ、其君ノ德、ナンホトノ德有^ル、君ト顯

レ、其功称^メアタツシホトニ、ハヤ不^レ失^ル德也、是レハ

德衰テ、淺キ方也、○注^ニ号^ニ謚^ト云ハ、二字共、名ト云

心也、其上ニハ、君ニ名^モナカツタシカ、下德ニ成テハ、

三皇五帝ニ、皆謚スルホトニ、号^ニ謚^ト君ト云也、謚ト云衰

ハ、周成王ノ時、周公旦ヨリ始也、其人ノ依^レ德、死後

名ヲ送也、謚ノ法曰、天地ニ經緯スルヲ、文ト云、天地

ニ戈楯スルヲ、武ト云也、○是以無^レ德ト云ハ、此君ハ、

ナンホトノ、有^レ名君テアル、有^レ德君テアルト云テ、有

レ德知ル、ホトニ、無^レ德ナリ、至^テ深キ德ハ、上ニ有

レ德トモ不知也、○注^ニ以有^ニ名号^一及^ニ其身^ト云ハ、此君

ハ、ナンホトノ名アル、君テアル、有^レ德君テアルト、以^ニ

名号^一、及^ニ其身^ト云ハ、無^レ德也、○上德ハ無^レ為^ト云

ハ、上ヲ再^ニ釈スルナリ、

○而無^レ以^レ為^レト云ハ、ナンホトノ、名アル君ト云事モ、

ナキ故也、○下徳為^レ之ト云ハ、為^レ教令^レ施^レ政事^レ也、

○而有^レ以^レ為^レト云ハ、為^レ己取^レ名、ナンホトノ名アル、

君テアル、ナント、名ヲ取也、○上仁為^レ之ト云ハ、道

徳仁義礼ト、次ホトニ、上仁ヲ舉也、為^レ之ト云ハ、仁

恩ヲ成也、○而無^レ以^レ為^レト云ハ、上仁ハ、仁恩ヲ施、功

成事立テモ、執有^レテ、吾カマ、ニ、スル^レナキ也、○注

ニ初成事立無^レ以^レ執為^レト云ハ、其マ、ニシテラク也、吾

カマ、ニセヌナリ、○上義為^レ之ト云ハ、為^レ義断^レ割ス

ル也、義ハ西ニ配ノ、金ニ取、物ヲコトハル方也、而有

以^レ為^レト云ハ、為^レ己殺^レ人、成^レ威^レナント、スルナリ、

○注ニ賦^レ下ト云ハ、是ヲハカウセヨ、何ニヲバ、ナン

トセヨト云義也、一睦^レハ、賦^レ下ト云ハ、下ニ年貢、賦

斂ヲ取義トアル也、奉^レト云ハ、ウクル義也、○上礼為

之ト云ハ、礼ノ法度ヲ作テ、序^レ威^レ儀^レ、夏ヲナス也、

○注ニ制度ハ、法度也、○而莫^レ之^レ應^レト云ハ、礼ハ花也、

道ハ實也、花カ盛ホトニ、實衰ヘテ、飾^レ偽^レ煩^レニシ、不^レ

道^レ應^レ也、應^レト云ハ、道不當^レト云心也、名^レ上ノ字ヲ、

付クル心ハ、其^レノ、道ヲ能ク行^レト云ハ、上ナルホト

ニ、上徳、上仁、上義、上礼ト付也、時代ニハ、カ、ラ

ス、ナントキモ、如此也、○則^レ擯^レ臂^レ而仍^レ云ハ、争

フ兒也、臂^レハ、ウテマクリトヨム也、○故失^レ道^レ而後徳

アリト、云ヨリ以下、悉ク再釈也、○施^レ礼^レ聘^レト云ハ、

聘ハ問也、諸侯ト諸侯トノ礼ヲ、聘問ト云也、依^レ位玉

帛ヲ施^レノ、安否ヲ問也、帛ハキヌナリ、

○忠信ト云ハ、愛^レテハ道也、○乱首ト云ハ、賤^レ質^レ貴

文^レホトニ、正直日^レ衰^レテ、邪乱日^レ生^レ也、故^レ乱^レ首

メ也、○前轍ト云ハ、不^レ知、知^レタト云ヲ、云也、不^レ知

事ヲ、知^レタト云ハ、前ヲ知^レタル道理也、是ハ道^レ花^レテ、ア

ルナリ、○倡^レト云ハ、モヨヲス心也、○大丈夫ト云ハ、

ヲノコタル者ノ、惣名也、コ、テハ、聖人也、○敦朴ト

云ハ、道也、質朴ノ、敦^レキ所也、○注ニ不^レ尚^レ言^レ、華^レ

尚^レ言^レ方ナルホトニ、不^レ処也、

○法本章第三十九 法^レ本也 法本ニト云ハ得^レ一ヲ

勉力法^レ本義也。○昔之得^レ一者ト云ハ、今日也、得^レ一者

ノハ、如此ナレトモ、昔ト云也、昔得^レ一人ト、拳^テト其

〔レ〕得者ノハ、誰レクソト云ニ、下ニ次第ヲ、明ス

也、注^ニ昔ハ往也ト云ハ、往古ト云テ、往ノ字ヲ、ムカ

シトヨム也、元ハハシメ也、○天得^レ一以清ト云ハ、天

モ此ノ一^一道ヲ得テハ、日月星辰垂レテ、清明也、不^レ得

一不^レ可有^二清明^一也、○地モ得^レ一、不^レ動揺^一、安寧也、

注^ニ垂^レ象ト云ハ、象ハ日月星辰ナリ、
○神得^レ一以靈ト云ハ、神ハ無方無体ノ神也、〔天地ノ

神也〕易ニ曰、陰陽不^レ計、是ヲ神ト云也、神モ此道ヲ、

得テハ、神靈ニシテ、能ク變化スル者、不^レ得^レ道、變化

スル事ヲハ、得マシキ也、神ハ体也、靈ハ用也、○谷得

一以盈ト云ハ、天地ノ間ヲ、谷ト云也、此谷モ、不^レ得

道、万物ヲハ、盈^レマシキ也、○万物モ、得^レ道生

也、○侯王モ得^レ道、天下ノ正ト成也、○其^レ致^レ之、天

ハ天、地ハ地、各ノ上ニ出テノ、戒ナリ、此戒ハ、各^々

吾レト、我カ上ヲ戒義也、戒ルヤウハ、下ニ一々ニ見ク

リ、注^ニ下ノ五事ト云ハ、句ハ六句アリ、注ニハ五事ア

リ、是ヲハ、侯王ヲノケテ、其余ヲ、五夏ト云也、或説

ニ、万物ニ、神ハアル者ナルホトニ、神ヲ可^レ除ト云義

アリ、是^レハ凶也、一陸ハ、句義ニハ、谷ト万物トヲ、

接ノ一ニシテ、五事ナルヘキト也、天無^レ以^レ清將^レ恐裂

ト云ハ、天モ垂^レ日月星辰、清明ナル事ヲ、至極トハ不

思也、若シ裂テ、天トナラテカ、アラウスルト、恐也、

ストノミヲモ「ナシト云点ハ、注ノ但シト云字ヨリ、ヲ

ウセテ、ヨマセルナリ、以下モ如^レ此也、註ニ弛ト云ハ、

陰也、張ト云ハ、陽也、万物春夏ニハ、葉ニ出テ、盛ナ

ルハ、張方也、販^レ根弛方也、晝ハ陽、夜ハ陰也、用^レ事

ト云ハ、陰陽ノ事也、不^レ可^レ但^レ欲^レ清明^一、已^レ時ト

云ハ、已ム時モナク、清明ニアリタキトハ、不^レ可^レ思、

分裂ノ天トナラテカ、アラウスルト恐也、發ト云ハ、ク

タク^ル心也、注ニ剛柔ハ、地ノ陰陽也、氣節ト云ハ、四

氣八節ト云テ、一年ニ廿四氣アリ、又節カ八度アリ、五

行ト云ハ、木火土金水也、是^レハ皆地ノ司^ルト^ル也、司

テ静ニアリタキトハ、不思也、泄(ヒキ)ハモル、也、○神モ、

歌恐也、注ニ王相囚死休廢ト云ハ、易ノ火珠琳(ツキ)ニ見

タリ、王相没囚死休廢ト云テ、易ノ八卦ニ當テ、八方

ニ配也、月々卦ノ王シタル、所ヨリ始テ、王相胎没、囚

死休廢ト、クルリトメクル者也、是レハ愛本ニ、天

日神、天人神ノナント、云ヤウナル、神達ノ司ル事也、

火珠琳ト云ハ、易ノ末書也、胎没ノ二字ヲハ、愛ニハ畧

スル也、○谷モ恐(シ)婦ナリ、注ニ盈トヨムカ、ヨミクセ

也、縮ハツ、ムル也、○隨時ト云ハ、春生冬枯レテ、

販根義也、是レハ死生也、○汲々ト云ハ、急覓也、求

賢ト云ハ、賢人ヲ求テ、官位ニライテ、受ラアツカワ

セテ、国ヲ治ル者也、顛ハタラハ、也、傾ト同也、○陶(スヘキツクリ)

ト云ハ、土器ノ類作ル事也、河濱ト云ハ、黄河ノ辺也、

白屋ト云ハ、無飾賤家ヲ云也、又エヒスノ下也、下ニ白

屋事ハ、管叔蔡叔ノ、讒言ニヨツテ、東都ニ流レ、其

後三監平、下ニ白屋三、政ヲナサル、事アリ、毛詩ノ

正義ニ見タリ、三監ト云ハ、管叔蔡叔蔡也、○築築墻

ト云ハ、譬也、○孤獨ト云ハ、獨リ賤キト云心也、不能

ハ、不善ナル者テ、アルト云心也、衆輻ト云ハ、此ノ輻

也、輻ノ中、空虚ナルニ依テ、集ル如ク、王者モ孤寡、

不輻ト、自称スレハ、臣下集ルナリ、此非ニ以賤為レ本

乎、賤ヲ本トスル也、○曉人ト云ハ、老子ノ、人ニ、

曉スヘキ為メニ、此譬ヲ舉也、○非乎ト云ハ、サテ如此

テハ、ナキカト、歎スル言也、是ヲ注ニ、嗟嘆トアルホ

トニトテ、ア、トヨム凶也、是レハ美歎也、○數車無

車ト云ハ、車ヲモ、取分テ、各ニ數ル時ハ、車ニハナ

シ、集レハ車ト成テ、貴也、王者モ、臣下カ集テ、貴ヘ

ハ、王者也、臣下ナケレハ、王者ト云義ナキ譬也、○注

ニ成為車ト云ハ、愛ニ車ノ譬ヲ成スハ、王者ノ尊号ヲ

以テ、名イハサル、譬ト云義也、

○去用章第四十 去強、用弱也、一陸ハ、此章

ハ不審也、此去ノ字ハ、コ、ヨリ、アユミヲ、ハコンテ、

遠ク行ク時ハ、上声ナリ、始ヨリ、兩方ニ相去テ、居ル

ハ去声也、此章心得カタキト也、乍去有無ニ、去ルト

心得ヘキカト也、○反者道也動ト云ハ、反ト道ト一也、
 本ト道ハ、万物ノ、動生スル、所ト云心也、背此道亡
 也、弱者道也用ト云ハ、弱ヲハ、道ノ用ル所也、○天
 下物生於有ト云ハ、物ハ万物也、有ト云ハ、天地也、
 陰陽交會ノ、生スル故也、注有ニ形位ト云ハ、天ハ陽
 也、地ハ陰也、○有生於無ヨリト云ハ、有リハ天地也、
 無ハ道也、注ニハ蜩飛ト云ハ、羽アツテ、飛フ虫也、
 動ト云ハ、羽ハ無キ虫ノ、ムクメク虫也、飛ノ字ト、動
 ノ字トニ付テ、見ヘキ也、如此少キ、虫マテサヘ、道
 ヲリ生スルホトニ、其ノ余ノ万物ハ、悉ク道ヨリ、生セ
 スト云事、ナイト云譬ヲ、取ヘキタメニ、コハ、ニ、此虫
 ヲ挙ル也、本ハ勝於華ト云ハ、万物悉ク、道ヨリ生ス
 ルホトニ、本ハ勝於華義也、本ハ道也、華ハ万物也、
 天地ホトニ、大ル者モ、道ヨリ出タル程ニ、勝華義也、
 ○同異章四十一 同善也、異ハ惡也、中士聞道、存
 ルハ同也、亡ハ異也、○上士ト云ハ、聖人也、於士上
 中下ヲ立也、士ハ三ノ心アリ、士能ナキ者ヲハ、士ト云

マシキト也、亦始末ヲ、知タルヲ、士ト云、亦士ハ事也、
 事君忠アルヲ云也、○莊子ニ曰、大言里耳ニ不入ト云リ、
 下士聞道笑義也、○勒而行之ト云ハ、苦ヲ竭レ力行フハ、
 勤ル義也、中士者聞道若存若亡ト云ハ、聞道治テ、
 身ヲ長存也、注欣然ト云ハ、ヨロコフ也、然ハ付字也、
 ○退テト云ハ、其道ノ善キ方ヲ、暫ク退テハ、見財色、
 榮譽、感情欲下也、色ハ女色也、性物ニ、染ミヤスキ故
 也、○大笑体ハ、道行人ノ、見柔弱、恐レマウタル、
 者テアルト云テ、大ニ笑也、質朴ナルヲ見テハ、鄙陋ナ
 ル者テ、アルナト云テ、笑也、註ニ狼ト云ハ、ヲウカ
 メト云獸也、是ハ、情欲多キ者也、貪タル者也、下士ノ
 賤キ者ニハ、笑レタルカ、見哀テアル、不笑、老子ノ
 道テハ、アルマシキ也、○建言有之ト云ハ、下ノ句ニ、
 建言有ト云ハ、有道ヘキ事ヲ明ス也、夷道ト云ハ、
 ヒトシキ心也、若類ト云ハ、別ノ人ニカワル事ナク、
 但十人ツレタルヲ云也、若ト云ハ、似ト云心也、○辱云
 ハ、明ニモナキ兒也、○建徳ト云ハ、建設道德一人也、

若^{ヒラカ}掄ト云ハ、^ハ響ハ、馬ヲアチヘ引ケハ、アチヘ向^キイ、

コチヘヒケハ、コチヘ向^クフ如ク、人ニ能ク従^ズフ者也、如

此建徳ノ人ハ、時世ノ人ニ、能クウチ従^ズフ者也、人ニ

ウチ従^ズテ、空虚ナル者也、質直若^{カヘル}渝ト云ハ、質朴ノ人ハ、

五色ノ渝^{カヘリヤクニヤ}淺、一色ニ正クモナキカ如也、若^ワ渝ト云ハ、

カワルカ如シト云心也、上モ皆若ト云、字ヲ以テ可^レ見、

似リト云心也、○本^モ經ニ不笑レト云、点ヲ仰セタルハ、

注ニ所^レ笑レト云、所^レ字ヨリ見テ、不^ル笑レト点スルナ

リ、○大方ト云ハ、太^虚虚空也、虚空ニハ、東西南北、四

維上下トハ、分タレトモ、隔^ミハナキ者也、如^キ此、太^大

正人ハ、委曲ナル事モ、廉直ナル事モ、ナキ也、本來無

東西、何処有南北、是^レ無^レ隔^義也、注ニ委曲ト云ヲ、

易ニハ、委曲、屈曲ト、注シノフル也、委曲ノ二字ハ、

子^コンコロトヨム也、廉ト云ハ、階ノカト也、隔^ハキツト、

ヲレマワリタル角也、○大^ハ器^ハ晩^成ト云ハ、九鼎^ハ瓊^瓊

ホトニ、大器ハナキカ、是ハ卒^ルニ、鍋^ハナント^ハ鑄^ル様ニ、

卒ニハ不^レ成也、如^キ此^ハ響、大器用ノ、人ナントト、云ハ

ンスルハ、二年三年、學文ヲシテハ、ナルマシキホトニ、

晩^成響也、大器ノ人ハ、久ク功ヲ積マテハ、不^レ成也、

注ニ九鼎ト云ニ、三義アリ、殷ノ湯王ノ時、王孫滿ト云

者、鑄ル也、九万人シテ、持^ホトニ、九鼎ト云也、此義

ハ、尚書ノ序ノ、正義ニ見タリ、亦ノ義ハ、九州ノ牧カ、

金ヲ貢ユルヲ以テ、鑄^ホトニ、九鼎ト云也、是周ノ代時

也、亦義ニハ、九州ノ山川ヲ文ニ、此鼎ニ、鑄^付ケタル

ホトニ、九鼎ト云也、瑚璉モ、宗廟ノ貴器ナルホトニ、

○大^ハ音^ハ希^ハ響ト云、響ニハ雷^ハ響^ホトニ、大

音ハナキ、待^レ時動也、陽氣ニハ鳴ル、陰氣ニハ不^レ鳴、

是待^レ時如此、聖人ナントノ、愛^レ氣^ハ希^ハ言^ハ響也、露ノ字

モ、雷ト同心ナリ、方ニ配スル時ハ、雷ハ東、露ハ南也、

陽氣ハ東南也、陰氣ハ西北也、大^ハ象^ハ無^レ形ト云ハ、大象

ハ天也、天ノ象^ハテハ、凡ハ見^レトモ、ドコニ何ニカアル、

トコニダ^クカアルナント云事ヲ、見^レシタル者ノハ、

ナキホトニ、無形也、如此大法象ノ人モ、無^レ容、天地

ノ無^レ形コトク、此人モ无^レ形容也、○道^ハ隱^レテ、無名

ト云ハ、是レコソ道ヨト、指サシ、テ、名ル者ナキホト
ニ、道ハ名ナキ也、注、瀆ト云ハ、ヒソカニト云心、○夫
唯、道善貸且成ト云ハ、道ハ人ノ精氣ヲ、稟貸ヘテ、
成就サセルナリ、

○道化章第四十二 以道化スル也、一生二、二生

三、化スル義也、○道生一ト云ハ、道ハ、言語ニ、不

渡所ヨリ、一氣發動ノ、生タル所カ、一カ混沌未分ノ

所、一未生前キヲ、發起以前ト云也、混沌ト、雞卵ノ

如ク、ナツシ、道ヨリ、一ノ道カ、チャツト出テ、其ノ

一ノ道ヨリ、陰陽ノニヲ生也、○一生二ト云ハ、一ツ

道ヨリ、陰陽天地ヲ生也、○二生三ト云ハ、二カ三ト、

成タト云心也、陰陽和ノ、人ヲ生スルホトニ、二カ三ニ

成ル心也、注、陰陽生和清濁ト云ハ、陰陽マテ、未タ

天地トモ、イワナンタツシ、ホトニ、生和清濁ト云也、

清ハ天也、濁ハ地也、和ハ陰陽和ノ、人ヲ生ホトニ、和

ハ人ニカ、ル也、如此、三氣分テ、天地人ト成也、○生

万物ト云ハ、天施地化ノ、人長養スル義也、如此次第

ニ、出タルテハナシ、但一度ニ、天地、万物、悉ク出ヘ
ケレト、次第ヲ云ヘハ、如此ト云也、○万ノ物負陰抱
陽ト云、陰、衆殺氣ト云テ、物ヲ殺ス、方ナルホトニ、
万物ハ抱陽也、陽ハ生養ノ氣ト云テ、物生スルヲ云也、

譬ハ、万物影ヲハ、背イテ、日ノ照ル所ニ、向如也、秋

冬ニハ、万物悉ク、枯落ス、春夏ニハ、万物生長スル義

也、負ト云ハ、不用方也、人モ前ハ陽、後ハ陰、背ノ方、

前ハ抱フ方也、注、廻心ト云ハ、陰ノ方ノ心ヲ、陽ノ

方ヘ、廻テ就日也、○沖ノ氣以為和ト云ハ、(沖氣ト云

ハ)道也、万物ノ中ニハ、此(ノ)道カ、アツテ、和柔

ヲナス者也、和柔ハ陽ノ方也、陰ニナレハ、強ナル也、

枯方ハ陰也、人モ死レハ、強クナル、木モ枯レハ、強ナ

ル、此道カ退ケハ、死ルホトニ強也、負陰道理ヲ、云

ヘキ為也、註、元氣ト云ハ、道也、万物ノ中ニ、有道

譬ニハ、胸中有蔵、骨中有髓、草木中ニ有空虛、虚

ナル所アルニ依テ、虚空ナル道カ、通スル如ク、万物ノ

中ニハ、道アツテ、和柔ヲ成ナリ、与氣通ト云、氣ハ

道也、故得^ニ久生^ト云ハ、如此万物中^ニ、依^レ有^レ道久生

也、○孤寡不^レ較^ヲ、王侯^ノ為^レ稱、空虚ノ和柔^ニ、法ル

ヘキ為^レ也、和柔ナルハ、久生スルホトニ也、○物或^ハ損^ノ

而益^ト云ハ、万物、我^{（カ）}前^ニ、損ヲスレハ、必益^ニ

アル也、注^ニ引^レ之^ト云ハ、人ノ前ナルヲ、引テ取ラン

トスレハ、不^レ得^{ホト}ニ、損也、推讓スレハ、益アル也、

下句ハ、上ノ裏^ラ也、○半領^トハ、如此書也、○我^ト云

ハカシコ、テハ中衣^ト注スル也、○人之所^レ教^ト云ハ、世

上人也、如注^ニ可^レ見也、○我ハ老子也、強^ノ梁ハ、同強

也、梁ハ強付^テ、可^レ見、強梁者ハ、不^レ得^死ホトニ、

我^レハ教柔弱^一也、注^ニ玄妙^ト云ハ、道也、○經教^ト云

ハ、ノリノヲシヘ也、王法^所殺^ト云ハ、王ノ法度^ニ、

背^クニ依^テ、殺也、○吾^將以^ニ為^レ教^父ト云ハ、強梁ノ

者ハ、不^レ得^死、愛力^教ノ始^ト、ナツテアル也、故^ニ強

梁者ノハ、惡也、

○徧用章第四十三 徧用^ヘキ也、○馳^一騎^ト云ハ、

ハセハシル也、至^一柔至^一堅如^レ注^ニ可^レ見、譬也、水ハ能^ク、

金石ノ中ヲモ、通ス者也、○無間^ト云ハ、金石ハ、間^タ

ナキ也、群生^ト云ハ、万物也、道カ万物神^ヲ通也、○不

言教^ト云ハ、天何言^哉、四時行^義也、

○立戒章第四十四 立^レ戒也、○名^与身、孰^親ト云

ハ、戒ヤウ也、功成名遂^テモ、身退^ハ、天道ナルホトニ、

サアラウスルニハ、身カ親^キ也、范蠡越王^勾踐ノ、臣^下

ナルカ、吳王^ニ、越王^負テ、越ノ會稽山^ニ、取入^テ、十

年計^リ、耕シナントシテ、居^タツシカ、范蠡ハカリコト

ヲ、成^テ、西施^ト云、美人ヲ、吳王^ニ送^テ、吳王ヲ淫乱

ニ成^テ、其時出^テ、吳王ヲ、伐取^テ、功成名遂^テ、身退

ク、天ノ道^テアルト云テ、五湖ノ間^ニ、浮^テ美人ヲツレ

テ、不^レ眠、是^譬也、○身^与貨、孰^多トハ、多^レ財則害

身^{ホト}ニ、サテハ身カ多^也、○得^与亡、孰^カ病^キト云

ハ、得^レ物得^ル方也、亡^レ物失^方也、可^レ得、道理^ニア^タ

ツテ、得^ルハ、善ナルカ、横^サマニ、物ヲ得^レハ、行迹

ヲ、病^ルホトニ、サテハ、但^亡方善^也、是^皆戒也、○色

トハ、女色也、○丘墓ハ、二字共^ニ、ツカ也、半^舎ノ五

ヲ、口ニ舍、墓ニツヘテ埋也、蔵ニ於丘墓ニ是也、攻ハ

セメ、劫ハヲヒヤカス也、劫ト云ハ、ヲドス也、發掘

ト云ハ、此玉ヲ取ヘキ為メニ、盗人カ掘也、是等ハ大費

也、知足ト云ハ、財ヲ多ク持テモ、厭キ足ルナケ

レハ、不知足也、財少ナケレハ、是レカ至極ト思フハ、

知足也、如此ナレハ、絶利欲ホトニ、不辱其身

也、声色ハ、耳目ニカ、ル也、知足足ルヲト云ハ、

足タルヲ、足タツト知ル者ハ、守真根者也、如此

ナル者ハ、常ノ道ニ、足タル者ナリ、

○洪徳章第四十五 洪ハ大也、徳大ナル章也、○大

成ト云ハ、大ニ成就也、不弊ト云ハ、何事ニモ、ツ

イヘ、ツキルナキ也、弊トモヨム也、○如屈ト云、

不與俗人争、屈折ト云テ、人ニカ、ミマワルヤウ也、

注ニ如ト云ハ、如道也、○大弁ト云ハ、物ヲ能ク知テ、

無疑者ヲ云也、納ト云ハ、物ヲモ言イ不_レ得_レ躰也、納ク

チトモルトヨムナリ、○蹶勝 蹶ト云ハ、春夏ハ、陽

氣テ、花ナントモ、サキタシ、蹶疾也、蹶勝蹶クホトニ、

蹶ケレハ、万物、零落、死亡スルホトニ、蹶ハ悪也、注

蹶疾上ト云ハ、花モサキ、葉モ盛大ナルナリハ、水ノ上

ニアル也、○静勝熱ナル也、熱キハ、源ナルホトニ、静

ナルカ善也、注ニ静ニ於黄泉之下、秋冬ニハ、万物悉ク、

阪本ホトニ、地ノ下ニ静也、黄泉ト云ハ、地ノ下ト云

心也、カシコテハ、地獄ヲ云(也)、○為天下正ト云

ハ、天下ノ正長ト、ナルト云心也、

○儉欲章第四十六 儉約欲也、却ト云ハ、不_レ用方

也、退却ト云テ、跡ヘ物ヲ、ツカヘス、ヤウナル心ナル

心也、走馬トハ、ヨキ馬也、ハヤ道ナントノ類也、養ト

云ハ、善馬モ、不容ホトニ、此馬テ養ル也、養ト云モ

同心ツ、此馬テ、コヘナント、ナン付ル也、注却ニ陽精

ト云ハ、淫夏也、陽ト云心ハ、和スル方ナルホトニ云也、

精ハ腎藏ノ精也、不洩精、養身、堅固ナル者也、○

戎馬ト云ハ、鎧、馬メンナントヲ、キセタル馬也、生

於郊ト云ハ、野外ヲ云、郊原ナント、云ホトノ心也、

生ルト云ハ、久ク居テ、不_レ還_レ躰也、○罪ト云ハ、不

行^レ道罪也、可^レ欲^ト云ハ、淫欲也、○欲^レ得^ト云ハ、人

ノ物ヲ得テ、利潤トシ、貪リタキ思也、○知^ニ足^之足^一、

上ナル足ト云ハ、世上ノ足也、其ヲ吾レハ、是^レ至極ノ

足テ、アルト思フカ、(下ナル)足也、愛カ、真根道ノ

足也、○常^ニ足^ト云ハ、常ノ道足也、知^ニ足^之足^一、常住不

變ノ道ノ、足リテ、アルホトニ、欲心ナシト、注スル也、

常^ニ足^ト云ハ、道^ニ足^ト云心也、○禁^止スル^レ夏、不^レ能^ト

云ハ、吾レト我身ヲ、此富貴足テ、アルト知テ、不^レ足

思^フ心ヲ、禁^止シ、止^不能^也、

○繼^述章第四十七 繼^述也、○見^ニ天^道ト云ハ、聖

人ハ、徳天地ト、ヒトシキ故也、不^レ闕^爛、天道ノ清濁

ヲ知也、貫^ト云ハ、ツラナラヌ心ナリ、○其^出於^遠ト

云ハ、我身ヲ不見、知^ニ人^身ト見^テ我家ヲ不見、人家ヲ

見^テ知^ル義也、○其^知弥^ト云ハ、如^レ此人ノ上ヲ見^テ、

知^ランスルニハ、天下ノ夏ヲ知^ル、弥^少カルヘキ也、

○淵^ト云ハ、地ト云心也、○以^レ心ト云ハ、聖人以^レ心知

也、○不^レ見^而名^ト云ハ、無^為ノ上ヲ以^テ名也、物ヲ見^テ、

名^クルハ、有^為ノ方、散^々ノ名ケヤウ也、名^ト云ハ、万

物^ニ、名^ナクシテハ、夏^ナラヌ者ナルホトニ、万物^ニ、

夫^レソレ^ノ名也、論語ニ孔子ノ、名ヲ正サント、仰アル

此心也、○不^レ為^而成^ト云ハ、人君タル人ノ、以^ニ無^為一、

治^則、下^モ無^夏ニ^ノ、家^給足^テ、万物自^成就^{スル}也、家

給^ト云ハ、家^多ク、人君^モ、多^キ義也、一^睦ハ、愛^ヲ其

ノ家^々ヲ、次^々々々、付^テ行^心也、

○忘^知章第四十八 忘^レ知^也、○為^レ学^日益^ト云ハ、

此^孝ハ、有^為ノ学也、曰^益ト云ハ、有^為ノ学ヲスレハ、

曰^情欲^益也、○損^也又^損也ト云ハ、自然ノ道ヲスレハ、

作^日モ損^シタルカ、今日^モ又^損ツ、次^々々々ニ^損ノ、至^ニ

無^為一也、注^ニ漸^ニト云^所カ、本^經ノ又^損スルニ、カ、

ル也、○注^ニ恬^ト云ハ、道ノシツカナル所也、○及^ニ其

有^夏ト云ハ、有^為也、

○任^徳章 第四十九 任^レ徳^也、○聖^人无^ニ常^心ト

云ハ、物ヲ改^メ、更^メン事ヲ重^ホトニ、常^住不^變ノ、心

ナキ也、百姓ノ心^ニ從^也、注^ニ若^ニ自^无心^ト云ハ、百

姓ノ心ニ、任スルホトニ、^無无^レ心ヤウニ、見タト云心ナ^也

リ、○所^庄便ト云ハ、好ム所也、所^ニ好^レ從テ、其上テ教ヲ

成也、^注莊子曰、柯伐、(々々)其法不遺云ヘリ、ツレ

〱ニ、從テ、教ヲ成ス義也、○德^善善矣ト云ハ、百姓

化^聖聖人、百姓德アツテ、善ヲ成也、○怵^シ々ト云ハ、

恐^レ慎^レ兒也、冨貴ニシテ、不^レ敢^レ驕奢、怵々ノ義也、○渾^ニ

其心^ニト云ハ、聖人ハ獨見ノ明アレトモ、闇昧ノ如クナ

レハ、渾^ニ其心^ニ義也、暫ク和光同塵ノ義ナリ、○注^ニ其

耳目^トト云ハ、如此ノ、聖人ノ上^ニミニ、御坐アツテ、政

ヲナシ、治^レ國、何ニタル事モ、モシ聞テ、聖人ニ告テ

マウサントスル、注^ニ耳目^ニ前ヘニアル、天下依^レ目見^レ之

云心也、注^ニノ音アリ、(注音アリ)注^ニ為^レ聖人、視聽ト

云ハ、為^レ聖人、視聽ク^レヲヲナス也、視聽ハ耳目^ニカ、

ル也、○孩^レ之ト云ハ、聖人ノ、百姓ヲ愛養スル哀ハ、

孩子ノ如クスル也、

○貴生章第五十 貴^レ生也、五内ハ五蔵也、○九竅

ト云ハ、耳ノ竅ニ、目ニ、鼻ニ、口ニ、下ノ二漏

也、二漏ト云ハ、前後ノ穴也、四關ト云ハ、兩手兩足也、

關ハ簡要ト云心ニ付也、此十三ヲ、妄リニナサ子ハ、生

也、妄リニナセハ死也、生ルモ、死ルモ、此十三ノワサ

也、注^ニ精不^レ妄施ト云ハ、下ノ二漏ニカ、ル也、○生

スルトノ動ト云ハ、情欲ノ求^レ生(ヲ)、動トキンハ、死ル義

也、○夫何故哉ト云ハ、問フ心也、○以^レ其生^レ生厚

ト云ハ、答ル心也、皆情^ノ欲求^レ生也、○蓋聞ト云ハ、老

子ノ、我古人ノ語ヲ、聞テアルト云義也、善攝^レ生ト云

ハ、無為^ノ以^レ道、攝義也、○兒ト云ハ、似^レ牛角一ア

リ、(色)青ナリ、○不破^レ甲兵(ト云)ハ、(甲兵ハ、

皆ホコ也、ホコナントニテ、キリヤフラレル^レヲ、不

破^レ也、其故ハ、殺^レ人哀ヲ、不^レ好故也、○兕ハ、角カ

簡要也、虎ハ、爪カ干要也、無^レ所^レ容^ニ其刃^ト云マテ

カ、古人ノ語也、○注^ニ此物ト云ハ、兕虎、兵甲也、

○養德章第五十一 養^レ德也、○德ト云ハ、一也、

注^ニ布^レ氣ト云ハ、此一カ物ニ布テ、氣ヲ畜養スル^レヲ、

主ル也、○勢成^レ之ト云ハ、此一ノ道カ、察^ク暑^ク勢ヲ

成也、為^ニ万物^ノ、作^ニ寒暑^ノ勢^一、生^ニ長万物^一也、注^ニ驚^一

動^ト云ハ、柳ハ緑、花ハ紅トナル、万物ノ上、驚動也、

如此アツテ、尊^ニ敬道^一也、道徳所^レ為^ト云ハ、柳ハ緑、

花ハ紅ト成也、如此道徳所^レ為、物尽クニ、驚動ノ、尊^ニ

敬道^一也、○道也尊、徳ノ貴ナリト、云キツテ、下ヲ誦

ム也、上下篇ヲ、道徳經ト名ルハ、爰ヲ以也、○夫莫^ニ

之命^ト云ハ、命ハ告也、万物ニ道カ、柳ハ緑トナレ、

花ハ紅トナレト、告^ケハセ子^トモ、柳ハ緑リ、花ハ紅トナ

ルハ、常^ニ自然ノ義也、注^レ應^レ之如^ニ影響^一ト云、万物カ、

應^レ道、影^ニ形チカ應^シ、響^ニ應^レ音^ニ如^シ、○生^レ之畜

之^ト云ハ、春ニカ、ル也、長^レ之育^レ之^ト云カ、夏ニカ

ルヘキ也、成^レ之熱^レ之^ト云カ、秋ニカ、ルヘキ也、養

之^レ覆^レ之^ト云カ、冬ニカ、ル也、覆^レ之^ト云ハ、ウチカ

ヘシ^クスルヲ云、如此冬^レ販^レ根、亦春ハ生スル衰、ウ

チカヘシ^クスル故^ニ、○題号^ニ養^レ徳^ト云ハ、畜^レ之

養^レ之^レ春カ、ル也、○玄德ト云ハ、深キ徳ト云心也、○

題号ヲ、販元ト云ハ、ナクソ、滯無トシタル本、在^レ之、

○販元章第五十二 販^レ元也、元ハ始也、為^ニ天下母^一

ト云ハ、天下万物、悉ク道ヨリ、生スル故也、知^ニ其子^一

守^ニ其母^一ト云ハ、道ハ、言語^ニ不^レ渡^也、所^ニ至^テ、深キ

所也、一ハ言語^ニ渡^テ、ハヤ浅キ方也、○兌ト云ハ、卦

ノ時ハ、兌ノ音カ、アレトモ、コ^ハテハタイ也、○開^ニ

其兌^ト云ヨリ惡方ナリ、○不^レ救ト云ハ、禍乱成就スル

ホトニ、我レト、吾^ハカ身ヲ、スクイ^エ又ナリ、○見^レ

小曰^レ明ト云ハ、善惡、萌芽、未^レ動、禍乱、未^レ見所ヲ、

是ハ萌芽カ動スル、禍乱カ見スルト見テ、アラハレ又前

ニ、ウチケシテ、ノクルハ、見^レ小^ヲ義也、小^ハ、希微^也

ト云テ、微妙也、曰^レ明如此アルハ、照然トノ、獨リ見

タル者也、萌芽ハ、二字トモニ、キサシ也、俗^ノ字時ハ、

サウカウナシ、亦アルモアリ、同心也、萌芽ハ、善ニモ、

惡ニモアリ、コ^ハ、ヲ見タルコソ、微妙ナル者ナレ、見レ

テ、知タル^ハ、是非不及也、○守^レ柔日強ト云ハ、此強

大ハ、道^ニ強^ノ大ノ義ナルホトニ、善強也、○照然ト云

ハ、アキラカナト、云心也、○目用^ニ其光^ト云ハ、用

于目、時代ノ利害ヲ見テ、復ニ販其明、如此アル者ハ、
無遺身殃者也、（一）殊注ニ目光ト云ハ、但目ト云心也、

如此時世ノ、利害ヲ見、利害ニ不移、其明ヲ、吾カ内

ニ復反ノ、精神ヲ無洩者、無身殃ナリ、殊也内視存神

ト云ハ、明ナル所ヲ、内ニ見レハ、神ハ存在スル也、神

ト云ハ、五蔵ノ神也、ハ漏失ノ二字共ニ、モル、也、

謂ニ習常ト云ハ、老子ノ常ノ道ヲ習修スル人也、

○益證章第五十三 （マ）益（マ）證（マ）義（マ）也、使（マ）我（マ）介（マ）然（マ）有（マ）知（マ）

行ニ大道ト云ハ、世上ノ人ニ、益證義也、コ、ニカ、

ル也、一陸ハ、證ハ、シルシ、亦證明也、ハ使我介然

有知ト云ハ、時代ノ王カ、大道ヲ行テハ、ヨキ者ト知

テ、不行ホトニ、老子ノ我ニ、政事ヲ知ラセスルニ

ハ、可レ行ニ大道者ノヲト云テ、世上ヲ罵ヘキタメニ、

我カ上ニ、設言、此語ヲ云也、元ヨリ、老子我身ニ、

能ク治道、行大道、人ナレトモ、世上ヲ可レ罵タメ也、

介ハ大也、然ハ付字也、（ト）唯（ト）施（ト）是（ト）畏（ト）ト云ハ、老子ノ我

レ天下ニ用レテ、道行ナハバト云、コトモ、我カ道デア

ルヘキカ、不肖ニシテ、行ホトニ、天下ノ者ノカ、我道ヲ、

偽リノ道トカ、センスルヲウト、是ヲ老子ノ唯リ畏也、

注ニ失道意ト云ハ、我獨リ、此道ヲ、施シ行ホトニ、

世ノ者カ我カ道ノ意ヲ、失イカ、センスルヲウト、恐也、

○注ニ欲賞善恐偽善生ト云ハ、我レ善道ヲ賞ヲハ、

行ハントスレハ、世上ノ者カ、偽リノ善トカ、センスル

ヲウ、是ヲ恐ル、ト也、世上ニ偽ノ善ヲ、行者アツテ、

我（カ）善ヲ偽ノ善トカ、セフスルヲウト恐ナリ、（ト）恐

詐忠起ト云ハ、偽ノ忠ヲ行フ者、起テカ、吾忠ヲ詐リト

カ、センスルヲウト、恐也、（ト）夷ハ平也、大易也トア

ルヲ、夷ハ平ニシテ、大ニ易ナリト曰ム、余本ニ、中ナル

也ノ字ハ、ナキト也、一陸ハ大易也ト云、三字ハ、心得

又トテ、アソハサヌ也、（ト）徑ト云字ハ、俗字ノ時ハ、人

ヘンニカク也、本ニハケウニンヘンノ時、ヨコシマト曰

ム字也、（ト）人片ニンヘンノ時ハ、徑ハ直也、ナヲシト曰ム字ナ

レトモ、俗字ニハニンヘンニ作ナリ、（ト）民好徑所ヲ以テ、

王者ノ徑ハ聞ヘタリ、民ハ化上者也、（ト）朝甚除ト云ハ、

如此、民モ僇ニ、王モ无道ナレハ、朝廷ナントハ、結

構ニ除也、○田基燕、民ヲ勞使ニ依テ、農事廢テ、田燕

ナリ、注治ト云ハ、田治ル時、大義也、○倉ト云ハ、大

衰ニ、王ノ倉、国ノ倉ノト云テアリ、日本ニモ、内裏六

十六倉アリ、田燕ル、ホトニ、倉ハ虚也、大唐ニハ、飢

饑ノ用意ニ、三年ノ兵糧ヲ納テ置也、○服ニ文ニ綵ト云

ハ、君カハヤ、文アリ、綵色アル、結構ノ衣裳ヲ服也、

○帶ニ利劍ト云ハ、尚ニ剛強ニ故也、是ハ皆君ノ上ニ、カ

ケテ見ヘキナリ、○財ノ貨有レ餘ト云ハ、君ノ嗜ニ欲多キ

ホトニ、百姓ヲ貪テ取ホトニ、君ハ財貨有レ餘也、百姓

ハ不足也、○是ヲ謂ニ盗一誇ト云ハ、老子ノ如此アル君

ハ、サ、ヘテ君カ盗人テアルト也、夸ハヲコルトヨム也、

○注盗ト云ハ、君百姓ヲ、ヲトシ盗シ盗セ、持行トハ、

何事持行ニモ、夸レ人也、如此アル君ハ、若レ不知身死、

家破親戚、并随、君コトクテアルト、云心ナリ、○

非レ道也哉、如此アルハ、非レ道也、ヤ哉ト云ハト、

アルハ、非サルカナ哉ト云、歎スル辞也、天井書也、僇

ノ字ハ、正徳ハ僇ハ直也、ナヲシトヨム也、然ルヲ、何

ニトテ、ヨコシマトヨムソト、不審ヲ問ヘハ、老子ノカ

ラテハ、直キト云字ヲモ、ヨコシマト、ヨマイテハト、

不審ヲハラス也、或人ノ如此云也、是極タル非也、俗字

ニハ如此、用ル、ヲ不知故也、

○修觀章五十四 善建者不拔ト云ハ、善ク以道、

出レ身者ヲハ、其官位ヲハ、拔マシキ也、木ノ根深クハ

ウテ、能ク建タルハ、又キエラレヌ如ク也、○解脱ノ二

字ハ、トク也、如此アル人ハ、子孫以テ、祭祀ソ、不

報也、○不死ト云ハトテ、一生不レ死テハナシ、可

レ死當テ、死スルハ、不レ死理也、○真人ト云ハ、聖人

ト云心也、聖人ハ赫也、真人ハ用也、○主修ニ道天一、

不レ言而化ト云、譬ハ、日殷湯王ノ時、天下ニ日テリス

ル時、我徳少キニ依テ、如此アルトテ、柴ヲ積テ、中ニ

箆ラレテ、火ヲ付ルトキ、天ヨリ雨フツテ、火ヲ消ス譬

アリ、

○玄符章第五十五 深符アルト(二云)義也、一陸ハ、道

ヲモ、玄ト云徳ヲモ玄ト云ホトニ、カタフ 道德ニ符、符ハカナ
フトヨムナリ、也 道德ニ叶ト云心也、ハキレ ○含徳之厚ト云ハ、

含スルノ 徳一厚者ヲ云也、キキ ○比ニ之赤子ト云ハ、神明
○刺ト云ハ人サスハリ也笑納古述三編子ハ為法刺トナリ 也

二、也 枯ラル門、赤子ヲ母ノ如ク養スルナリ、ホウ ○蜂ト云ハ、
ハチナリ、也 蠶ト云ハ、蜂ノ尻ノ、人サス所ヲ云也、蛇ト

云ハ、ヘビノ類也、也 虺ト云ハ、ヘビノ尾ノ、人サスハリ
也、也 猛獸ハ、虎ノ類ナリ、攫鳥ト云ハ、ワシクマタカノ

類也、也 ○物ト云ハ、萬物也、也 ○有刺ト云ハ、也 刺ハトケ也、
非情ニカ、ルヘキ也、也 刺アル者ナルホトニ、今モ世間、

乱リナルトキハ、也 化生ノ物出テ鳴、子リマワル如也、刺
本ハ是也、俗ニハ刺ニ作也、也 ○赤子ノ骨弱ク、筋柔ナル

如クニ、此含徳ノ人モ、アルヘキナリ、也 ○未レ知レ牝ト牡ト
合ト云ハ、也 飛ニ曰レ雌雄、走ルニ曰レ牝牡ト云テ、飛

者ノ夫婦ヲ、雌雄ト云也、走者ノ夫婦ヲ、牝牡ト云也、
牡ハ男也、愛テ言心ハ、也 但獸ノ上ヲ、假テ云マテ也、陰

陽合會ヲ、不知レ義也、也 ○峽ト作ト云ハ、也 峽ト云ハ、マラ
也、作ハヲコル也、赤子モマラ、チヨキトヲヘル者也、

是ヲ云也、如此アルハ、精氣多キニ依テアル也、注ニ陰
作怒ト云ハ、陰ハ陰根ト云テ、マラ也、也 知レ和レ曰レ常也ト

云テハ、和氣柔弱ナルハ、人ノ身ニ有益ト、知タル者
ノハ、常ノ道ヲ知者也、亦曰レ常本モアリ、イツレモヨ

キ也、也 益レ生日祥ト云ヨリ以下、也 惡キ方也、情欲ノ益レ生
則日情欲カ長大ニナル也、也 ○心使レ氣日強ト云ハ、有

為ノ方ニ、使レ氣ホトニ、形ニ應レ之、日強レ成也、注ニ
去ニ於中ト云ハ、心中ヲ去也、也 ○一銳為ノ二字ハ、同ス、

ムナリ、玄符章ニ、益レ生日祥ト云ハ、一陸ハ、此益レ生
ト云ハ、无為ノ以道益レ生ヲ義也、是レハ吉方也、○心

使氣ト云ヨリ、惡キ方也、也 ○蠶ハ蜂ノ人サス、尻ノハリ
也、女子ノ髮卷レ髻也、亦蠶尾書ト云テ、書ヲ卷ク、抽軸

ヲツキ出シタルニ髻也、也 蠶尾書ト云テ、書ノ名也、
○玄德章第五十六 徳レフカキト云也、一陸ハ、道

ヲモ玄ト云、徳ヲモ玄ト云ホトニ、此章ハ道德トアソハ
ス也、○知者不レ言ト云ハ、物ヲ能ク知タル者ハ、貴ニ行

迹ニ、不レ貴言ホトニ、輕ク物ヲ不レ言也、○言者不レ知

ト云ハ、物不知者ハ、メクラヘヒニヲチストテ、何ヲ
モ不^レ恐^レ也、○欲^レ絶^二其源^一ト云ハ、善ニモ、惡ニモ、

源カアル者也、是ハ惡キ源ヲ、絶ヘキ為ナリ、○不^レ可^二
得而親^一ト云ハ、榮譽ヲ得テモ親セス、其故ハ以^二榮譽^一、

不^レ為^レ樂、以^二獨立^一、不^レ為^レ哀故也、○獨立ト云ハ、賤
者也、亦不^レ可^二得而疏^一ト云ハ、得^レ失^レ志人、不^レ可^二疏

也、獨立ヲ得モ、疏クスマシキト云心也、老子ノ道ハ、
可^レモナク、不可^レモナイ心也、亦ハ重也、上ニ重義也、親

キト疏スルトハ、裏ラト面テト也、榮譽ヲ得タト云テモ、
不^レ親、獨立ヲ得タト云テモ、人ヲ疏^レ又事ナキ也、○不^レ

可^二得而利^一ト云ハ、得^二富貴、利潤トセ又義也、其故ハ、
身ニ不^レ欲^二富貴^一、口ニ不^レ欲^二五味^一故也、○亦不^レ可^二得

而害^一ト云ハ、富貴ヲ得テモ、人ヲ害スル^レモナキ也、
其故ハ不^レ与^レ貪、争^レ利、不^レ与^レ勇、争^レ氣故也、是

レモ、亦ハ上ニカ、ル也、氣ト云ハ、剛氣也、○不^レ可^二
得而貴^一ト云ハ、乱世ノ、主ヲ得テアルトテモ、貴トセ

又義也、其故ハ、不^レ為^二亂世主^一、不^レ處^二閭君位^一故也、

○亦不^レ可^二得而賤^一ト云ハ、不^レ為^二亂世主^一、失^レ志事ヲ
得テアルトテモ、人ニ不^レ屈^レ程ニ、賤モセ又義也、是

モ亦ハ上ノ貴ニカ、ル也、○親疏ハ裏表テ、利害ハ裏表、
貴賤ハ裏表也、注^二乘^一權ト云ハ、乱世ノ主トナルハ、

乘^レ權也、權ハ勢也、イキライ也、失^レ志ト云ハ、君ニ
モナルヘキ者ノカ、不^レ成^レ失^レ志義也、天子モ、不得臣ト

云^レ処ニ、伯夷叔齊カ義アリ、諸侯不^レ得^レ屈ト云ハ、此体
ノ人ヲハ、諸侯モカ、マセ又也、沈浮ト云ハ、代ノ變化

從テ、有^レ道出テ仕、無^レ道首陽山ニ、ワラヒヲ食テラル
体、此義也、如此アレハ、容^レ身避^レ害也、如此ナルハ、

天下ノ貴物也、天井書、○以^レ失^レ志、故不^レ屈トハ、不^レ
居^レ位トテモ、カナシキトモ、不^レ思^レ義也、

○淳風章第五十七 淳ハスナヲ也、風ハ教也、上
古風也、○以^レ正^レ之^レ國ト云以下ハ、天道ノアタヘカ、如

此ナルヲ云ナリ、○天下ヲ、キミトヨムハ、家ノ点也、
注^二天下トハ、謂^二人主^一アルニヨツテ、ヨム也、是ヨリ

以下、惡キ方也、○多^レ忌諱ト云ハ、禁制多キ事也、此

警^ニ、普^廣院ノ時、余^リニ法^度キヒシク、僧^ノ帽子ノ類
 カ、少^カキナント、云^レ体^ノ衰^{アリ}、此^ニ警^也、民^弥貪[、]
 故^ニ天^ニセク、マ^リ、地^ニヌキ^アシスル故^也、注^ニ防^リ
 フセク、禁^{ハイ}サカウ也、禁^制ノ義^也、奸^ハカタマシキ
 也、○民^多利器^ト云^ハ、此^レ利器^ハ、マ^ス、ハ^カリナ^ン
 ト也、升^子ノ大^小ア^リ、秤^ノ輕^重アル^ニヨ^ツテ、国^家昏
 乱^{スル}義^也、注^ニ權^ト云^ハ、權^衡ト云^テ、衡^トハ秤^サラ
 也、權^ハヲモシ也、眩^ニ於^目ト云^ハ、眩^ハメクルメク^ト
 ヲム也、重^キ秤^リ出^テ、チヤツト取^替ナントスル体^ヲ、
 眩^ニ於^目ト云^也、感^ニ於^耳ト云^ハ、利^器ノ大^小ナ^ラ、物
 ヲア^キナイナントスルハ、詐^リ多^キホ^トニ、感^ニ於^耳義^也、
 也、上^下不^レ親^ト云^ハ、詐^リ多^キ故^也、一^陸ハ、利^器ハ、
 權^道トア^ソハ^ス也、○多^伎巧^ト云^ハ、伎^藝伎^ナリ、
 巧^ハタクミ師^也、コ[、]テ^ハ、人^君タル人、官^觀、刻^畫ナ
 ントスルヲ、伎^巧ト云^也、○奇^物ト云^ハ、奇^異ナル物^也、
 人^君如此^{アレ}ハ、下^ニモ、奇^特ナル者^ノ出^キテ、飾^レ金
 鑽^玉云^也、上^ミタル人、刀^作テサ^セハ、下^モ刀^ヲ作^テ

指^ス心^也、注^ニ官^觀ト云^ハ二^也、官^闕、燕^觀ナ^リ、綉^ト
 云^ハ、又^イ物^也、○法^ト物^ト云^ハ、珍^好ノ物^ノ宝^也、此
 ヤウナル珍^宝カ、彰^ルレ^ハ、盜^賊多^有也、珍^ハタカラト
 ヲム也、注^ニ農^事廢^ト云^ハ、民^モ珍^物ヲ好^ムニ依^テ、農
 事^廢也、不^農事^(スレ)ハ、飢^寒至^也、故^ニ是^テハ、惡
 キ方^ナリ、○聖^人トハ、老^子ノ、聖^人ノ語^ヲ、引^クナ^リ、
 下^ノ句^カ、聖^人ノ語^也、コ[、]カ、淳^風章^也、注^ニ承^レ天
 ト云^ハ、任^ニ天^道心^ナリ、○偃^役ノ二^字ハ、ワ^ルトヨム
 也、徵^召ハ、二^字共^ニ、メ^スナ^リ、軍^陳偃^役ノ事^也、
 注^ニ百^里諸^侯ト云^ハ、夏^ノ代^ニハ、諸^侯ハ、百^里ノ国^ヲ持^也、
 雷^声ハ百^里ヨリ外^ハ、不^レ聞^者也、故^ニ百^里ニ相^定也、
 此^心ニ天^地ニ間^ニ於^テ、(レ)音^大ナル者^ハ雷^也、又^天下
 ノ内^ニ、諸^侯ヨリ大^{ナル}者^ナキ也、是^レ一^陸ノ義^也、○
 章^服ト云^ハ、章^ハ明^也、ハ^ナヤカナル兒^也、太^刀或^衣裳
 等[、]身^ニ帶^ル程^ノ物^ハ、皆^服ト云^也、○法^物ト云^ハ、珍
 好^ノ物^也、法^物ト云^ハ、上^ニカケテ可^見也、刻^畫、雕
 琢^類、皆^法物^也、人^君ノ、如^此アル時^ニハ、民^ヲ勞^シ使

程ニ、農事廢レテ、盜賊多有ル也、○承^レ天ト云ハ、任^ニ天道^一義也、殷紂夏桀ヲ伐ハ、皆承^レ天義ナリ、皆一陸義也、

○順化章第五十八 順^レ化也、○其政^レ悶^一悶^ト云

ハ、人君タル人ノ政リ、悶^レ々ト、不明則ンハ、其民醇々ト云ハ、其民ノ徳厚也、醇々ハ厚キ兒也、水フリユコキ酒ヲ醇ト云也、○察^レ々ト云ハ、明ナル兒也、惡キ方也、

注言決^ニ於口^一ト云ハ、一言ニテ、直ニ事決スル心ナリ、^也 聴決^ニ於耳^一、耳^ニキイタル^レ、直ニ決スル心也、○缺々ト云ハ、カケテ、其民ノ徳、疏薄スル兒也、○禍兮福ノ

所^レ倚ト云ハ、禍、福アルニヨツテ、生スル義也、注ニ委ク見タリ、○所^レ伏ト云ハ、禍ハ福ノ中ニ伏^レ居ルホトニ、人得^レ福、驕恣ナレハ、福去テ、禍出來スルナリ、

○孰^カ知其極^ニト云ハ、禍福更^レ相生スル^レノ、至極シタル^レ、誰^レモシラヌト云心ナリ、如此云心ハ、吾レハ能ク知タト云心也、○為^レ祿ト云ハ、祿ハ惡キ方也、

注ニ祿祥ト云ハ、祥ノ字ハ、善キ字ニ付ケハ、善キ祥也、

惡キ字ニ付ケハ、惡祥也、^也 疾^シテハ惡也、○人迷ト云ハ、人君之迷ヘル^レ也、其日固久ト云ハ、人君失^レ正、以來、今日テモ、ナキホトニ、固^ニ久ナリ、○方ト云ハ、方正也、道正也、○廉而不^レ害ト云ハ、聖人ハ、廉直ニハア

ル者也、人ヲハ不害者也、○聖人ハ、直ニアル者也、肆人不^レ大者、○光而不^レ曜ト云ハ、聖人ニハ、獨見ノ明アルホトニ、光ハアル者ナリ、不曜^一也、

天并書 威断成^ト 伏威ト云ハ、召取テヲクヲ、伏威ト云也、直ニ伐ヲ、断威ト云也、是ヲ伏ノ字ニタ、ツテ、此辞アリ、

○守道章第五十九 守道也、○治人ト云ハ、人君ノ万民ヲ治也、人ハ万民也、治理ノ二字ハ、共ニ治也、

○事^レ天ト云ハ、天道ノ、春夏秋冬ニ、推移ル^レ、用^レ民順^ニ四時^一教也、春ハ耕シ、夏ハ耘リ、秋収冬蔵ス、此義教也、一陸ハ仁義礼智信ヲ用テ、可^レ治民也、東ハ仁、南ハ礼、西ハ義、金也、物ヲコトハル方也、北ハ信也、

此レヲ以テ、民ヲ治ムヘキト云心也、○莫^レ若^レ尙ト云ハ、民ノ財不^レ取、其ノマ、ニヲクハ、尙ム義也、亦尙^レ貪也、

ムサホルト云心モ同ナリ、民ノ財ヲ、貪リタキト、思ホトニ、ヲシンテ、ヲクヘキ也、不レ取、其マ、ニ、倭ム義也、愛ハヲシム也、注ニ放逸ト云ハ、ホシイマ、也、先ト云ハ、前後ヲ以テ、心得ヘキ也、○無レ不レ尅ト云ハ、己カ憎欲ニ、无レ不レ尅者ナリ、○社稷ト云ハ、社ハ土也、土神也、稷ハ五穀ノ惣名也、五穀ヲ司ル神ナリ、日本テハ、宗廟ハ、天照太神、社稷ハ、鳥彥八幡也、一国コトニモ、其国ノ大社ハ、皆社稷神也、一郷一里ニモ、此神ヲイワウナリ、コ、テ社稷ト云ハ、国ト云也、持レ国云心也、○可ニ長久ト云ハ、国ヲタモツノ道ニ至レハ、長久ナル者也、注身中之道ト云ハ、身ノ中ニ、有レ道義、天地トナレハ、長久ナル者也、如其、有レ国身ニナレハ、自ラ、長久也、○是謂ニ深レ根固レ蒂ト云ハ、如レ不レ苦ニ勞精氣、長久ナル人ヲ云ナリ、是ハ譬也、木モ根ハツテ、深キ時ンハ、抜ケ倒ル、夏ナキ也、蒂モ堅固ナレハ、不レ落者也、如此人モ、精氣ヲ不レ洩、堅固也、○久視ト云ハ、精氣ヲ不レ洩人ハ、物ヲ見ツメテ、居レトモ、目タ

、キヲモセス、久ク見テ居ル義也、蒂ト云ハ、コノミノリンノ、ツルノツク処ナリ、○居位章オ六十、居レ位也、○小鮮ト云ハ、鮮ハアザラケト云テ、イカニモ、チイサキ魚ナリ、コ、ヲ取テ、守護ヲ、烹鮮ノ職ト云也、注ニ麋ト云ハ、ビノ音也、麋ハ辟也、クタクル也、○苴ニ天下ト云ハ、其鬼神、人ニ不レ神ト云心也、聖人ノ以道、依レ治、鬼神モ、人ニタ、リヲ不レ成也、化レ道故也、注見タリ、其精神ト云ハ、鬼神ノ精神也、鬼神ト云ハ、陰陽ノ神也、此无方无跡ノ神ニ、精神ハ不レ見、无レ形上ノ精神ナリ、人ニモ、精神ハ凡然ト、各ニ不レ見トモ、五蔵精神アルカ如也、非ニ其鬼不レ神ト云ハ、前ヲタ、ンテ云也、其鬼神ニ、无神テハナイ也、其神不レ傷人ト云ハ、聖人自然ノ道ヲ以テ、治ニ天下ニヨツテ、邪風ナントハ、正キ国ニ不レ得入、ヨツテ、不レ傷人、能人ヲ傷ヘキホトノ、カラモアル也、化レ道故也、注ニ邪トハ、木ノ神テアル、コタマノ神テアルナント云ハ、皆邪氣也、神ハ、正直ノ頭宿道理也、

○非其神不傷人ト云モ、前ヲタ、ム也、ヨク人ヲ傷ホ

トノカラモアレトモ、天地ト徳同キ、聖人ノ位アツテ、

治道、不傷人、依テ鬼モ聖人ニ化セラレテ、不傷

人也、聖人モ亦不傷人ト云ハ、聖人ノ不傷ホトニ、

鬼モ聖人ニ化セラレテ、不傷義也、ヨカスト云字干ノ

音也、ヒキステヲ、ワキヘハヌレハ、于ノ字也、○交販

ト云ハ、聖人ノ徳、鬼神ニ販、神ノ徳販ニ聖人ニ義也、注

ニ得治於陽ト云ハ、大數ヲ推分テ云時ハ、人ハ陽也、

鬼神ハ陰也、人ノ上ニモ、陰陽アリ、鬼ノ上ニモ陰陽ア

レトモ、推分テ如此也、故ニ得治於陽、鬼ハ得治

於陰也、

○謙徳章第六十一 謙スル徳ヲ也、大国ハ下流ナリ

ト云ハ、可治ニ大国ニ譬也、下流ト云ハ、海ニハ天下ノ、

大河ヲモ、小河ヲモ、不逆、受ル者也、如此治ニ大国一人

ハ、善惡ヲ不嫌受ル也、注ニ細微ト云ハ、小河ト云心

也、○天下ノ交ト云ハ、此国ニハ、天下ノ士民、悉ク交

會スル也、○天下軋ト云ハ、此大国ハ、天下ノ柔弱ナル

者也、我ヨリシテ手ヲ不出、人ヨリ手ヲ出シタル時ニ、

伐テ取ホトニ、天下ノ軋也、軋妻獸者也、妻ハ陰也、陰

ヲ柔弱ニ取ル心ハ、夜ハ露カヲキ、物ヲ柔、晝ハ日ニカ

ワクホトニ、強ニ取也、信ト云ハ、我ヨリ手ヲ不出心

也、モヨウス義也、○軋常以靜勝牡ト云ハ、上ナル軋

ヲ、再尺スル也、勝牡故ハ、女ハ靜ニノ居也、男ハ女

ニ屈スル者、然トモ女ヨリ求テ、男屈シサセハセス、女

ハ靜ニノ、不求男、ヨツテ、男屈故ニ勝牡○以靜

為下ト云ハ、上ノ靜ノ字ヲ、再尺スル也、靜ナルニヨ

ツテ、ヨク謙下ヲナスナリ、○大国ハ、以下ニ小国、

敗小国ト云ハ、大国ハ、小国ニ不下トモ、小国ヲ取

ヘケレトモ、小国ニ下テ取レハ、無過也、○小国以下

大国、則チ取ニ大国ト云ハ、小国本来、大国ニクタル

者ナレトモ、其上ニモ、ヨク下テ、其ノ大国ノ下ニ、因

仍テ居テ、ツカイヲ見テ、謀ヲ成テ、打テ取ヘキ心ナ

リ、○注ニ過失ト云ハ、二字トモニアヤマチ也、○或下

以取ト云ハ、大国ニカ、ル也、以ト云字ハ、辞ノ字也、

或下而取ト云カ、小国ニカ、ルナリ、而ハ、因仍ナリト云
テ、下テモ、大国ニシツカト因仍、取ル心也、注ニ以
義ト云ハ、取ヘキ義ヲ以テ、更ルニ下テ、相取也、取
マシキニハ、不^レ取也、兼^ニ畜人ト云ハ、兼ト云カ、人
ト国トヲ兼又ル義也、人ト云ハ、廣ク此国ノ人ヲモ、他
国ノ人ヲモ也、人ヲモ国ヲモ兼畜也、注ニ人国ト云ハ、
人ト國ト也、○僕ト云ハ、下部也、各所^レ欲ト云ハ、大
国ハ取^ニ小国、小国ハ取^ニ大国^ニ義也、注ニ欲^レ得^ニ其所^一、
所^レ欲也、

○為道章第六十二

為^レ道也、万物奥ト云ハ、万

物ヲ、此奥^ニ一盃入レテ、ヲサメテラク故也、○善人之
宝也ト云ハ、善人^ニ為^ニ身寶^一、不^レ敢^レ違^レ也、寶ト云ハ、身
ヲ少モ、ハナサ又者ヲ云也、譬ニハ、神靈ノ宝劍ナント
コソ、日本ノ寶、治メライテ、王者ノ身ヲ不^レ離、少モ
出テ又者也、自^レ門入ル者ノハ、非^ニ家珍^一ト云是也、内
ヲ^テデス、身ヲハナサ又ヲ、寶ト云也、○所^レ保ト云ハ、
暫時倚保心也、人^ニ逢^レ急、自^レ後悔^レ、道ホトノ夏ハ、

ナイヨト思フ、コ、カ保ツ義也、遭^レ患知ル、不^レ遭^レ患

時ハ、不^レ知^レホトニ、暫^ク倚保心也、倚^ルト云心ハ、

倚住ト云テ、一夜ナント、チヤツト、立ヨツテ、トマリ

ナントスル心也、久キ心テハナシ、注ニ逢^レ急ト云ハ、

急根ト云テ、キワマツタル義也、卑下スル所カ道也、道

ホトノ夏ハ、ナイト知ルカ如ク也、保ツト云義ハ、○美

言可^ニ以^レ市ト云ハ、美言ハ、ヨキコトハナレトモ、道ノ

上ヨリ見レハ、散々ノ賤キ者也、市^ニ不^レ宜物、美言美語

スル者ナルホトニ、美言ヲハ、市^ニ用^テヨ、我レハイヤ

ト、老子ノ仰アル也、○交易ト云ハ、マシワリカワル也、

晚ニハ、各々ニ退也、不^レ以^レ相宜善言美語^一ト云ハ、

善クモナキ物ヲ、是ハヨキ物テアル、メセナント、ホメ

語ル也、求ル者ハ、欲^ニ疾得^一、美語スル也、賣者ノハ、

欲^ニ疾售^一、善言美語スル也、○尊行可^レ以^レ加^レ人ト云ハ、

尊行ハ、タツトキ、ヲコナイナレトモ、道ノ上ヨリ見レ

ハ、不^レ尊ホトニ、可^レ加^レ人ト云ハ、道ヨリミレハ、貴

クハナイ、凡ヨリ貴者ナルホトニ、凡人ヨリ別ニセヨト

云心ナリ、凡人ト云ハ、賤キ人也、未足尊道、サテ又尊者ナル故也、○人ノ不善何弃之有ト云ハ、弃ルヲアルマシキト也、如此不善ナル者ヲサヘ不レ弃、上エニ美

言尊行ヲハ、弥ヨ弃マシキ也、道ヨリ見レハ、賤マテナリ、聖朝無弃物ニ義也、○三皇前ト云ハ、三皇以下ハ、

徳衰故ナリ、
○立天子ト云ハ、天ヨリ立也、三公ハ、日本テハ、大

政大臣、左大臣、右大臣也、唐テハ、司徒、司馬、司寇也、不善人ヲ、教化サスヘキタメ也、○拱璧ト云ハ、拱

ハ合也、兩手ヲ持ツホトノ璧也、大也、璧ハマロキ玉也、駟馬ハ、大夫ノ車也、先ト云ハ、車ノ先ニ立テ、礼義ヲ

行義也、如此、礼義ヲ行ト云ヘトモ、坐進ニ此道ヲトル也、○不日求トハ、日遠ク行テ、不レ求義也、得ト云

ハ、近ク以レ身得レ是故也、有罪ト云ハ、謂レ遭乱世君妄、行ニ刑誅、免レ邪ト云ハ、此道ヲ、修身、邪マナル

罪ヲ免ル也、○道ハ、天下貴物也、○洞達ト云ハ、ホカ

ラカニ達也、明ナル心也、覆濟ト云ハ、万物ヲ覆濟義也、

恬ハ静也、○百里奚ハ、愚ニ於虞、不レ有レ知、秦、只用与ニ不用也、漢書ニ見タリ、有罪免レ邪所引也、

○思始章第六十三 始道也、思道、○為無為ト云ハ、聖人ノシワサ也、注ニ因成スルニト云ハ、何事ニ

因成ナスモ、脩故ト云ハ、モトニ修也、修故モトニ道、無所ニ遠為トホトニ、為ニ無為ニ、事ニ无事ト云ハ、无為、

无事ノ差別、无為ハ理也、無事ハ夏也、無為ヨリ、アラケ出タル方也、事ト云ハ、取テ行フ夏也、豫メト云

ハ、十日モ、廿日モ前ナル心也、省ト云ハ、省略ノ心也、事ニ無夏スルハ、省暑シタルト也、○味ニ無味ト云ハ、

聖人ハ、五味ニ不レ渡所ヲ味也、味ニ道意ニ故也、○大時シハ小、多少ト云ハ、老子ノ戒メ也、自然ノ道カ、如

此テアルソ、大ト多トカ悪也、報レ怨以レ徳ト云ハ、怨禍也、報ト云ハ、万物ノ方エ、報スル義ナリ、

以レ徳ト云ハ、絶ニ禍未レ生所カ、以レ徳義也、○凶ニ難於其易ト云ハ、難儀ノ愛ヘ、不レ来ヤウニ凶也、不レ来所

ハ易キ所也、譬寒来ラウスルカ、ミキヌスヘキト云ホト

ノ心也、注ニ欲凶ニ難夏ト云ハ、難義ノ不_レ来ヤウニ、

ハカラウスルト、思フトキンハ、易ニ未_レ成時、不_レ来ヤ

ウニ凶テ、ウチケシテノクヘキ也、○為_二大於小_一ト云ハ、

大夏ハ必、小夏ヨリナル者ナルホトニ、聖人ハ、守_二小

夏_一也、以_レ所大夏来テ惡也、禍乱ハ必ス小夏ヨリ来ルホ

トニ、小夏堅固可_レ守也、○天下難夏ハ、必作_二於易_一ト

云ヨリ、前ノ再尺也、○終不_レ為_レ大ト云ハ、処_二謙虛_一、

小夏ヲ守也、○成_二其大_一ト云ハ、如此アレハ、天下ノ人、

悉ク此人ニ服服スルナリ、故ニ自成_レ大也、○諾ハ許也、

ユルス、輕ク人ニ物ヲ許シ、約束スレハ、必寡_二借者也、

諾トモヨム也、子路豫不_レ諾義ヲ引也、聖人ハカ_レル

シク、不_レ諾也、○多_レ易多_レ難ト云ハ、依_レ多_レ易、不_レ慎

患ホトニ、多_レ難、○猶難_レ之ト云ハ、禍ノ不_レ来ヤウニ、

難ク慎ム也、注ニ拳夏ト云ハ、何夏ヲ拳ケテ行ニモ、

重難ル也、其源ト云ハ、禍ノ源也、

○守微章第六十四 守_二機微_一也、無カラ有_二ニアラ

ハ、ワレンカ、アラワレマシキカトスル所ヲ、機微ト云也、

其安易_レ持ト云ハ、治_レ身安スケレハ、国ヲモ身ヲモ、

易_レ持者也、○其未_レ兆ト云ハ、情欲禍乱、未_レ兆前ハ、

易_レ謀止_レ者也、其脆ト云ハ、禍乱ノ未_レ夕、一点モ不_レ動時

ハ、易_二破除_一也、禍未_レ動所ハ脆也、注ニ未_レ動_二於朝_一ト

云ハ、始不_レ動ト云心也、朝廷ト心得タルハ凶也、○其微

易散ト云ハ、禍機微ナル時ハ、易_二散去也、微_レ機微也、

微也ト云ハ、未_レ夕アラハレウカ、アラワレマシキカトス

ル所ヲ云也、○為_レ之未_レ有ト云ハ、禍ノ未_レ有_二萌牙_一時ニ、

ウチケシテ、禍ノ源ヲ塞ク夏ヲ、ナスヘキト云心也、萌

牙ハ、二字共ニキサシ也、治_レ之於未_レ絶乱ト云ハ、治

身治_レ国、不_レ乱サキニ、治_レスヘキ也、乱テ後ハ、治マ

ルマシキ也、○合抱木ト云ハ、一カイアル木也、生_二於

毫末_一ト云ハ、毫ノ末ホト、ナツシヨリ生_レノ、合抱ト成

也、如此禍モ小ヨリ生_レノ、大ニナル也、此譬曰ク兩葉不

伐_レ将_レ斧柯_一是也、亦云ク、千鈞堤ハ、蟻穴漏ヨリ破ル、義

アリ、九層ト云ハ、家作り重子_一、九重ニ作_レ云、層

ハ重也、累_レハカサヌルナリ、○為_レ者敗_レ之ト云ハ、有_レ為_レノ

道ヲスレハ、自然ノ道ヲ敗ルナリ、注ニ有レ為ニ於義一瘵ニ

於仁ニ云ハ、義ハ仁ヨリ下ナルヲ、義ヲ悪クスレハ、上

ナル仁ヲ瘵也、○執者失也ト云ハ、執ニ利欲ニ遇患、失

身也、殘害トハ、殘害也、○無所失ニ於人ト云ハ、

人ニ失ナハル、所ナキナリ、○於ニ幾成敗ト云ハ、世上

ノ民ハ、何莫スルヲモ、幾成就スヘキ、時分ニヲイテ、

今少シニナツテ、ヤムホトニ、於ニ幾成一敗ト云也、悪キ

也、慎終如始則无敗莫ト云ハ、前ノ句ヲ結スル心

也、始メハ能ク慎テ、幾ニ成ル不慎終ホトニ、敗レ

テ无曲莫也、○本ト云ハ道也、末ト云ハ為也、○以輔ニ

万物之自然ト云ハ、人ヲ教テ、本實ノ道ニ販ラスルヲ

ハ、万物ニ自然ノ性ヲ、助クヘキ者ノ為也、○而不ニ

敢為ト云ハ、聖人ハ道ニ因修ノ、事ヲ不改造作也、

○淳徳章第六十五 淳徳也、○古之善為道者ト

云ハ、善ク以道治國治身君ヲ云也、○非以明民ト

云ハ、民ニ明ニ、有智恵莫ヲ不教也、其故ヲ有智

恵、知ニ奸巧ニ惡也、サテイカヤウニ、教ルソト云ニ、

將以愚也、其故ハ愚癡ニナレハ、復販道、質朴也、

如此愚痴ニセンスル也、○威福ト云ハ、威勢福ヲ、吾身

ニナシテ、凶ナリ、知此兩者亦措式ト云ハ、以智治

國賊テアル、以不智治國福ト知者ノハ、國ノ措式ト

成也、措ハ、イカタトヨムノリ也、式ハノリ也、○深

(キ)矣遠矣ト云ハ、其人ノ徳、深ノ不測、遠ノ不極

云心也、○大順ト云ハ、自然道ヲ云也、

○後己章第六十六 後己具音ノ時ハ、己ノ音アリ、

漢音ノ時ハ、己ノ音アリ、○聖人欲上入ト云ハ、悪キ

方タニコソ、上タントハセ子、以道民ニ教ヲナサント

思フハ、為上レ人義也、○以言下之ト云ハ、貴人ノ辞ヲ

卑メ、人ヲ賞斷スルハ、以言下義也、○欲先民ト云

ハ、民ノ莫先ハ君也、君トナラント思フニハ也、○民不

重ト云ハ、聖人如此アルホトニ、戴仰テ、重トセス、

殷紂夏桀コトキノ君、処上、重民也、天ニセク、マリ、

地ニヌキ足スル故也、○処前而民不害ト云ハ、在前

出身シテ行方也、我ヨリ出身ノ行ク者ヲハ、人カイヤカ

ノフシアル如ク、余リニ儉ナルハ、反テ賤也、不儉奢ナルホトニ、其中道ヲ取テ、節儉ニ行ヘキ也、○廣ト云ハ、如此儉約ニアル故ニ、民用テ、イカヤウニモ、寛廣ニ、ナシ申シタキト思ホトニ、廣也、○成器ト云ハ、万物也、成就シタル、器ノト云ハ、万物也、口義ニハ、器ハ形也、是モ形テ成就シタト云ハ、万物也、如是アル故ニ、万物ノ長テアルト云心也、注ニ成器長トハ、謂ニ得道人ト云ハ、惣ノ義如此也、我能為道人之長ト云ハ、老子ノ我レハ能ク、得道人ノ長テアルト也、○死矣ト云ハ、上來ノ今ノ世ノ人ハ、動スレハ、入ニ死道ニハカリ、不至道也、○夫慈以戰則勝ト云ハ、慈悲心ヲ以テ戰則勝敵也、或仁以守則固ト云ハ、仁ノ心ヲ以テ、城郭ヲ守ルトキンハ、堅固也、慈ト云ハ、仁ト云心ハ、只云カヘタルマテ、同心也、○以慈悲衛之ト云ハ、天ヨリ如此ナル人ニ、慈悲ノ性ヲ与テ、天ヨリ衛之也、注ニ營助ト云ハ、天ヨリ營助ナリ、

○配天章第六十八

配天也、配八匹也、並也、

○善為士者ノハ、不武ト云所ニ、張良ハ婦人也ト云語ヲ引也、胸心ト云ハ、二字共ニ同心也、ム子也、誅ハコロス也、○不與ト云ハ、兩敵ト不戰也、○為之下ト云ハ、為人下也、古之極也ト云ハ、古ヨリ今ニ至マテ、簡要、至極ノ道ト云心也、注ニ約ニ音アリ、キワマツタト云心也、極ノ字ト同心也、

○玄用章第六十九

玄用ハフカク用ル義也、一陸

ハ、玄道也、○用兵有言ヘキト云ハ、老子ノ用兵スルニハ、云ヘキ衷カアルト云ハ、下ノ句也、其句ヲ下ニ述也、注ニ託己ト云ハ、我カ身ノ上ニ託、下ニ言フ義ヲ設也、○吾不取為主而為客ト云ハ、主人ハ、何衷ヲモ倡者也、客ハ主人ニ、服者ナルホトニ、不為主ト云ハ、客トハ成ルヘキト云ハ、先敵ニ手ヲ出サセテ、敵ノ手アツカイヲ見テ、伐テ取ヘキ心ナリ、為客ト云テ、我方ヨリ、手出スマシキト云心也、○承天ト云ハ、任ニ天道義、○不敢進寸而退尺ト云ハ、侵人境界、利人財宝一方ニハ、寸ニモ進ムマシキ也、退キ衷ハ、尺

ニ退ヘキト也、亦ハ遺者ハ、不_二敢進_一寸、而退_レ尺ト云
 点アリ、此時ハ、不_レノ字ヲ、如_レ例兩カケテ、不_レ進_レ寸、
 不_レ退_レ尺ト云心也、老子ノ上ナラハ、寸ニモ進マシキ也、
 亦尺ニモ退クマシキ也、不_レ進_レ寸退_レ尺、老子ノ上ニハ、
 キタナキ義也、注_二境界ト云ハ、人ノ所帯ナント、云心
 也、**閉**門守_レ城夏、老子ノ上ニハ、キタナキ也、進_ミ夏
 モ無易、以_レ道化スルニ、化セラレヌ者ヲハ、老子ノ道ニ
 モ、伐テスツル也、其義ハ下_二見タリ、行無_レ行ト云ハ、
 行_テ無道ナル君ヲハ、誅セウスル、サテ無_レ罪民ヲハ、
 殺スマシキ也、是_レカ、行_テ无_レ行義也、上ナル行ト云
 ハ、君_ニカ、リ、下ナル行ト云ハ、民_ニカ、ル也、一睦
 ハ、行_テ无_レ行ト云ハ、人ナミ_レ行キハスレトモ、直_ニ
 我カ、**鄒**兵ヲ取テ、不_レ伐、是_レカ行無_レ行義テアルト、
 アソハス也、注_二彼レト云ハ、誰レモアレ、賊ヲナス者
 也、誅_レ之ト云ハ、无_レ道ナル君ヲ、殺ス義也、不_レ執_ト云
 ハ、民ヲハ不_レ執義也、**○**攘_レ无_レ臂ト云ハ、攘_ト云ハ、
 ヒチヲ拳_一ケテ、争方也、攘_テ无_レ道ノ君ヲ、殺セント

モ、无_レ臂ト云ハ、民_ニハ争ヘキ_一、ナキ義也、**○**仍_レ無_レ
 敵ト云ハ、仍_ト云モ互_ニ
 ノ君ヲハ、殺トモ、无_レ罪民ヲ殺_レノ、敵トスルホトニ、
 无_レ敵ト云也、**執**无_レ兵ト云ハ、**執**兵_一刃、无_レ道ノ君ヲ
 殺セトモ、无_レ罪民ヲ、**執**兵_一刃殺ス夏ナキホトニ、无_レ
 兵ト云也、注_二雖_レ欲_レ執持_一ト云ハ、君_ニカ、ル也、兵
 刃可_ニ持用_一ト云ハ、民_ニカ、ル也、**○**何者ト云ヨリ、上
 ノ悉皆ノ義ヲ注スル也、**懼**罪_レ於天ト云ハ、無_レ道ナル君
 ノ罪_ニ、民カカ、ル、**殷**紂カ民ハ、无_レ道テ、文王ノ民ハ、
 正直ナリト云、此_レ義也、君一人惡_ニ依テ、下モ悉ク惡キ
 ニナル也、天_ニカ、ツテト云ハ、暫ク天道ヨリ、カ、ツ
 タト民思_フ也、**○**不_レ忍_レ喪_一、如_レ此不_レ道ノ君_ニ、民相ホ
 トニ、コラヘテ、民ヲ不_レ喪_レ喪義也、忍_ト云ハ、コラヘル
 也、一睦ハ、不_レ忍_レ喪_レアソハス也、コラヘスゾ、不_レ道ノ
 君ヲ喪_ト云義也、**抗**兵ト云ハ、兩方ヨリ、**抗**義ナリ、
○哀者勝ト云ハ、慈悲ノ在_レ心、人ヲ殺_レ夏ヲ、悲_ニ依テ、
 士卒モ、此君ノ為_メニ、死ナテハト、心得ホトニ、死又

ヘキ所ヲ、不_ル遺_ル・依_テテ、戰則敵ニ勝也、

○知難章第七十 難ノ字ハ、以ニ易字、可ニ心得一ナ_也

リ、知_レ難知_レ易義也、○吾言、甚易知、易_レ行ト云ハ、

老子ノ我言、易_レ知、故ハ省畧ノ、十ヲ可_レ言、二ツ三ツ

云程ニ、易_レ知也、易_レ行ト云ハ、十行ヘキ_レ言、約、

二ツ三ツナラテハ、不_レ行程ニ、易_レ行也、注ニ省ト云ハ、

省畧也、○天下莫_ニ能知_一、莫_ニ能行_一ト云ハ、吾言易_レ知、

易_レ行、天下ニ能ク无_レ行也、其故ハ老子ハ行ニ柔弱、去_ニ

剛強_一云也、世人ハ、惡_ニ柔弱_一、好_ニ剛強_一故也、如此ア

ルニヨツテ、天下ノ人カ、莫_ニ能知_一也、言有_レ宗ト云ハ、

言 何_レ莫_ニモ、宗祖根本アル者也、事有_レ君ト云ハ、事

成スニハ、君臣上下次第アリ、夫唯无_レ知ト云ハ、此義

ヲ世上ノ人カ、无_レ知也、是ヲ不_レ知ニヨツテ、我ヲ不

知也、君ト云ハ、此君ハ、眞實ノ君テハナシ、君臣ノ

次ヲ、云ヘキタメマテ也、○夫唯ト云ヲ、夫唯_レ謂ム人

アリ、是レハ惡也、夫唯ツヨク、云ヘキ為也、注ニ唯ト

ハ、世人不_レ知ト云心也、愛ヲ不_レ知人カ、夫唯世人ナリ

トモ、アルホトニト云テ、夫唯点ヲ仰也、○注ニ宗ハ本

也、祖ハ始也、本也、心与_レ我反ト云ハ、心ハ世人ノ心

ナリ、我ハ老子也、○被_レ褐_レ懷_レ玉ト云ハ、褐ハ愛本ニア

ル、シト子ト云者ノ類也、一陸ハ、褐ハヲワタテ、アル

トアソハス也、聖人ノ外ハ、質朴ニノアルハ、被_レ褐_レ心

也、内ニ道德ヲ守テ、行_レ道_レ懷_レ玉也、

○知病章第七十一 知_レ病也、○不_レ知上ト云ハ、

道ヲヨク知テ、不_レ知ト云ハ、上徳ノ人也、○不_レ知知ト

云、病ト云不_レ知_レ莫_レヲ、知_レタト云ハ病也、○夫唯病_レ病ト

云ハ、老子世間人ノ病ヲ、ヤムナリ、是以不_レ病ト云ハ、

老子不_レ病也、○不_レ知知_レタト云ヲ、強知_レ病ト云也、

不_レ知_レ莫_レヲ、知_レテソト云ハ、強知タル莫也、○非_レ人ト

云ハ、人ノ病ヲ非トスルナリ、○通達之智ト云ハ、不見

ノ知ト云テ、不_レ見深キ知也、○純ハ、モツハラナリ、

○消_レ年ト云ハ、五十マテ生ヘキ者ノカ、三十四マテ、

生ル義ナリ、減_レ壽ト云ハ、失命義也、

○愛己章第七十二 愛_レ己也、○民不_レ畏_レ威、大

威至矣ト云ハ、民小害ヲ不_レ畏、大害至也、○无_レ狭_二其所_一居_二云ハ、

精神ヲ居所ヲ、セハシメス、居ヘキ也、

无_レ狭_二其所_一居、イカヤウナルソト云ニ、愛_レ精養_レ神、

心ヲ空虚_二ニシテ、神ヲ能ク、ヤトス者也、如此アル者ノハ、

大害ヲ畏ル、者也、カヤウニアレハ、不_レ至_二大害_一也、

狭_二ヨムハ、ヨミクセ也、セハシムル心也、注_二謂_二心居_一

神ト云ハ、心藏ニ神ヲ居也、神ハ心藏ノタマシイ、无_レ

厭_二其所_一生ト云ハ、精神ヲ厭_レナク、居ヘキ也、所_レ生

ト云ハ、精神也、莊子ニハ、厭_レタクルト注スル也、注_二

不_レ節ト云ハ、不_レ法度_一也、忽ト云ハ、寛_レノ_レ兎也、念

色ト云ハ、女色ヲ思也、邪僻ハ、二字共ニ同也、ヨコ

シマ也、伐_レ本ト云ハ、道ヲ伐也、○夫唯不_レ厭ト云ハ、

精神ヲ、不_レ厭_二心洗_二垢濁_一、居ヘキ也、是以不_レ厭ト云

ハ、精神力不_レ厭、其所_レ居能居テ、不_レ厭也、注_二恬怕

ト云ハ、シツカナル兎也、○上ニ夫唯ト云ハ、ヒトリト

云テモ、唯ト云心也、唯トモ、ヒトリトモ、同心也、

○任_レ為_レ章第七十三 任_レ為_レ也、○勇_二於敢_一則殺ト云

ハ、敢_レハ果也、果敢決断ニ、惡_レ勇_レム_レ義也、殺ト云ハ、如

此アレハ、我身_ヲ殺ナリ、是ハ有_レ為也、○勇_二不_レ敢_一則活ト

云ハ、果敢決断ニ、惡_レヲ不_レ為方(夕)ヘ勇_レメ_レハ、我身

ヲ活也、注_二有_レ為ト云ハ、无_レ為ノスル_レ也、物ヲ能ク、

思慮スル方ノ、有_レ為也、○天之所_レ惡ト云ハ、有_レ為也、

勇_二於敢_一有_レ為也、其故ト云ハ、ヨミクセ也、故ト云心也、

天道ノ、何_レト思召、意_レノ故ヘテ、不_レ知_レホトニト、云心

也、知_レラント云ハ、不_レ知_レト云心也、○猶_レ難_レ之ト云ハ、勇

於敢_一復_レ難也、注_二欲_レ行_レ之乎ト云ハ、行ハレマシキ

ト、云心也、○不_レ争_レ而善勝ト云ハ、天_レハ与_レ人、貴賤ヲ

ハ不_レ争、人自、天ヲハ貴ホトニ、ヨク勝義也、一睦ハ、

愛_二人_一多ケレハ、勝_レ天トモ、語引也、○不_レ言_レ而善應ト

云所ニ、天何言哉ノ、語アリ、○陽_レ天、陰_レ地也、○

禪然ト云ハ、禪_レハ寛也、天道ハ寛博ナル者也、然_レハ付字

也、善謀ト云ハ、人ノ善惡ヲ、善ク謀慮テ、修_レ善者ノ

ニハ、与_レ善、修_レ惡者ハ、与_レ惡、各蒙_二其報_一義也、○

天網恢恢疎而、不_レ失ト云ハ、人ノ善惡ヲ、不_レ失也、恢

ハ大也、廣也、天網ト云ハ、天ハ如網也、伺ハウカ、ウ也、

○制惑章第七十四 禁制惑也、惑ノ字ハ、俗字

ノ時ハ、下心不審、下心アルト、同心也、○民不長

死、民死不長故ハ、治國人君、刑罰深ニヨツテ、民

不聊生、トテモ殺サル、者ヲト思テ、死又ルヲ不

畏也、注ニ民不知長ト云ハ、民ハ上ノ貪財殺身民

也、別ニハ見マシキ也、○奈何、以死畏之ト云ハ、

老子ノ時ノ王ノ、此法度ヲ背イタラハ、殺スヘキ、以

死懼之哀ハ、イワレス、以道德教ヘスシテ、何哀ニ

刑罰ヲ以テヲトスト也、以死懼之ト云カ、以刑罰懼

義也、○若シト云ヨリ、老子ノ我レハ、民畏サハ、如此

スヘキト也、若使民常畏死ト云ハ、民ヲシテ、死ヲ畏

サセウスルニハ、以道能教化シテ、我カ除所殘尅、

民ニ去利欲サセウスルト也、○而為奇者ノヲハ、吾

得執而殺之孰カ敢矣ト云ハ、如上以道教ルニ、不

從反テ、奇リヲセンスル者ヲハ、其時ハ、王法ニ任テ、

執ヘテ、殺サンスルニハ、恨ニモアルマイ者ノヲ、時ノ

王ハ、以道教ヘハセス、始ヨリ、以死畏之哀ハ、

イワレヌ、我カ畏トセンスルニハ、如此スヘキト也、敢

セント云ハ、敢テスル者ハ、アルマシキト云心也、コハ

テノ吾ト云ハ、老子也、注ニ己カト云ハ、老子也、常有

司殺者ト云ハ、天道也、天道ハ、人ノ司殺メ善惡、

善ニ福ヲ与ヘ、惡ニハ殺ヲ与ル也、○夫、代司殺者是謂

代大匠ト云ハ、譬也、大匠ト云ハ、番匠ノ上手也、斷

ト云ハ、木ヲケツル也、○注ニ斗杓ト云ハ、北斗七星也、

斗魁ト云ハ、七星サキカケ、貪炬祿文也、斗杓ト云ハ、

廉、武、破也、ヒサコニサス、柄ヤウナル所也、斗杓ハ、

北斗ノ柄也、是レカ、サス柄ノ後也、○運移ト云ハ、

正月ヲハ、建寅ノ月ト云テ、後ナル柄カ、寅ノ方ヘ建也、

星ハ戌ノ時ヨリ、出タル者ノナルホトニ、戌時ヨリクル

也、戌ヨリ五メカ、寅ノ方也、寅ノ方ニアリ、破軍星マ

フルノ日也、二月ハ建卯ノ月ト云テ、卯方ヨリ始也、ナ

ン時モ、戌時ヨリカンカヘル也、三月ハ建辰ノ月ト云テ、

柄カ辰方ニ建也、如此次才ニメクル、是ヲ遷移ト云也、

○節度ト云ハ、節ハ八節、一年ニ八ノ節アリ、度ハ日月

ノ行度也、行度ト(云)ハ、日月日ノ行、月ノ度、月ノ

行、日ノ度はナリ、行度ノ時、度ノ字ヲ、メクルトヨム

也、如此クルリクト、行度アル也、如此天道ハ、常住

不変ニアル者ヲ、王者ノ以道教民ナサス、伐天道、

悪キト云譬也、○拙夫ト云ハ、ツタナキ、ヲトコ、賤人

ト云心也、

○食損章第七十五

ヲウチカトフト云テ、年貢也、○有為ト云ハ、有為ヲ

君カ行ヘハ、民モ化上依テ、難治也、以其求(テ)

情欲多ソ、人ノ物取貪リワイテ、二百マテモ、三百マテ

モ、生スルト、求ルニ依テ、輕ク死也、悪キ方也、活ハ

イキルトヨム也、○无以生為者ト云ハ、不求生者

ノ、生者ノ也、是賢於貴生也ト云ハ、求生者ノハ、

貴生者也、求生者ニハ、不生求者ハ、マサレル也、

注ニ干ハ求也、

○戒強章第七十六

柔弱ノハ、人ノ生タル時ハ、依多和氣、柔弱也、死

又レハ、堅強ナル故ハ、和氣尽キ、堅クナル方也、脆モ

ロキ也、○死ト云ハ、死又ル心也、枯槁ハ二字共ニ、同

カル、也、注ニ其上二夏ト云ハ、人ト、草木ト云也、○

毒流ト云ハ、弱ナルニ、殺サル、者、毒也、怨結ト云モ、

弱ナル者ノ、怨也、為ニ強ト云ハ、衆弱カ集テ、

一トナルホトニ、強ニナル也、(故ニ)為ニ強ト云也、

不勝トハ、前ノ輕ク戦テ、樂殺、強ナル者ノハ、不

勝也、○木強則共ニスト云ハ、木強大ナレハ、枝葉ハ

不依根、共ニ末ヘニ集生也、強大ヲハ根ニトリ、柔弱

ヲハ末ニ取也、弱ナル故ニ、枝葉ハ末ニ集リ生也、強大

ハ惡譬也、○強大処下ト云ハ、家ヲ造リ、成功ニモ、

強梁ト云テ、大ナル木ヲハ、下ニワキ、其上ニ、次才ク

ニ、小キ木ヲ、置クホトニ、故ニ柔弱処上也、如此ア

ルホトニ、柔ハ強ニ勝也、

○天道章第七十七

○天之道其猶張弓乎云ハ、天

道八目ニモ不見、辞ニモ不^レ言ホトニ、譬ヲ^ケ擧テ、御説

キアル也、天道ノ高者抑^レ之、下者^レ擧^レ之、赫ハ、先ツ弓

ヲ作ルニ、本末ヲ作テ、中ヲ作^テ、弦カケテ見ルニ、高所^キ

ヲハ、木ヲ^取トリ、下所ヲハ、木ヲソエテ、高クモナク、^無

下クモナク、マツタイラニソ、弦ハツヨクモナク、ハホ^ワ

ソクモナク、中道ニスル者也、天道ノ、人奢タル者ヲハ、^ノ

損ソ、謙ナル者ソニ、与ヘル義如此也、人ハ中道カ、簡

要也、注ニ中和ト云ハ、中道也、○有^レ餘之位ト云ハ、

人君ナリ、^也○省ト云ハ、一人ゾスベキ^{シテ}哀ヲ、アマタニ、

シアワセテ、サセルヲ省ト云也、

○任信章第七十八 ^也○任^レ信^ニ也、過トモヨムナリ、^也

莫^ニ之能勝ト云ハ、此水ニヨク勝テ、堅強ヲ攻ル者ナキ

也、懷^レ山襄^レ陵磨^レ鐵消^レ鋼ト云（マ）テ、尚書ノ辞也、

懷山ト云ハ、水ハ山ヲモ、引キクツス者也、亦山ニモア

リ、河ニモアル故ニ、懷ルト云也、鐵モ水ニツク^ケレハ、

クツル者也、襄^レ陵ト云ハ、イカナル高キ所ニモ、水ハ

アル者也、無^ニ以能易^レ之ト云ハ、強ヲ、^也サムル者（ヲ）

ハナキ也、水ニ易テ、水ヨリヨク、ワサムル者ノ義ナリ、^{能ニ}

水ニ易ル^レ哀ナシト云心也、○聖人云ト云ハ、老子ノ、古^也

ノ聖人ノ語ヲ引ナリ、○受^レ國之垢ト云ハ、國ノ惡キ、^也

ハチアルヨウナル^レ哀ヲ、我身ニ受テ、ソノハヂヲ、ス、^其

イテ出ス也、此ヤウナル者ノハ、國ノ主トナル也、社稷^成

之主ト云ハ、國ノ主ト云心也、杜預カ注ニハ、垢ト注ス^也

ル也、不祥ハ、不善也、○注ニ引^レ過ト云ハ、民ノ過ヲ、

我カ身ノ上ニ引^レキ受テ、是レハ我カ惡キニ依テ、民此殃^ニ

イアルト云テ、我カ身ニ引^レ受テ、過チヲ、ス、イテ出ス

人ハ、王トナツテ、有^レ天下^一也、○自^レ与ト云ハ、過ト与^ト

伐^レ民也、○正言若^レ反ト云ハ、正直ノ言ヲハ、世人ハ不^レ

知、道ニ反タル言ト云也、^{ソムイ}

○任契章第七十九 任^レ契^也、○和^ニ大怨ト云ハ、殺^ス

人^一ハ、大ナル怨也、和ト云ハ、殺^レ人、人カ亦我ヲ殺^ス

是^レ和義也、○必有^レ餘怨ト云、怨カ餘、科ナキ民ニ及^ス

ス也、爰本ノ譬ニ、科人カ一人アレハ、在時三家ナント

云テ、過ナキ者モ、禍ヲ受ル、是レハ怨余タル道理也、

注ニ任刑者ト云ハ、刑セラル、者也、失人情ト云ハ、

如此セラル、者ノハ、人ノ情ヲ失シタルニヨツテ、任刑

也、良民ト云ハ、ヨキ民也、科ナキ民ト云心也、○安可

以為善ト云ハ、善トハスマシキ、惡也、○注ニ一人吁

嗟ト云ハ、一人ハ和ハ大怨大者也、吁嗟ハ、二字共ニ、ナ

ケク也、○天心ト云ハ、我ヨリ受タル心也、人々天ヨリ、

心ヲ受ル者ナルホトニ、天心ト云ナリ、一睦ハ、此天心

ヲハ、万人ニカケテ、一人ノ吁嗟キアレハ、万人ノナケ

キト云心也、遺侍者ハ、一人ノ天心テアルト也、天心ヲ、

失ナフタルニヨツテ、吁嗟スルソト云心ニ、アソハス也、

天心ハ道ノ心也、人々道ヨリ受ル心也、故ニ天心ト云也、

○執ニ左契ト云ハ、左ハ陽ノ方タナルホトニ、ヨキト云

心マテ也、別ニ心ナシ、契書契ト云テ、板ヲ以テ、作タ

ルフンダ也、此契兩ツニワツテ、兩方へ行テ、亦其契ヲ

合テ、信ヲナス者ナルホトニ、愛テハ、唯信ヲ執ルト云

儀マテ也、聖人ハ、信トヲ取ルソト云、心マテナリ、符

ト云ハ、ワリ符也、○無文ニ書法律ト云ハ、古者、文書

法律ト云フナク、合ニ割符テアリ信ヲナス也、法律ノ二字ハ、

ノリ也、○而不責ニ於人ト云ハ、信アツテ、人ヲ責ル

ニ、以ニ他責ニ不責也、他責ト云ハ、信ヨリ他ノヲ以

テ、不責レ人也、○司契ト云ハ、司信ト云心也、○司

徹ト云ハ、徹ハ法ナリ、人ノアヤマチトスル所ノ、法

度ヲ司也、注ニ所失ト云ハ、所過也、失ハアヤマチ也、

○獨立章第八十 ○小國寡民ト云ハ、聖人ハ、大

國ヲ治ムレトモ、小國ノ如ク思テ、不奢也、○使民什

佰ト云ハ、什ハ十人ノ長、佰ハ百人ノ長也、十人ノ長

ヲスル者ノニハ、十人長ヲサセ、百人ノ長ヲスル者ニハ、

百人ノ長ヲサセ、ソレ其、貴賤ヲ不犯、治國也、注

ニ部曲ト云ハ、分也、曲ハムラ也、其村々々ヲ、分心也、

是レハ、佐貢、是ハ新田ト、分心ナリ、曲ハクマトヨム

也、○人ヲ器ニシテ、而不レ用ト云ハ、民ニ三時ノ業ト

云テ、春ハ耕シ、夏ハクサキリ、秋ハ收納スル、此時ヲ

不レ妨、是器而不レ用也、○使民重死ト云ハ、上來ノ

如クアレハ、カヤウノ治タル代ニ、イカヤウニモ、命チ

長クアリタキト思テ、重_レ死也、注各得其所ト云ハ、

所欲ナリ、不_レ遺徒ト云ハ、上來ノ如クナレハ、遺ク

他國ニ、行ヘキト不_レ思ナリ、○無_レ所乗ト云ハ、民也、

民不_レ為_二繁花_一、不_レ好_二遊娛_一ホトニ、乗テ他國ニ、行ヘ

キナント不_レ思也、繁花ハ文花ノ方也、娛ハタソシム也、

○無_レ所陳ト云ハ、民也、在リハアレトモ、不_レ陳例也、

甲ハヨロイ、兵ハホコ也、○復_二結繩_一ト云ハ、結繩ノ代

ノ如クニ、復_レ心、用サスヘキ也、直ニ結繩ノ代ニ、復

ルハ、ハナキ也、○茅茨ハ、二字共ニカヤ也、○漁食ト

云ハ、漁ハスナトリ也、淵河ヲ漁テ、魚ナント、トルヤ

ウニ、スマシキ也、○俗_レ留也、不_レ轉移ト云ハ、不

移也、○声相聞ト云ハ、如此隣國相ナラン、タレトモ、

國ヨク治タルニ依テ、民老死スルマテ、他國ヘ行ヘキト

不_レ思也、

○頤實章八十一、頤實朴也、○擊々ト云ハ、ツラナ

ツテ、キレヌ兒也、擊々ト、コヲモイストヨム也、○多

空虚、是ハ虚言也、○守一元ト云ハ、道也、財賄ト

云ハ、二字共ニ、タカラ也、○利而トハ、譽也、

謂_二襲明_一ト云ハ、天道ノ明ナルヲ、蔽スト云義也、其故

ハ、天道ハ直ナル者ノヲハ、直ナトシ、曲タル者ヲハ、

曲タトシ、明ナル者也、雖然、天道モ直ナル万物ニハ

兩露ヲ可_レ施、亦曲タル万物ニハ、施スマシキトハ、不

レ云者也、聖人ノ心モ、如_レ此、善者ハ、勿論、惡者ノヲ

モ、不_レ捨也、教ヘ可_レ導タメ也、然間聖人ノ無棄_レ物、

天道ノ明ヲ襲タル心也、注_二襲明天道_一ト云ハ、上古ヨ

リ、如此襲付タリ、心ハ天道ノ明ヲ、襲ト云義也、老子

変現夏ハ、事林廣記ノ圖ニハ、廿六度也、其ノ中ノ官ニ

ツ除テ也、定王ノ時ノ老子ト、変現セラレタルヲ、加ヘ

テ、已上廿七度変也、亦九變ナント、云ハ、異説也、譬

ヘハ、弘法ノ釈ハ如此也、亦慈行ノ釈ハ如此テ、アル

ト云ク(二)、別人カ、亦一説見云ヘル義也、河上公

分為_二八十一章_一、上經ヲ法_レ天、天數奇、其章卅七也、

奇ト云ハ、半ノ方也、天ハ陽テ、半ノ方ナルホトニ、奇

ト云也、字心ハ、物ノニツアルハ、不_レ奇特也、一ツア

△京本改行無シ

△京本改行無シ

ルハ、奇特ナル方也、陽ハ半テ、一ツアルホトニ、奇特ナル義也、故ニ天ノ奇ト云也、地ノ數ハ、偶ト云ハ、偶ナラフト讀也、地ハ陰テ、二ツ宛アルホトニ、偶ト云也、老子変現圖ニ、一代ニ二ツ、名ノアル処アリ、是ハ一代ノ中ニ、二度変スルヲモ、アルヘシ、亦ハ一度ニ二人変ノ、アルヤウナルヲモ、アルヘキナリ、然間二名ノアルハ、二度変シ、一名ノアルハ、一度変ラレタル義也、物ヲ見椽アリ、標釋結ト見也、先其ヲサツト標、中ニテ懸ロニ釈、終リニテ、上ヲ結スルナリ、是レハ、本結テモ、注テモ、依^レ処^ニ如^レ此見レハ、文段善ク滑ムナリ、精神ハ、標也、聡明音声ハ、釈也、五性ト云ハ、結也、周行不殆ト云（ハ）、天道ハ、一日一夜中ニ、天地ノ間ヲ、三百六十度、四分度ノ一ト云ヲ、スルリト一反廻（ル）也、然間天道ハ殊外早也、故ニ天道ハ、左遷シ、日月ハ右行スルヤウニ見ル也、

氣節法本章右三十九章氣ハ、廿四紀也、廿四紀ト云ハ、十五日ヲ、一紀々々ニスルホトニ、一年ハ、廿四氣アリ、八節ト云

ハ、立春、春分、立夏、夏至、立秋、秋分、立冬、冬至也、廿四氣ノ中ニ、八節ハ在ルナリ、知者不^レ言トハ、得道シタルモノハ、我コソ道ヲ知テ候ヘナント、ハ、不^レ言義ナリ、不可^レ得而親トハ、榮譽ヲ得テモ、イカメシキ、悦トモセヌ也、○疏ト云ハ、榮譽ヲ得テモ、疏シモセヌ義也、注ニ悉ク静ニシ、無欲ト云ハ、得而不^レ疏人心ハ如此義也、○不可^レ得而害ト云ハ、富貴ヲ得テモ害シモセヌ也、注ニ不^レ害人ノ心モチ也、○賤ト云ハ、乱世主ヲ得テモ、賤モセヌ也、注ニ此人ノ心也、乘^レ楫ト云ハ、乱世ノ主トナル義也、換鵝經ト云ハ、王羲之ト云モノ、山陰ト云処ニ、道士三人アツテ、鵝ト云鳥ヲ飼ケルヲ、王羲之所望シケレハ、彼ノ道士、老子經ヲ、書テ出ゾ、此鳥ヲ得ルホトニ、換^レ我^ニ經ト云也、王羲之ハ、勝レタル、手書ナル故也、道士ハ仙人也、

ハ京本以下無シ

(改葉)

層タビヨム也、塔ノ二重、三重ト、重々ノアル中ノ、ホソキ所ヲ云也、物ヲ刻ミ立テ、中ノクホキ所ヲ、層ト云也、娟ヒイルトヨム也、

成象章ニ為下精神聰明音声五性ト云ハ、精神、聰明、音声ハ、皆五藏ノ性也、是ハ慧ニ注スル心也、目ヲ以テ、物ヲ見、以レ耳物ヲ聞、音声ヲ出スモ、皆五藏ノ性也、五性ト云ハ、精神ナント云ハ一也、

應ニ禽獸物物剛柔ト云ハ、愛等、陽ノ中ニモ、陰ヲ籠テ、可レ見之、陰ノ中ニモ、陽ヲ籠ル者也、四維九州ト云ハ、地ノ分ヲ、スツキト、不レ余ト云故也、○法備ト云ハ、以レ四乗レ九、以レ五乗レ九ト云ニ、カ、ルナリ、○九レ之ト云ハ、老子經ノ章ノ數ヲ、九ニノ、九々八十一章ニ、分義也、列傳ト云ハ、漢ノ代ノ史記ノ、内篇ノ名也、伯

ハ長也、○魁ワライ杓ヘウエ老子ハ李氏女ニ因テ、妊ル時モ、父ハ韓氏ナルヘキ也、亦母ハ、精數指レ李為レ性ト云ハ、或説也、○大陽ト云ハ、九ヲ云也、陽九カ極ナル故也、小陽ト云ハ、七ヲ云也、陽八一三五七九也、亦ハ大陽ヲ、

老陽トモ云也、陽ハ數多キ方タカ、貴斷也、其故ハ、何ニモ多キ方タハ、陽也、是テ天ノ大陽ト云ハ、陽ヲ九ヲ、重タルヲ云也、サテ陰ハ六ヲ大陰ト云也、八ヲ小陰ト云也、其故ハ、陰ハ物ノ少キ方ナルホトニ、陰ハ少キカ貴斷也、亦ハ大陰ヲ、老陰トモ云也、二四六八ハ陰也、陽ニハ必陰カ、ツレモノテアルニ、老子陽斗リニ應ノ、生ルルハ、陽ハ生ル方也、陰ハ死スル方ナル故也、亦老子トモ云、亦重耳トモ云タルハ、年老テ、生タレハ、老子ト云イ、耳トモ云也、名ハ色々ニ、人ニハイクツモ、アル者也、サテ聃ト云ハ、重テアルニ依テ云也、用ヲ字ノ頭カシラフ署カシラフノ書テ、タント讀也、實ハ聃ノ字ノ心也、此義署レイホウ礼部レイホウ勻カシラフニ見タリ、署礼部韻ト云ハ、二卷アリ、毛勻ノ五卷アルヲ、署ノ二卷ニスル也、礼部ノ官ニ居タル、作スル故ニ、署礼部ト云也、

敵播ノハタカキ行テダテ臂ウチマクリ撞ヒキ敵タメテ踰クハス踏フミ散チル徐マダマ鎮シム塚ツツミ木キ名ナ也
 迦トリンク釋ハツス精泄ロレツホヒ療イヤス癩ヒイ同ト痲痺ヒイ鎮シム塚ツツミ木キ名ナ也
 娘ムスメ苗イトコ嬖ヲハ嫗ヨメ嬖ヤメ兄コレト公フクリ閻マタ役アガリ輝ヒロ驅ヒロ

膝ヲヒシ 拳コノヲ 辟カイナ 罅コメ 谷カミ 呻アケヒ 吃コト、モル 噤ウ 癢エウホ 嘔ノトフエキ
 噤シラフ 聾ヒンツラ 湯沐ユカケ 鼻シレキ 响呼ナラサメ 脚力カクリキ 夜道ヨリイ 擗ミ 脚巾ハ、キ 肚袋ツツ
 下鞆シラカサチ 武具レコロ 綴スエマチ 隨箒ツカヒモ 高細同 鞆アケマキ 拳卷ツカサモカ 逆茨ツカサモカ
 帶取ワヒトリ 列カリマタ 鳴矢カフネ 矢崎揃ヤサキツノロ 蛭卷ヒルマキ 鞍レラチ 逆鞆サカサカウ 鞆シラカサ
 泥障アツリ 割ムネカイ 綿上ワタカミ 沓脱フツヌキ 如毛ムクイヌ 交ク、ル 堆ウツカレ 炊カレラ
 葭シトイ 桁ケタ 重櫓シテタルキ 枅柱ヒヂキ 柁ノキツケ 垂木タルキ 樹ツノイ 廂ヒサレ

王相囚死休廢ト云ハ、王相胎没囚死休廢也、コ、ニハ畧
 ノ云也、八方ノ卦ニ配ノ、何ン時モ、王スル卦ヨリ、始
 テクルリクト廻ルナリ、春ハ東カ王スル程ニ震ノ卦ハ
 王、巽卦ハ相、離卦ハ胎、坤卦ハ没、兌ノ卦ハ囚、乾ノ
 卦ハ死、坎卦ハ休、艮卦ハ廢、如此次第ニ廻ル也、亦夏
 ハ南方カ王スル程ニ、離卦王、坤卦ハ相、兌卦胎、乾卦ハ
 没、坎卦ハ囚、艮卦死、震卦ハ休、巽卦ハ廢也、亦秋ハ
 西方カ王スルホトニ、兌卦ハ王、以下同前也、冬ハ北方カ王
 スルホトニ、坎卦ハ王、艮卦ハ相也、以下同上也、

艮丑寅 震卯辰 巽巳午 離未申 坤酉戌 兌亥子 乾丑寅 坎卯辰

卯辰巳マテハ東也、午未申マテハ南也、酉戌亥マテハ西也、子丑寅マテハ北也、

九鼎ト云ハ、九州ノ中ノ、名山名河ヲ、此鼎文ニ鑄付ケタルホトニ、九鼎ト云（ハ）、譬ハ関東テナラハ、日光山 筑波山 赤木ナントノ如ク、亦富士山ナントノ如キノ、名山也、サテ名河ト云ハ、利根河 衣河ナント、云如クナルヲ、鼎ノ文ニ鑄付ル也、富士山ハ駿河国ニアリ、日光山ハ下野国ニアリ、筑波山ハ常陸国ニアリ、赤木ハ上野国ニアル也、利根川ハ上野ノト子ト云処ヨリ、流出テ、武州上州両国ノ間ヲ流也、衣河ハ下野ニアル也、

瀧イキトワリ 瀨カケル 瀨鳥敷也 瑣タマ 瑣モリワライ 途ワカサ 嵩トモキ

校異

1頁(序)

*1 洪萬カ書ト云義ハ 陽本、朱筆を以って「葛」字右に移
行符、「洪」字上に移行箇処を示す

*2 是レハコガキ也 「ガ」底本・陽本並に濁点は朱、京本
濁点無し

*3 大序ノ躰ノ小序躰アリ 陽本、底本に同じ、京本「大序
ノ躰小序ノ躰アリ」、今底本の朱訂に従う

*4 以レ序引挙ケテ知ル心也 以レ序引挙ケテ知ル心也
(朱)

*5 為レ我著書云 京本「為レ我著書ノ云」

*6 子ノ時ニ生ル、也 子ノ時ニ生ル、也

*7 至関時ハ 陽本、返点送仮名は朱

*8 親ト云テ義モアル也 陽本「親」字左に朱筆で「不審」
と旁記

*9 大古ト云ハ 太古ト云ハ

2頁

*1 周ノ景王ハ時 周ノ景王時 今、底本の朱訂に従う、
京本「周ノ景王時」

*2 玉女跪テ捧レ蓋、玉女跪テ捧レ蓋、京本、送仮名無し

*3 葛洪ハソノ名 葛洪ハソノ名 威(朱)、和(朱)

*4 咸和ノ年号中ノ者也 咸和ノ年号中ノ者也 威(朱)、和(朱)

*5 天數奇卅七也 天數奇卅七也 余(朱)

*6 故ニ道經卅章ニ分也 故ニ道經卅章ニ分也 今、底本の
加筆訂正に従う

*7 故ニ德經四十四章ニ分也 故ニ德經四十四章ニ分也 余(朱)

*8 七十二章ニスル也 七十二章ニスル也 余(朱)

*9 五行陽ヲ乘テ 五行陽ヲ乘テ 余(朱)

*10 色々ニ注者アレトモ 色々ニ注者アレトモ

*11 亦一瞭ハ 亦一瞭ハ 變(朱)

*12 ナラント云点ナト云 京本「也」ト云点ハアリケナト云

*13 ウタカウ心ナリ ウタカウ心也

*14 解形還神イト云ハ 為レ示有レ所始 解形還神イト
云ハ為レ示有レ所始

*15 婦人胞ノ中ニ入テ生也 婦人胞ノ中ニ入テ生也 余(朱)

*16 アカタト云也 アカタト云也 余(朱)

*17 厲郷ト云ハ 京本「厲」字左右兩旁に振仮名「レイ」

3頁

*1 アカタト云也 アカタト云也 余(朱)

*2 厲郷ト云ハ 京本「厲」字左右兩旁に振仮名「レイ」

(右)、「ライ」(左)

* 3 卅人ノ胞中ニ入テ―此人ノ胞中ニ入テ

* 4 チナムト云心ナリ―チナムト云心也

* 5 八十一年ノ間、ノ母ノ胎内ニ処也―八十一年ノ間ノ、

母胎内ニ処也

* 6 九月九日ヲ―九月九日

4 頁

* 1 一国ノ王ナルカ―一国ノ主ナルカ

* 2 孔子ヲヲシテ云心也 京本「孔」ツクリを「豊」に作る

* 3 辞ハカリ(六濁点は朱)―其辞ハカリ

* 4 行道人君タル人ヲ得テハ―行道人君タル人得テハ

5 頁

* 1 五帝ノ道―五帝ノ道 京本「帝」、「常」に作る

* 2 緡ハ釣糸也 京本「緡」、「紙日」二字に誤写

* 3 内曾ト云ハ―曾ト云ハ 今、底本の加筆訂正に従う

* 4 无為自然ノ道ヲ―無為自然ノ道ヲ

6 頁

* 1 被レ可ヨト云ハ―被レ下ヨト云ハ

* 2 大数ヲ挙テ云也―大数ヲ挙テ云也

* 3 葛洪カ云心也―洪葛カ云心也

7 頁

* 1 将ト云ハ將軍也―将ト云 將軍也

* 2 段干ト云ハ所也―段干ト云ハ所也

* 3 老子経ノ道也―老子経ノ道也

* 4 「老子ハ」至「自化ト云ハ」 京本、此十五字重出、衍

* 5 天何ヲカ言哉―天何ヲカ言哉

* 6 老子ノ道ハ―老子ノ道ハ

* 7 點之ト云ハ―黜之ト云ハ

* 8 葛洪カ―洪葛カ

* 9 聞之老聃ト云マテ―聞之老聃ト云マテ

* 10 諡ノ曰聃也―諡ノ曰聃也

8 頁

* 1 聃トカク也―聃トカク也

* 2 道経ノ分ヲ云ナリ―道経ノ分ヲ云也

* 3 取ニ象天地ト云ハ―取ニ象天地ト云

* 4 葛洪カ以ル也―洪葛カ以ル也

* 5 道ノ尊ク花ク貴ト云ニ―道ノ尊ク貴ト云ニ

* 6 爰以葛洪ハ―爰以洪葛ハ

* 7 羅ト云ハ―羅ト云ハ、「羅」兩本共に譌、「四維」に作る
べし、京本是

* 8 数ノ極メ也―数ノ極也(並朱)

* 9 真実卅九宮―真実此九宮(朱)

* 10 今ハ葛洪カ時分ニ令也―今ハ葛洪カ時分ニ令也(今朱)

* 11 底本、行末に及び、改行の意有無不詳、今、陽本に従い(朱)

改行す

* 12 躑履ト云ハ―蹠履ト云ハ

9頁(序・1章)

* 1 クツトヨム字ナレト―クツトヨム字ナレトモ

* 2 躑セキノ音也―蹠セキノ音也

* 3 華ハ紅イト成ル夏ハ―花ハ紅イト成ル夏ハ(朱)

* 4 命吾ノ序ニ―命吾ノ序也(朱)

10頁(1章)

* 1 二字共ニノリ也―二字共ノリ也(朱)

* 2 岩廊ニ拱レ無為―岩廊ニ拱、無為、京本、返点無く「イテ」

は本行

* 3 「含レ光」より「匿レ端」まで、陽本・京本振仮名無し

* 4 不レ被レ称レ道ト道コソ―不レ被レ称レ道ト道コソ

* 5 名可レ名ト云ハ上ナル名ハ―名可名ト云ハ上ナル名(朱)
11頁

* 1 蚌ト云ハ 陽本「蚌」もと「蚌」に作る、今、右部ツク

リの上部に「ノ」一画を加筆し、「蚌」と作す(朱)

* 2 蚌中石間ノ義也―蚌中石間義也

* 3 頑ハカタクナシト云テ―頑ハカタクナシ云テ

* 4 イヤシキ方タナリ―イヤシキ方タ也

* 5 非レ有ニ名言ニ云ヘリ―非レ有ニ名言云ヘリ

* 6 ヲモウ事ナキトヨムホトニ―ヲモフ事ナキトヨムホトニ

* 7 妙ハ道微妙也―妙ハ道微妙也(微歎)

* 8 一出布一名ト云ハ―一出布レ名ト云ハ(朱)

12頁(2章)

* 1 天下皆知ニ美之為美ト云ハ―天下皆知ニ美之為美ト云ハ

* 2 美成シタルマテ不レ知、為レ美ホトニ善也 京本「美成シ

タルマテ不レ知、為レ美ホトニ善也」

* 3 有ニ危亡ト云ハ―有ニ危亡ト云ハ

* 4 有ニ危亡也―有ニ危亡也

13頁

* 1 天下ト云ハ天下ノ人ト云心也―天下ト云ハ天下ノ人ト云心(朱)

也

* 2 見_レ無_ラ有_テアルナト、云也―見_レ無_ラ有_テアルナト、云也
ナ(朱) ム(朱)

* 3 難易相成ト云ハ 陽本、此処にて改行、底本、前句行末に及び改行の意有無不明

* 4 易キ_レ_レ_レ不_レ慎_ヨツテ―易キ_レ_レ不_レ慎_ヨツテ
ヲ(朱)ニ(朱)

* 5 声ハ但一ト音エ出ル体也―声ハ但一ト音エ出ル体也

* 6 見_レ有_ラ無_トセハ―見_レ有_ラ無_トセハ

* 7 居_ニ無_為_レ_レ居_ニ無_為_レ_レ

* 8 道ハ万物ニ施シ―道_ハ万物ニ施シ
ハ(朱)

* 9 為_レ不_レ時ト云ハ―為_レ不_レ時ト云ハ、今底本の訂正加筆に從う

14頁(2・3章)

* 1 無_レ不_レ動_レ乱_レ也―無_レ不_レ動_レ乱_レ也

* 2 無_レ不_レ動_レ乱_レ也―無_レ不_レ動_レ乱_レ也

* 3 明_ニ文章_ニ也―明_ニ文章_ニ也

* 4 使_レ民不_レ争ト云ハ―使_レ民不_レ争ト云ハ

* 5 女_ヘント同心也 陽本「篇也」の旁記無し
篇也

15頁(3・4章)

* 1 イ。ライ也―イキライ也、今、陽本に從う
キ敷

* 2 賢_ノ藏_ノ精也―賢_ノ藏_ノ精也、今、陽本に從う
賢敷

* 3 使_ニ夫知_者、不_レ敢_為ト云ハ―使_ニ夫知_者、不_レ敢_為ト云ハ
シム下

* 4 思_レ慮_深不_レ輕_言也―思_レ慮_深不_レ輕_言也

* 5 因_レ循_ト云ハ―因_レ循_ト云ハ
シユス

* 6 老子ノウタカフ心也―老子ノウタカウ心也

* 7 挫_止テ―挫_止テ、底本、返点を擦消、京本「挫_止」

16頁(5章)

* 1 祭_ノトキ―祭_ノ時

* 2 天_ニ地_生万物_ニホトニ―天_ニ地_生万物_ニホトニ
オス

* 3 節_ニ滋味_ト云ハ 陽本、送仮名・振仮名無し
ノノコキアチハイ

* 4 句義ノ作者―句義_ノ作者
ノ(朱)

* 5 多_レ言_数窮_ト云ハ 陽本・京本並訓点無し
シハク

17頁(5・6章)

* 1 窮困ト云テ、困ハクルシムトヨム也 京本、本行「窮困ト云テクルシム心也」、「困」字左「クルシムトヨム也」と

旁書

* 2 成象章第六―成象章六

- * 3 地ニ譬也—地譬也^(朱)
 - * 4 人ノ先祖ヲ—人先祖ヲ^(朱)
 - * 5 五躰ハ鼻ヨリ出ケル故也—五躰鼻ヨリ出ケル故也^(朱)
- 18頁(6・7章)
- * 1 玄牧ノ門ヨリ—玄牝ノ門ヨリ、底本譌、今、陽本に従う
 - * 2 久ク世ヲ—久ク世^(朱)
 - * 3 引挙テナラテハ—引挙テイラテハ^(朱)
 - * 4 天下ノ人カ—天下人カ^(朱)
 - * 5 先テ以レ官—先テ以レ官^(朱)
 - * 6 長トスルナリ—長トスル也^(朱)
 - * 7 自^ラ求^フニ富ニ貴ニ—自^ラ求^フニ富ニ貴ニ^(朱)
 - * 8 無^レ私云義ニアソハス也—無^レ私云義ニアソハス也^(朱)
- 19頁(8章)
- * 1 此水ノ譬ヲ—此水ノ譬^(朱)
 - * 2 寓言ト云テ—寓言ト云テ^(朱)
 - * 3 賤所ニ不^レ居也—賤所不^レ居也^(朱)
 - * 4 不^レ謙奢ヲ義也—不^レ謙奢ヲ義也^(朱)
 - * 5 水ハ草木ノ上ニ在^テモ—水ハ草木ノ上ニ在^テモ^(朱)
 - * 6 無道ナル所ニハ居也—無道ナル所ニハ不^レ居也、今、底

本の訂正加筆に従う

- * 7 故ニ牝動下人ト云也—故ニ牝動下人ト云也^(朱)
 - * 8 飛フニ曰ニ雌雄ニ走ルニ曰ニ牝牡ニ語アリ 京本、此句、下の「影ハ水ノ内ニアルトアソハス也」句の次にあり
 - * 9 水ノ心ハ—水ノ心^(朱)
 - * 10 与^レ虚不^レ与^レ盈義カ 陽本、送仮名無し
 - * 11 内^レ影照^レ形、不^レ失^ニ其^ノ情^ヲ所カ 陽本、送仮名・振仮名無し
- 20頁(8・9章)
- * 1 平ク義也—平ノ義也
 - * 2 方トヨム也—方トヨミ也^(朱)
 - * 3 冬ハ凝—冬ハ凝^(朱)
 - * 4 応^レ期動所カ—応^レ期動所カ^(朱)
 - * 5 侍^レ而 陽本、附訓無し
 - * 6 揣^レ而銳スル方ハ 陽本、附訓無し
 - * 7 十九年ニ一メクリスル也—十九年ニ一メクルスル也^(朱)
 - * 8 侍ト云ヲ—侍ト云ヲ^(朱)
 - * 9 長ク其国ヲ—長ク其国ヲ^(朱)
 - * 10 後^ニ必^ス弃^ス損ト云ハ 陽本送仮名・振仮名・訓読符無し

* 11 金玉満^リ堂^ニ、莫^シ之^ヲ能^ク守^ルト云ハ―金玉満^レ堂^ニ莫^シ之^ヲ能^ク守^ルト云ハ

* 12 金玉カ我カ満^{トモ}堂 京本「金玉カ我カ満^{テモ}堂^ニ」

* 13 文本ニハナシ―戈本ニハナシ

* 14 遺^ノヲク心也 底本訓「ノコタシ」、陽本「ノコス」、今、
陽本の朱訂に従う

* 15 功成^リ名遂^{ケテ}身退^{クハ}天^ノ之道^{ナリ}ト云ハ 陽本、送仮名無し

* 16 アツカル―アツルカ

21頁(9・10章)

* 1 淫欲ニヲホレタル時―淫欲^ニヲホレタル時

* 2 越ニ帰ナラハ―越^ニ帰^{ナラ}ハ

* 3 美人ヲツレテ―美人^ヲツテ

* 4 五湖ノ水ニ―五湖^ノ水^ニ

* 5 日中移^トト云ハ 陽本、左旁の送仮名無し

* 6 必ス一分宛虧^ル者也―必ス一分宛虧^ル者也、京本「一分

ツ、」

* 7 載^ニ營魄^トト云ハ―載^ニ營魄^ト云ハ

* 8 甘メ有ハ、「メ有」二字は「肴」の譌、陽本、両字やや近

接す

* 9 抱^レ一能無^レ離^乎ト云ハ―抱^レ一能無^レ離^乎ト云ハ

* 10 布施スルハ―布施スハ

* 11 惣^スノ名テ為^レト云ハ 陽本、振仮名無し

* 12 專^シ氣^ヲ致^シ柔^トト云ハ 陽本、送仮名無し

* 13 滌^ク除^ク玄^ノ覽^{スル}ト云ハ 陽本、振仮名・連続符無し

* 14 滌除ク二字ハ―滌除^ク二字ハ

* 15 民^ニ無^キ知善也―民^ニ無^キ知善也

* 16 井ハ岨^テ水飲―井岨^テ水飲

22頁(10・11章)

* 1 終始ノ―終始^ノ

* 2 雌牝ノ、安静柔弱ナルカ如ク―雌牝、安静、柔弱、ナル

カ、如ク

* 3 アキラカナル兒ナリ―アキラカナル兒也

* 4 道ノ明白ナル夏ヲ―道^ノ明白^{ナル}夏^ヲ

* 5 「生長」両字の間、京本、「而モ取テ我カマ、ニセヌワ

不有義也○不宰ト云ワ道万物ヲ生」の二十六字あり、底本

陽本並脱

* 6 道^ノ行^レ徳^トト云ハ 陽本、送仮名無し

* 7 無カ用助ト成ル章也―無カ用助^ト成^ル章也

- * 8 卅ノ幅集ル也―卅ノ幅集ル也(朱)
- * 9 中チ空虚ナルニ依テ―中空虚ナルニ依テ(朱)
- * 10 鞞ト云ハ―鞞ト云、「ハ」無し
- 23頁(11・12章)
- * 1 此孔―此孔(朱)
- * 2 五蔵ノ神也―五蔵神也(朱)
- * 3 弱共扶強ト云ハ 陽本、振仮名・送仮名無し
- * 4 扶強大成也―扶強大成也(朱)
- * 5 得輪転行ト云ハ―得輪転行ト云ハ(朱)
- * 6 アリクナリ―アリク也
- * 7 埴ト云ハ 底本「埴」、「埴」に作る、譌
- * 8 鑿戸―鑿戸以為空ト云ハ―鑿戸以為空ト云(朱)
- * 9 有ノ之以為利ト云ハ―有之以為利ト云ハ
- * 10 「ハ万」の間、京本、「有ハ有為ノ方タ形アル者也万物也為利ト云ワ」の二十字有り、底本・陽本並脱
- * 11 物利ニ於形ト云ハ 陽本、送仮名無し
- * 12 虚无ハ―虚无ハ
- * 13 虚无ノ道ヨリ―虚无ノ道ヨリ
- * 14 五色令目人目盲ト云ハ―五色令目人目盲ト云ハ

- 24頁(12・13章)
- * 1 移心依テ―移心依テ(朱)
- * 2 无声ノ声ヲ―无声ノ声ヲ
- * 3 无声ノ々ト云ハ―无声ノ々ト云ハ
- * 4 无識ノ々―无識ノ々
- * 5 无味ノ々―无味ノ々
- * 6 令人口爽ト云ハ―令人口爽ト云ハ(朱)
- * 7 口妄言ト云ハ―口妄言ト云ハ(朱)
- * 8 令人發狂ト云ハ―令人發狂ト云ハ、今、底本の加墨訂正に従う
- * 9 泄精外―泄精外(朱)
- * 10 五蔵ノ性也―五蔵性也(朱)
- * 11 寵辱若驚ト云ハ―寵辱若驚ト云ハ(朱)
- * 12 貴大患若身也―貴大患若身也(朱)
- * 13 如臨危ト云ハ 陽本、訓点無し
- * 14 万丈ノ淵ヲ―万丈淵ヲ(朱)
- * 15 坐吾有身ト云ハ―坐吾有身ト云ハ(朱)
- * 16 吾無身ト云ハ―吾無身ト云ハ、京本附訓「ナイカシラニスル」、レ点無し

25頁(13・14章)

- * 1 金石ノ間ニモ―金石^(朱)間ニモ
- * 2 无^ニ緑色^一モホトニ―無^ニ緑色^一モホトニ
- * 3 曰^レ希^ト云ハ―日希^ト云ハ
- * 4 曰^レ微^ト云ハ 陽本、附訓無し、底本、*34の「曰」
- 字「日」に作る、譌、今、「日」に訂す
- * 5 似^以神^ト云ハ―似^レ神^ト云ハ、今、底本の加筆訂正に従う
- * 6 混^ア而^テ為^レ一^ト云ハ 陽本、振仮名・送仮名無し
- * 7 其上^レ不^レ瞰^ト云ハ―其上^レ不^レ瞰^ト云ハ
- * 8 在天^上ト云ハ 陽本、訓点無し
- * 9 其下^ニ不^レ昧^ト云ハ 陽本、振仮名・送仮名・訓読符無し
- * 10 繩^一々^ト云ハ 陽本、送仮名・振仮名・連続符無し
- * 11 無^一状^ノ之^カ状^ト云ハ 陽本、送仮名・振仮名・連続符無し
- * 12 無^ニ物^ノ之^カ象^ト云モ 陽本、訓点無し
- * 13 悦^ト云也―悦^ト云也
- * 14 悦^ト恍^ト同心也―悦^ト恍^ト同心也

26頁(14・15章)

- * 1 随^ト云ナリ―随^ト云也
- * 2 古ノ道也御アルト云ヲ執テ―古ノ道テアルト云ヲ執テ、

今、底本の見消に従り「也御」兩字削除

- * 3 三ノ心アリ―三^(朱)心アリ
 - * 4 詞モ不^レ及^所カ―詞モ不^レ言^所カ
 - * 5 父母所生ノ目―父母所生ノ目
 - * 6 世上ノ視ル目ニ非也―世上ノ視ル目^(朱)ニ非也
- 27頁(15章)
- * 1 前ヘニ得^{タル}道―前ヘニ得^{タル}道^(朱)
 - * 2 拘^カ法度ヲ行フ也―拘^カ法度ヲ行フ也^(朱)
 - * 3 濁^トモ―濁^トモ
 - * 4 以^シ静^之徐^情ト云ハ―以^シ静^之徐^情ト云ハ
 - * 5 安カニ以久^ノ之^徐生^ト云ハ―安カニ以久^ノ之^徐生^ト云
 - * 6 如^レ故^不ニ新成^ト云ハ―如^レ故^不ニ新成^ト云ハ、今、底本の朱訂に従う
- 28頁(16章)
- * 1 守^レ道―守^レ道^(朱)
 - * 2 作音也 京本「作^サノ音也」
 - * 3 五^以觀^ニ其^復ト云ハ―吾^以觀^ニ其^復ト云ハ
 - * 4 無^レ私^クガイ也―無^レ私^クガイ也^(朱)

29頁 (17・18章)

* 1 少昊顓頊帝譽堯舜也―少曰天顓頊帝譽堯舜也

* 2 禁ハ々制―禁ハ禁制

* 3 君子ノ枢機ナルホトニ 陽本「機」もと恐らくは「軌」、

此字に重ねて「枢」字を書す

* 4 不レ知廉ト云ハ―不レ知廉ト云ハ

30頁 (19・20章)

* 1 還淳章第十九―還淳章、「第十九」三字無し

* 2 結レ繩政ヲスル也、倉頡ハ 陽本、「倉頡ハ」以下改行

* 3 絶^{タテハ}仁^ニ義^ニ―絶^{タテハ}仁^ニ義^ニ―

* 4 道ニ不^{カテハ}合^レ―道ニ不^{カテハ}合^レ―

* 5 唯^ト之^ト与^レ何^レ相^レ去^レ 幾^レ何^レ―唯^ト之^ト与^レ何^レ相^レ去^レ幾^レ何^レ

* 6 唯ト何トアリ―唯ト阿トアリ(もと「何」に作り、ニン

ベンに加筆してゴザトヘンに訂す)

31頁 (20章)

* 1 近^ニテ令^レ色^ニ―近^ニテ令^レ色^ニ―

* 2 牛羊豕ノ―牛羊豕ノ

* 3 世門ヲ見レハ―世間ヲ見レハ

* 4 地ノ陰モ―地陰モ

* 5 伯ト云ハ―伯ト云ハ

* 6 如^ニ嬰兒^ノ之^レ未^レ咳^トト云ハ(振仮名に朱の見消あり) 陽

本、振仮名無し

* 7 不^レ移^ル如^ク也―不^レ移^ル如^ク也

32頁 (20・21章)

* 1 タタヨウ也―タ、ヨウ也

* 2 似^レ無^レ所^レ止^云心也 京本「似^レ無^レ所^レ止^云心也」

* 3 有^一以^ト云ハ―有^一以^ト云ハ、今、底本の朱訂に従う

* 4 孔^ノ徳^ノ之^レ容^トト云ハ―孔^ノ徳^ノ之^レ容^トト云ハ

* 5 唯^ト道^ニ是^レ従^フト云ハ 陽本、振仮名・送仮名無し

* 6 道^ノ之^レ為^レ物^ト云ハ 陽本、振仮名・送仮名無し

* 7 往^ニ来^ス於^レ其^レ所^ニト云ハ 陽本、訓点無し

* 8 悦^兮ト云ハ―悦^兮ト云ハ

33頁 (21・22章)

* 1 如^レ其^レイツクマテモ―如^レ其^レイツクマクモ

* 2 微妙^ノ心也―微妙^ノ心也

* 3 其^レ名^不去^ト云ハ 陽本、送仮名無し

* 4 益謙章 第二十二 陽本・京本、空格無し

* 5 易ノ語也―易ノ語也、京本、旁記無し

- * 6 多則感^感ト云ハ一多則惑ト云ハ、今、底本の加筆訂正に従う
- * 7 式ト云ハ一或ト云ハ
- * 8 自ラ我身ノ一自ラ我身^{ノ(朱)}
- 34頁(22・23章)
- * 1 治^メ国^ラ政^ツスル時ハ 陽本、送仮名並朱
- * 2 告^テ申^サウ^スルト一告^ケ申^サウ^スルト
- * 3 不^ス自^ニ是^ニ彰^ルト云ハ 陽本、送仮名無し
- * 4 不^ス自^ニ伐^ニ故^ニ有^レ功^ト云ハ 陽本、送仮名無し
- * 5 不^ス自^ニ矜^ニ故^ニ長^ト云ハ 陽本、送仮名無し
- * 6 賢人トハ与不肖一賢人^{トハ}与不肖^一
- * 7 無^ク能^ク与不^レ争^者一争^上無^ク能^ク与不^レ争^者一争^上
- * 8 敢不^レ毀傷一敢不^レ毀傷^一
- * 9 一タヒ為^レ伸^一一タヒ為^レ伸^一
- * 10 虫ヲ蠖ト云ナリ一虫ヲ蠖ト云也
- * 11 希^レ言^ハ自^ラ然^リト云爰カ虚無義也一希^レ言^ハ自^ラ然^リト云爰カ
- 虚無義ナリ
- * 12 四時行^ル一四時行^ル
- * 13 不^レ終^レ朝^ト云ハ 陽本、訓点無し
- * 14 驟^シ雨^ハ 陽本、振仮名・連続符無し

- 35頁(23・24章)
- * 1 有^レ過^テ者^也一有^レ過^者也
- * 2 道モ亦樂^フ得^ト云ハ一道モ亦樂^フ得^ト云ハ
- * 3 物^ノ類^ノ相^ノ同^ノ声^ノ相^ノ応^ト云ハ 陽本、振仮名・送仮名・
連続符・訓読符無し
- * 4 本経ニハ、苦恩章トアリ、以異本ニ勘也 京本、此十六
字無し
- * 5 跛^者不^レ立^ト云ハ一跛^者不^レ立^ト云ハ
- * 6 跨^ト云ハ 陽本、振仮名「アツトコフ」、京本、陽本に
同じ
- * 7 跨^者ハ不^レ行^者也 陽本、送仮名・振仮名・訓読符無し
- * 8 自^見者^不明^ト云ハ 陽本、送仮名・振仮名・訓読符無し
- * 9 善^ト思^フ者^ノハ一善^ト惡^フ者^ノハ
- * 10 応^レ道^思也 陽本、送仮名「ト」は朱
- * 11 其^レ於^レ道^也日^餘食^行アリト云ハ一其^レ於^レ道^也
- 日^餘食^行アリト云ハ
- 36頁(25・26章)
- * 1 在^レ人^無音^声一兒^也一在^レ人^無音^声一兒^也
- * 2 不^レ改^トト云ハ一不^レ改^ト云ハ

* 3 在陽不焦—在陽不焦

* 4 「焦吾」兩字の間、京本、「託陰不腐何夏ヲモ無不

貫穿〇吾不知其名ト云ワ」の二十字有り、底本・陽本

並脱

* 5 強ト云ハ 陽本、振仮名無し

* 6 道ニマシテ大ナル者ナキ故也—道マシテ大ナル者ナキ故

也

* 7 布ニ氣天地—布ニ氣天地

* 8 立反我身在者ナルホトニ—立反我身在ル者ナルホ

トニ

* 9 重為輕根—ト云ハ—重為輕根ト云ハ

* 10 輕者根本ナルホトニ—輕者根本ナルホトニ

* 11 輕ハ葉重ハ根也—輕葉重ハ根也

37頁(26・27章)

* 1 靜為躁君—ト云ハ—靜為躁カ君ト云ハ

* 2 ヨンテモ善キ也、輜重ハ 陽本、「輜重ハ」以下改行

* 3 万一乘之主ト云ハ 陽本、送仮名・連続符無し

* 4 善行者 陽本、送仮名無し

* 5 求之於身ト云ハ—求之於身ト云ハ

* 6 善言者ト云ハ 陽本、送仮名無し

* 7 無瑕瓊ト云ハ—無瑕瓊ト云ハ

* 8 メドノトニ—メドノナ占ニ

* 9 善閉者ノト云ハ—善閉者ノト云ハ

* 10 関鍵ナイホトニ—関鍵ケイホトニ

* 11 門戸ノ有関鍵—門戸ノ有関鍵

* 12 善結者ト云ハ 陽本、振仮名「カタナス」

* 13 以繩ヲカタク—以繩カタク

38頁(27・28章)

* 1 結トヨムハ 陽本振仮名「カタナス」、京本「カタナス」

* 2 是謂襲明ト云ハ—是謂襲明ト云ハ

* 3 不貴其師ト云ハ—不貴其師ト云ハ

* 4 「也言」兩字の間、京本、「注ニ無所使ト云ワ坊主カ弟

子ヲ無所使也〇注ニ」の二十字有り、底本・陽本並脱

* 5 反樸章 第二十八 陽本・京本並空格無し

* 6 知其雄守其雌—為天下谿ト云ハ—知其雄守其雌

其雌—為天下谿ト云ハ

* 7 能ク守ル則ンハ 京本「能守則ンハ」

39頁(28・29・30章)

- * 1 嬰兒^{シニウツト} 愾然^{シニウツト} 嬰兒ノ愾然 振仮名「シユウ」、京本「シヨウ」
- * 2 御制ト云ハ―御制ト云ハ、今、底本の旁記訂正に従う
下上
- * 3 將^ニ欲^ニ取^ニ天下^ニ而^ニ為^ニ之^ト云ハ 陽本振仮名・送仮名無し
- * 4 吾見^ニ其不^レ得^レ已^ト云ハ―吾見^ニ其不^レ得^レ已^ト云ハ
- * 5 為^{スル}者敗^レ之^ト云ハ―為^{スル}者敗^レ之^ト云ハ
- * 6 「為^{スル}者敗^レ之^ト云ハ、有為^{スル}者ノハ」より「物ハ万物也」まで 陽本此間誤写、字句前後錯倒、移行符(墨筆)を以つて訂正さる、陽本本行は次の如し(返点・送仮名は略す)
為者敗之トノ云ハ、有為ヲ、執教者ハ、失情実也、故物或行随ト云ハ、物ハ。ノ云ハ、有為ヲスル者ハ、敗吾性也、質ハ、性ノ字心也、執者失之トノ。万物也
即ち、「云ハ、有為ヲ」の同文が、兩行頭に來たことに依る転写の誤りで「執教者ハ」以下の十八字と「スル者ハ」以下の二十字が前後入替っている。
- * 7 執者失^レ之 陽本、送仮名無し
- * 8 故物^ニ或^ニ行^ニ随^ニト云ハ 陽本、送仮名無し
- * 9 或随余ト云マテ―或^ニ隨^ニ余ト云マテ、今底本の旁記校字に従う

- * 10 以^レ道^ヲ佐^ニ人^ノ主^ト云ハ 陽本、訓点無し
- * 11 其事^ノ好^ニ還^ト云ハ 陽本、訓点無し
- * 12 強大ニセヌ義也―強大セヌ義也^(ニ先)
- 40頁(30・31章)
- * 1 故善^ハ者果^ニ而^レ已^ト云者 陽本、訓点無し
- * 2 当^ニ果敢^ニ而^レ已^ト不^レ休也ト―当^ニ果敢^ニ而^レ已^ト不^レ休也ト
- * 3 不^レ敢^ニ以^レ取^ニ強焉ト云ハ―不^レ敢^ニ以^レ取^ニ強焉ト云ハ
- * 4 偃武章 第三十一 陽本・京本空格無し
- * 5 「貴左」の前、京本、「○不^レ処ト云ワ老子如キノ有^レ道人ハ其国ニ不^レ処也○居則」の二十二字有り、底本・陽本並脱
- 41頁(31・32章)
- * 1 恬^ヲ憺^ト云ハ 陽本、振仮名無し
- * 2 恬^ハ静也 陽本、振仮名無し
- * 3 憺^ハ安也 陽本、振仮名無し
- * 4 方物生ル位也―万物生ル位也
- * 5 「不^レ殺」の前、京本、「ト云位也人ヲ殺^レ処テハ殺^レヲ貴程ニ不^レ殺者ノハ賤キ也爰テハ」(「殺者ノハ」四字は旁記補入)の二十七字有り、底本・陽本並脱

* 6 言^ハ、以喪礼^フ之^リト云ハ一言^{コト}、以喪礼^フ之^リト云ハ

* 7 聖徳章 第三十二 陽本・京本空格無し

* 8 弛^{ユル}ト云ハ陰ノ方也 陽本、振仮名無し、京本亦無し

* 9 主人^{シタカフ}ニ服者ナルホトニ一主人^{シタカフ}ニ服者ナルホトニ、京本、

陽本に同じ

42頁(32・33章)

* 1 下ス必也一下ス心也

* 2 莫^{トモ}之^レ合^ト一ト云ハ一莫^{トモ}之^レ令^ト一ト云ハ、底本の加筆訂正に従う

* 3 既有ト云ハ 京本、「既有」の間本行に「コトくクニ」

とあり

* 4 悪ニ情欲アルカデコソアレ 陽本「デ」の濁点は朱

* 5 身ノ辱也一^{身ノ辱也}(朱)

* 6 弁徳章 第三十三 陽本・京本空格無し

* 7 強万ト云ハ一強^{コト}力ト云ハ、底本譌

43頁(33・34章)

* 1 死ヌル^ル一死ヌルトモ

* 2 「不^レ守^レ道」の前、京本、「守^レ道不^レ妄者^ハ寿^キ」^道道理也

老テ百ハカリニテ死ヌルトモ」の二十二字あり、底本・陽

本並脱

* 3 「汜^ハ兮」の前、京本、「功成而不名有ト云^ハ勉^ニカ、ル也

成ノ字ハ何クニテモ成就ト心得ヘキ也○」の三十一字有り、

底本・陽本並脱

* 4 底本、本文行末に及び、改行の意有無不明、陽本は改行、

今、陽本に倣つて改行す

* 5 如^レ注可^レ見也一^レ如^レ注可^レ見ナリ

* 6 養^テカルト云テ一^レ養^テカルト云テ、今、底本の校字に従

う

* 7 能成^ニ其大^ト云ハ一^レ能成^ニ其大^ト云^ハ(朱)

* 8 以^ニ吾身^ヲ一^レ以^ニ吾身^ヲ一^レ(朱)

* 9 人^ヲ師^ヲ導^フホトニ一^レ人^ヲ師^ヲ導^フホトニ、陽本、一点の上に

重ねて朱の訓読符を加筆

* 10 以^レ身師^ヲ導^フト云ハ一^レ以^レ身師^ヲ導^フト云ハ

* 11 以^レ身師^ヲ導^フ心也一^レ以^レ身^ヲ師^ヲ導^フ心也

44頁(35・36章)

* 1 客^{タヒ}久^ク其^レ所^ヲ善^ケレハ一^レ客^{タヒ}久^ク其^レ所^ヲ善^ケレハ、京本「客^タ

人ノ其^レ勉^カ善^レハ」、底本譌

* 2 餌^エハニスル也一^レ餌^エハニスル也

* 3 微^ニ其^レ効^ヲ明^{ナル}義一^レ微^ニ其^レ効^ヲ明^{ナル}義

* 4 將欲^ニ翁^レ之必周張^固之ト云ハ一將欲^ニ翁^レ之必固張^ニ之ト云

ハ、本経を案じ底本の校字に従う

* 5 謀^リ夏^也一謀^リ下^也

* 6 亦翁^{トモ}ヨム也 京本、振仮名無し

* 7 翁^{トヨム}凶也 京本、振仮名無し

45頁 (36・37章)

* 1 此四夏^ト云ハ一以^此四夏^ト云ハ

* 2 中々ニヨワキヲハ一中々ニヨワキヲハ、今、底本の朱訂
に従う

* 3 後ハ一後^テ

* 4 二度ト不^レ抱^也一二度ト不^レ抱^也、京本、振仮名無し

* 5 如^レ我^効スヘキト云心也一如^レ我^効スヘキト云心也 京

本「効」

* 6 不^レ欲^以静^ト云ハ一不^レ欲^以静^ト云ハ、京本、送仮名無し

し

* 7 不^レ欲^不止^一不^レ欲^不止、京本「不^レ欲^不止」

* 8 上巻本文は終葉表第十二行に及び末一行を残して終る、

尾題は裏葉ほぼ中央に題さる、陽本、本文は表葉第七行に
て終りほぼ一行を隔して尾題あり、京本は尾題無し

46頁 (38章)

* 1 亦一儀^ハ一亦一義^ハ

* 2 上徳ト云ナリ一上徳ト云也、陽本、此句行末に及び行が

改まる、改行の意有無不明

* 3 養^ニ人性^命一タツシホトニ一養^ニ人性^命一タツシホトニ

* 4 不^レ徳ト云ナリ一不^レ徳ト云也

* 5 〇注ニ太古ト云ハ 陽本、改行せず

* 6 燧人氏歟 京本、此旁記無し

* 7 無^ニ名号^ト云ハ一無^ニ名号^ト云ハ

* 8 〇是以有^レ徳ト云ハ 陽本、改行せず

* 9 其君ノ徳上徳ニ不^レ及ホトニ一其君ヲ徳上徳ノ不^レ及ホト

ニ

* 10 〇注ニ号諡ト云ハ一〇注ニ号諡ト云ハ

* 11 無^レ徳ナリ一無^レ徳也

* 12 上ヲ再釈スルナリ一上ヲ再釈スル也

47頁 (38・39章)

* 1 〇而無^ニ以為^ト云ハ 陽本、改行せず

* 2 〇上仁為^レ之ト云ハ一〇上仁為^レ之ト云ハ

* 3 而無^ニ以為^ト云ハ一而無^ニ以為^ト云ハ

- * 4 吾カマ、ニ—吾カマ、(ニ朱)
- * 5 初成事立、無_レ以執為_二ト云ハ—功成夏立無_レ以執為_二ト云ハ
- * 6 吾カマ、ニセヌナリ—吾カマ、ニセヌ也
- * 7 為_レ義斷_一割スル也 陽本、送仮名・振仮名・連続符無し
- * 8 物ヲコトハル方也—物ヲコトワル方也
- * 9 為_レ己殺_レ人成_レ威_一 ナント、スルナリ—為_レ己殺_レ人成_レ威_一 ナント、スル也
- * 10 賦_下ト云ハ 陽本、送仮名・振仮名無し
- * 11 一睦ハ—一睦(ハ朱)
- * 12 名ニ上ノ字ヲ—各ニ上ノ字ヲ
- * 13 道ヲ能ク行_レハ—道ヲ能ク行_レフハ
- * 14 則_レ攘_レ臂_一而仍_レ云ハ—則_レ攘_レ臂_一而仍_レ云ハ
- * 15 諸侯ト諸侯トノ礼ヲ—諸侯ノ々々トノ礼ヲ
- * 16 帛ハキヌナリ—帛ハキヌ也
- * 17 ○忠信ト云ハ 陽本、改行せず
- * 18 乱首ト云ハ賤_レ質_レ貴_レ文_一、ホトニ—礼首ト云ハ賤_レ質_レ貴_レ文_一 乱
- ホトニ
- * 19 邪乱日ニ生也—邪_一乱日ニ生也 ニスル
- * 20 アルナリ—アル也
- * 21 注ニ不_レ尚_レ言_一—註ニ不_レ尚_レ言_一
- * 22 「法本ニ」より「義也」まで十五字 底本・陽本、次頁上段第一・二行付近の行間に加筆、京本は本行此箇処にあり、京本、「法本」を「法_レ本」と加点点
- 48頁(39章)
- * 1 法_レ本義也—法_レ本義ナリ
- * 2 注ニ昔ハ往也ト云ハ—注_ニ昔ハ往也ト云ハ (ニ朱)
- * 3 天得_レ一以清_一ト云ハ 陽本、送仮名・振仮名無し
- * 4 不_レ得_レ一—不_レ得_レ一 (ニ朱)
- * 5 不_レ動_レ揺_一—不_レ動_レ揺_一
- * 6 注ニ垂_レ象ト云ハ—註_ニ垂_レ象ト云ハ
- * 7 象ハ日月星辰ナリ—象ハ日月星辰也
- * 8 ○神得_レ一以靈ト云ハ 陽本、改行せず
- * 9 谷得_レ一以盈ト云ハ 陽本、送仮名・振仮名無し
- * 10 不_レ得_レ道_一—不_レ得_レ道_一 (ニ朱)
- * 11 其_レ致_レ之 京本、「致」に「イマシムル」と振仮名
- * 12 戒ナリ—戒也
- * 13 天無_レ以清_レ將_レ恐_レ裂_一ト云ハ—○天無_レ以清_レ將_レ恐_レ裂_一ト云

ハ

* 14 注ノ但シト云字ヨリ註ノ但シト云字ヨリ

* 15 ヨマセルナリヨマセル也

* 16 用レ事ト云ハ用レ夏ト云(朱)

* 17 不レ可但欲清明無ニ已時ト云ハ不レ可但欲清明無ニ

無ニ已時ト云ハ

* 18 クタクル心也クダクル心也

* 19 是レハ皆地ノ司トル也是レハ皆地ノ司トル也

49頁(39・40章)

* 1 王相役一王相没

* 2 谷モ恐竭ナリ谷モ恐竭也

* 3 顛ト同也(朱)顛ト同也

* 4 又エヒスノ也 陽本本行、此七字無く、行間に「白屋

ト云ハ、エヒスノ、夏也」と旁記

* 5 管叔蔡叔雀叔也雀叔管叔蔡叔鶴叔也

* 6 此ノ幅也冊歟(朱)此ノ幅也、京本「卅」カ、或は「世」とも読

める

* 7 臣下集ルナリ臣下集ル也

* 8 此非ニ以賤為本乎一此非ニ以賤為本乎

* 9 上声ナリ上声也

50頁(40・41章)

* 1 反ト道ト一也 陽本・京本、振仮名無し

* 2 弱者道也ナリ也用ト云ハ 陽本・京本、送仮名無し

* 3 天下物生ニ於有ト云ハ天下物生ニ於有ト云ハ、京

本訓点、陽本に同じ

* 4 天ハ陽也地ハ陰也一(朱)天ハ陽也地陰也

* 5 有生ニ於無ヨリト云ハ一有生ニ於無ヨリト云ハ、京本「有

生ニ於無ト云ワ」

* 6 有リハ天地也一(朱)有リ天地也

* 7 注ニハ蝸飛ト云ハ一注ニハ蝸飛ト云ハ(朱)

* 8 蠕動ト云ハ 陽本・京本、振仮名・連続符無し

* 9 羽ハ無キ虫ノ一羽ハ無キ虫(朱) 華(朱)

* 10 本ハ勝ニ於華ト云ハ一本ハ勝ニ於葉ト云ハ(朱)

* 11 道ヨリ出タル程ニ道ヨリ出タルホトニ(朱)

* 12 同異章四十一(「四十一」三字は補入) 陽本「四十一

三字無し

* 13 於レ土上中下ヲ立也一(朱)於レ土上中下ヲ立也

* 14 「○莊子曰」より「笑義也」までの二十一字、底本・

陽本共に本行に無く、底本は、後段「大笑体ハ云々」の段末「者ニハ、笑レタルカ云々」の右旁行間に補筆、陽本は更に後段の「建徳ト云ハ云々」附近、表葉書口近くの余白に補入加筆、今、京本に拠つて此処に挿入す、但し、原経注並に本抄叙述次第を案ずれば、「大笑体ハ」の段末に配するのが妥当、底本の加筆個処が順当

* 15 勸而行^{メテ}之ト云ハ「勸而行^レ之ト云ハ

* 16 中^ナ士者聞^テ道若^ク存若^ク亡^{セルカ}ト云ハ 陽本、送仮名・連続符無し

* 17 治テ、身ヲ長存也―治^テ身長存也^(朱)

* 18 注欣然ト云ハ―欣然ト云ハ^(朱)

* 19 然ハ付字也―然^ハ付字也^(朱)

* 20 惑情欲下也―惑情欲亡也、陽本「亡」字末二画を「ト」の両画に作り、「ト」字に近い、他所の同字も同様、京本「惑^マ情欲^マ亡也」

* 21 アルナト、云テ―アルト、云テ^(朱)

51頁(41章)

* 1 若^レ揄^ヒト云ハ―若^レ揄^ヒト云ハ

* 2 コチヘ向フ如ク―コチヘ向イ加ク

* 3 質朴ノ人ハ―質朴^(朱)ノ人ハ

* 4 五色ノ渝^カ浅^{ヘリ}―五色ノ渝^{アサ}浅^{ヘテ}

* 5 「本経ニ不笑レト云」より「不^レ笑レト点スルナリ」まで三十八字、底本は、前段「大笑体ハ云々」の段末近くの行間(前頁*14補入文の次行間)に補入、陽本もほぼ同じ箇処に当る裏葉小口近くの余白(前頁*14の補入文に隣接する)に加筆補入さる、今、京本に従い此処に挿入す、但し、前頁*14に同じく、底本の如く、「大笑体ハ云々」の文段に配するのが順当である

* 6 所笑レト云 京本、「所^レ笑^ハト云」

* 7 不^レ笑レト点スルナリ 京本、「不^レ笑^ト点スル也」

* 8 如此太正人ハ 陽本、返点無し、京本亦無し

* 9 大^ハ器^ハ晩^ハ成^トト云ハ 陽本、送仮名・振仮名・連続符無し

* 10 人ナントト―人ナント、

* 11 九万人シテ―九万人ノ

* 12 尚書ノ序ノ―尚書ノ序^(朱)

* 13 亦ノ義ハ―亦^ノ義^ハ

* 14 此鼎ニ―此鼎^(朱)

* 15 大^ハ音^ハ希^レ音^ト云―大^ハ音^ハ希^レ音^ト云、底本の訂正加筆に

従う

* 16 雷ト同心ナリ―雷ト同心也

* 17 大_レ象無_レ形ト云ハ―大象無_レ形ト云ハ

* 18 天ノ象テハ―天ノ象チハ

* 19 無_レ容―無_レ容、京本「容」、「カタチツクロイスル」と
容(朱)

旁訓あり

* 20 此人モ無_レ形容ニ也―此人モ無_レ形容ニ也

* 21 道_レ隱レテ―道_レ隱レテ

52頁(41・42章)

* 1 道善_レ貸_レ且成ト云ハ―道善_レ貸_レ且成ト云ハ

* 2 道生_レ一ト云ハ 陽本、振仮名無し

* 3 一_レ氣_レ發動_レ―一_レ氣_レ發動_レ

* 4 一_レ生_レ二ト云ハ 陽本、送仮名無し

* 5 天_レ施_レ地_レ化_レ 陽本、送仮名「シ」無し

* 6 悉ク出_レケレ_レ―悉ク出_レケレトモ(濁点は朱)

* 7 万_レ物_レ負_レ陰_レ抱_レ陽_レト云―万_レ物_レ負_レ陰_レ抱_レ陽_レト云

* 8 陽_レハ_レ生_レ養_レノ_レ氣_レト云テ―陽_レハ_レ生_レ養_レノ_レ氣_レト云テ

* 9 物_レ生_レスル_レ云也―物_レ生_レスル_レ方也

* 10 沖_レ氣_レ以_レ為_レ和_レト云ハ 陽本、送仮名・連続符無し

* 11 和柔ヲナス者也―和柔_ヲナス者也

* 12 負_レ陰_レ道_レ理_ヲ―負_レ陰_レ道_レ理_ヲ

* 13 虚ナル所アルニ依テ―虚ナル所アル依テ

53頁(42・43・44章)

* 1 依_レ有_レ道_レ久_レ生_レ也―依_レ有_レ道_レ久_レ生_レ也

* 2 和柔ナルハ―和柔ナレハ

* 3 物_レ或_レ損_レ之_レ而_レ益_レト云ハ 陽本、送仮名無し

* 4 上_レノ_レ裏_レラ也―上_レノ_レ裏_レラ也

* 5 「○半領トハ」より「注スル也」まで二十五字、底本・

陽本共に本行には無く、下の立戒章第四十四「名与_レ身、

孰親ト云ハ云々」の段、末尾部分の余白(料紙裏葉第一行

右の書口に近く)に補入、今は京本に従い此処に配す、但

し、明らかに錯簡、「半領トハ、如此書也」の一文は、立

戒章第四十四の「半含ノ玉」(本頁下段第十七行)に繋る

べきで、「我ト云ハカシコ、テハ中衣ト注スル也」の十七

字は、京本の如く「我」は「戎」に、「中」は「甲」に作

るべく、儉欲章第四十六の「戎馬」(54頁下段第十五行)

に繋るべきか

* 6 我ト云ハカシコ、テハ中衣ト注スル也―我ト云ハカシコ

ニテハ中衣ト注スル也

* 7 人ノ所^レ教ト云ハ一人ノ所^レ教ト云^(朱)

* 8 ノリノヲシヘ也一ノリノヲシヘン也^(朱)

* 9 王法^ニ所^レ殺ト云ハ王ノ法度^ニ背クニ依テ殺也一王法所^レ殺ト云ハ王ノ法度^ニ背ク依テ殺也^(朱)

* 10 吾將^ニ以^テ為^ス教父ト云ハ一吾將^ニ以^テ為^ス教ノ父ト云ハ

* 11 馳^テ聘ト云ハ 陽本、振仮名・連続符無し

* 12 ●不言教ト云ハ一○不言教ト云ハ

* 13 孰^レ親ト云ハ 陽本、送仮名無し

* 14 身与^レ貨孰多トハ一身与^レ貨孰多トハ

* 15 得^レ物得ル方也 陽本、訓点並朱

54頁(44・45・46章)

* 1 却ハヲヒヤカス也一劫^(朱)ヲヒヤカス也

* 2 此玉ヲ取ヘキ為メニ一此玉取ヘキ為メニ^(朱)

* 3 知^レ足ト云ハ 陽本、返点無し

* 4 財少ナケレ^レ財少ナケレトモ

* 5 「○知足^ル足ルヲト云ハ」より本章末まで四十三字 陽本、

前段末句「耳目ニカ、ル也」を以つて本章を終える、此四

十三字は本章末行下の余白に小字を以つて加筆補入(本文

同筆)、但、此文は儉欲章第四十六の経文「知足之足」(55

頁上段第二行)に対応する注文と見做され、明らかに底本

の錯簡である

* 6 大成ト云ハ一大成ト云^(朱)

* 7 不^レ弊ト云ハ 京本「弊」、「ツイエ」と振仮名

* 8 ツキル「ナキ也」ツキル更ナキ也

* 9 弊トモヨム也 京本「弊」、「ツキル」と振仮名

* 10 如^レ屈ト云不^レ与^レ俗人争^レ屈折ト云テ一知^レ屈ト云^(朱)

不^レ与^レ俗人争^レ屈折ト云テ

* 11 躁^ニ勝^ル寒ト云ハ 陽本、送仮名・振仮名無し

* 12 躁^ニ疾^ニ上ト云ハ 陽本、送仮名・訓合符無し

* 13 葉モ盛大ナル「ハ」葉モ盛大ナル更ハ

* 14 ハヤ道ナントノ類也一ハヤ道ナンノ類也^(朱)

* 15 糞ト云ハ 陽本、振仮名無し

* 16 戒ト云ハ一戒馬ト云ハ、今、底本の訂正加筆に従う^(朱)

* 17 馬メンナント「フ」馬メンナント^(朱)

* 18 野外ヲ云、郊原ナント、云ホトノ心也 京本「野外ヲ

云^レ郊原ナント云ホトノ心也」と「郊」に返点を附す、妥

当なり

- * 19 久ク居テ不還躰也―久ク居テ不還躰ナリ
- 55頁(47・48・49章)
- * 1 見_ニ天道ト云ハ―見_ニ天道ト云_ハ (朱)
- * 2 ヒトシキ故也―ヒトシテ故也 (朱)
- * 3 貫ト云ハ―實ト云ハ、京本「貫」、「ウカツ」と振仮名 (朱)
- * 4 ツラナラヌ心ナリ―ツラナラヌ心也 (朱)
- * 5 其出於遠ト云ハ―其出_レ於遠ト云ハ
- * 6 如_レ此人ノ上ヲ見テ―如_レ此人ノ上ヲ見テ (朱)
- * 7 天下ノ夏ヲ知ル_レ―天下ノ_レヲ知ル夏 (朱)
- * 8 名クルハ―名クル (朱)
- * 9 家給ト云ハ―家給ト云 (朱)
- * 10 為_レ学曰益ト云ハ―為_レ学曰益ト云ハ、今、底本の訂正加筆に従う
- * 11 「曰情欲益也」の次、京本「○為道日損ト云ハ自然道ヲスレハ日ニ情欲ヲ損也」の二十一字あり、底本・陽本並脱
- * 12 自然ノ道ヲスレハ―自然道ヲスレハ (朱)
- * 13 恬ト云ハ 陽本、振仮名無し (朱)
- * 14 任徳章 第四十九 陽本・京本並空格無し
- * 15 聖人無_ニ常心ト云ハ―聖人無_ニ常心ト云ハ
- * 16 若_ニ自_レ無_レ心ト云ハ―若_ニ自_レ無_レ心ト云ハ (朱)
- 56頁(49・50・51章)
- * 1 无_レ心ヤウニ見タト云心ナリ―無_レ心ヤウニ見タト云心也 (朱)
- * 2 教ヲ成ス義也―教ヲ成義也 (朱)
- * 3 怵_レ々ト云ハ―怵_レ々ト云ハ、京本附訓「チユツ」 (朱)
- * 4 不_ニ敢_テ驕_リ奢_ラ 陽本、送仮名無し (朱)
- * 5 渾_ニ其_レ心ト云ハ―渾_ニ其_レ心ト云 (朱)
- * 6 聖人ハ独見ノ明アレトモ―聖人ハ独見明アレトモ (朱)
- * 7 渾_ニ其_レ心_ニ義也―渾_ニ其_レ心_ニ儀也
- * 8 暫ク和光同塵ノ義ナリ―暫ク和光同塵ノ義也
- * 9 注_ニ其_レ耳_ノ自_レト云ハ 陽本、訓点無し (朱)
- * 10 注音アリ 底本、此四字脱、京本、注「シユ」と振仮名
- * 11 視聴ク_レヲナス也―視聴ク_レヲナス也
- * 12 京本、本章(四十九章)末「孩_ハ憐_ム方也 聖人ノ百姓ヲ愛」の十三字あり、但、此末七字右旁に見消を附す
- * 13 此十三ノワサ也―此十三_ノワサ也
- * 14 夫何故哉ト云ハ 陽本、送仮名無し (朱)
- * 15 以_ニ其_レ生_レ生_レ厚ト云ハ 陽本、送仮名無し (朱)
- * 16 皆情欲_レ求_レ生_レ也―皆情欲_レ求_レ生_レ義也 (朱)

- * 17 蓋聞ト云ハ―蓋聞ト云ハ
- * 18 善撰生ト云ハ―善撰生ト云ハ
- * 19 青ナリ―色青也
- * 20 キリヤフラレルヲ―キリヤフラレル変ヲ
- * 21 布氣ト云ハ―有氣ト云ハ
布(朱) ハ(朱)
- * 22 氣ヲ畜養スルヲ―氣ヲ畜養スル変ヲ
氣(朱) 畜(朱)
- 57頁(51・52章)
- * 1 為ニ万物ニ作ニ寒暑勢ニ―為ニ万物ニ作ニ寒暑勢
- * 2 驚動ト云ハ―驚動ト云ハ
- * 3 尊ニ敬道也―尊ニ敬道也
- * 4 夫莫ニ之命ト云ハ 陽本、送仮名無し
- * 5 告ゲハセ子ト云ハ―告ゲハセ子トモ
- * 6 影ニ之如ニ影響ト云 陽本、送仮名・訓読符無し
- * 7 影ニ形チカ応シ―影ニ形チカ応シ
シ(朱)
- * 8 題号ヲ販元ト云ハ―題号ヲ販元トハ
- * 9 為ニ天下母ト云ハ―為ニ天下母ト云ハ
- * 10 知ニ其子ニ守ニ其母ト云ハ 陽本、送仮名・訓読符無し
- * 11 吾身ヲスクイエヌナリ―吾カ身スクイエヌ也
ヲ(朱)
- * 12 俗ノ字時ハ―俗ノ字時
ハ(朱)

- * 13 守レ柔日強ト云ハ 陽本、送仮名・振仮名無し
- 58頁(52・53章)
- * 1 用レ于目―用テ目
- * 2 時代ノ利害ヲ見テ―時代ノ利害ヲ見テ
ノ(朱)
- * 3 無レ遺ニ身殃ニ者也―無レ遺ニ身殃ニ者也
一(朱)
- * 4 無ニ身殃ナリ―無ニ身殃也
ニ(朱)
- * 5 五蔵ノ神也―五蔵ノ神也
ノ(朱)
- * 6 使レ我介然有知行ニ大通ト云ハ―使レ我介然有知
道
- 行ニ大通ト云ハ、「道」底本の訂正加墨に従う
- * 7 時代ノ王カ―時代ノ王カ
ノ(朱)
- * 8 世上ヲ罵ヘキタメニ―世上ヲ罵ヘキタメニ
キ(朱)
- * 9 唯施是畏ト云ハ―唯施是畏ト云ハ
ニ(朱)
- * 10 道行ナハバト云―道行ナハ、ト云
- * 11 偽リノ道トカ―偽リノ道トカ
ノ(朱)
- * 12 センスルヲウト―センスルヲウト
ヲ(朱)
- * 13 失道意ト云ハ 陽本、送仮名無し
ニ(朱)
- * 14 欲賞善恐ニ偽善生ニ―欲賞善恐ニ偽善生
一(朱)
- * 15 セフスルヲウト恐ナリ―セフスルヲウト恐也
ニ(朱)
- * 16 恐詐忠起ト云ハ―恐詐忠起ト云ハ
ニ(朱)

- * 17 吾忠ヲ詐リトカ―吾忠(朱)詐リトカ
- * 18 大易也トアルヲ 陽本、振仮名・連続符無し
- * 19 ニンヘンノ時ハ―人ヘンノ時ハ
- * 20 俗字ニハニンヘンニ作ナリ―俗字ニハ人ヘンニ作也
- * 21 民好レ徑所ヲ以テ 陽本、返点無し
- * 22 王者ノ徑ハ聞ヘタリ―王者ノ徑ハ聞ケタリ(朱)
- * 23 朝ハ甚除ト云ハ―朝フ甚除ト云ハ(朱)
- 59頁 (53・54・55章)
- * 1 如レ此 陽本、返点は朱
- * 2 田ハ甚蕪 陽本、送仮名・振仮名無し
- * 3 服キニ文ニ綵ト云ハ―服キニ文ニ綵ト云ハ
- * 4 帶ハニ利劔ト云ハ―帶ハニ利劔ト云ハ
- * 5 財貨有レ餘ト云ハ 陽本、送仮名・連続符無し
- * 6 是ヲ謂ニ盜ニ夸ト云ハ 陽本、振仮名・連続符無し
- * 7 持行トハ 陽本、振仮名・送仮名・訓読符無し
- * 8 若レ不レ知身死家破親戚并隨ト云ハ 陽本、振仮名・送仮名・訓読符無し
- * 9 云心ナリ―云心也
- * 10 ヤ哉ト云フハト―ヤ哉ト云夏ハト

- * 11 徑ノ字ハ―(朱)字ハ
- * 12 ナラントヨム也―ナラント読也
- * 13 ヨコシマトヨムソト―ヨコシマト読ソト
- * 14 善建者不レ拔ト云ハ―善建者不レ拔ト云ハ
- * 15 不レ輟也 陽本、振仮名無し
- * 16 不死ト云ヘハトテ―不死ト云エハトテ
- * 17 主修ニ道天下ト云―主修ニ道ヲ天下ト云
- * 18 不レ言而化ト云―不レ言而化ト云
- * 19 柴ヲ積テ―柴ヲ積テ(朱)
- * 20 火ヲ消ス譬アリ―火ヲ消フ譬アリ(朱)
- * 21 深符アルト義也 京本、深符「フカイシルシ」と附訓
- 60頁 (55・56章)
- * 1 道德ニ符符ハカナフトヨムナリ道德ニ叶ト云心也 京本、本行「道德ニ叶ウト云心也」、「叶」字右に「符符ハカナウトヨム也」と旁記
- * 2 含レ徳之厚ト云ハ 陽本、送仮名・連続符無し
- * 3 含レ懐 道徳ニ厚者ヲ云也―含レ懐 道徳ニ厚者ヲ云也
- * 4 比ニ之赤子ト云ハ―比ニ之赤子ト云ハ
- * 5 鐻子ハ―鐻子(朱)

- * 6 ○刺ト云ハ人サスハリ也云云京本、此行間加筆の文無し
- * 7 祐ラル「赤子ヲ母ノ如シ養スルナリ」祐ラル夏赤子ヲ母ノ如シ養スル也
- * 8 ヘビノ尾ノヘビノ尾ノ
- * 9 萬物也—万物也
- * 10 (刺)ハトケ也—刺ハトケ也、今、底本の加筆訂正に従う
- * 11 刺アル者ナルホトニ—刺アル者ナルホトニ、底本の加筆訂正に従う
- * 12 赤子ノ骨弱ク—赤子骨弱ク
- * 13 アルヘキナリ—アルヘキ也
- * 14 未知ニ牝ト牡ト云ハ 陽本、振仮名・送仮名・連続符無し
- * 15 爰テ言心ハ 京本「爰テ言」
- * 16 知レ和曰常也ト云テハ—知レ和曰常ナリト云テハ
- * 17 益レ生日祥ト云ヨリ以下—益レ生日祥ト云ヨリ以下
- * 18 心使レ氣日強ト云ハ 陽本、送仮名無し
- * 19 次ノ章ノ注ニアリ 京本、此旁記無し
- * 20 抽ヲツキ出シタルニ譬也—抽ヲツキ出シタルニ譬ナリ
- * 21 書ノ名也—書名也
- * 22 軽ク物ヲ不レ言也—軽ク物不レ言也
- 61頁(56・57章)
- * 1 絶ヘキ為ナリ—絶ヘキ為也
- * 2 亦不レ可レ得而疏ト云ハ—亦不レ可レ得而疏ト云ハ
- * 3 親キト疏スルトハ—親キ疏スルトハ
- * 4 不レ可レ得而利ト云ハ 陽本、送仮名無し
- * 5 人ヲ害スル「モナキ也」—人ヲ害スルモナキ也
- * 6 其故ハ不レ与レ貪争レ利不レ与レ勇争レ氣故也—其故ハ不レ与レ貪争レ利不レ与レ勇争レ氣故也
- * 7 不レ可レ得而貴ト云ハ 陽本、レ点無し
- * 8 不レ為レ乱レ世主不レ処レ聞レ君位故也 陽本、振仮名・送仮名・連続符無し
- * 9 亦不レ可レ得而賤ト云ハ不レ為レ乱レ世主—亦不レ可レ得而賤ト云ハ不レ為レ乱レ世主
- * 10 利根害ハ裏表 陽本同じ、朱訂に従う
- * 11 貴賤ハ裏表也—貴賤ハ裏面也
- * 12 以レ正之國ト云以下ハ—以レ正之國ト云以下ハ
- 62頁(57章)
- * 1 僧ノ帽子ノ額カ—僧ノ幅子ノ額カ

- * 2 此ニ譬也——此譬也^(朱)
- * 3 民^{イヨハシ}弥貪^シ 陽本、附訓無し
- * 4 此利器ハ——此利器^(朱)
- * 5 燕觀ナリ——燕觀也^(朱)
- * 6 珍好ノ物ノ宝也——珍好ノ物宝也
- * 7 悪キ方ナリ——悪キ方也
- * 8 引クナリ——引ク也^{カ(朱)}
- * 9 コ、カ——コ、カ^(朱)
- * 10 メスナリ——メス也^(朱)
- * 11 軍陳徭役ノ事也——軍陳徭役事也^(朱)
- * 12 此心ニ天地ニ間ニ於テ——此心ニ天地ノ間ニ於テ
- * 13 珍好ノ物也——珍好物也^(朱)
- 63頁 (57・58・59章)
- * 1 皆承^レ天義ナリ——皆承^レ天義也
- * 2 其政悶^{モン}——其政悶々ト云ハ^{タルサハ}
- * 3 其民ノ徳厚也——其民ヲ徳厚也^{ナレハ}
- * 4 直ニ事決スル心ナリ——直ニ事決スル心也^(朱)
- * 5 聴決ニ於耳ニ耳ニキイタル夏——聴決ニ於耳ニキイタル夏^(朱)
- * 6 其民ノ徳——其民ヲ徳^(朱)
- * 7 相生スルヲノ——相生スル夏ノ
- * 8 誰レモシラヌト云心ナリ——誰レモシラヌト云心也
- * 9 悪キ字ニ付ケハ——悪字ニ付ケハ
- * 10 変シテハ悪也——変シテハ悪ナリ
- * 11 固ニ久ナリ——固ニ久也
- * 12 肆人^{シツ}不^レ大者——肆人不^レ奢
- * 13 光ハアル者ナリ——光ハアル者也
- * 14 西ハ義——西義
- 64頁 (59・60章)
- * 1 ムサホルト云心モ同ナリ——ムサホルト云心モ同也
- * 2 无^レ不^レ尅者ナリ——無^レ不^レ尅者ナリ
- * 3 五穀ヲ司ル神ナリ——五穀ヲ司ル神也
- * 4 此神ヲイワウナリ——此神ヲイワウ也
- * 5 是謂^ニ深^シ根^ネ——是謂^ニ深^シ根^ネ固^ク蒂^トト云ハ^{ストホウラ}
- * 6 長久ナル人ヲ云ナリ——長久ナル人ヲ云也
- * 7 ツルノツク処ナリ——ツルノツク処也
- * 8 鮮ハアザラケト云テ (濁点は朱) 陽本、濁点は墨
- * 9 チイサキ魚ナリ——チイサキ魚也
- * 10 「莅天下ト云ハ」と「其鬼神」の間、京本「以^ニ道^ニ應^レ居

レ位莅_ミ治_ル天下_ヲ義也○其鬼ト云ワ鬼神也不_レ神ト云ハ_レの

二十四字有り、底本・陽本並に脱

* 11 此无方无咎ノ神ニ_一此无方无咎ノ神ニ

* 12 无_レ形上ノ精神ナリ_一無_レ形上ノ精神也

* 13 非_ニ其_ノ鬼_ノ不_レ神ト云ハ_一非其鬼不_レ神ト云ハ

* 14 无神テハナイ也_一無神テハナキ也

* 15 其神不_レ傷_レ人ト云ハ 陽本、送仮名無し

* 16 治_ニ天下_ニニヨツテ_一治天下_ニニヨツテ

65頁(60・61章)

* 1 ヨク人ヲ傷ホトノカラモアレトモ_一能ク人ヲ傷ホトノカ

ラモアレトモ

* 2 推分テ如此也_一推分テ如_此也

* 3 如此治_ニ大国_ニ人ハ_一如此治_ニ大国_ニ人ハ

* 4 牝常以_レ静勝_レ牡ト云ハ_一牝常以_レ静勝_レ牡ト云ハ

* 5 ヨク謙下ヲナスナリ_一能ク謙下ヲ成ス也

* 6 則チ取_ニ大国_ト云ハ_一則チ取_ニ大国_ト云ハ

* 7 ヨク下テ_一能ク下テ

* 8 打テ取ヘキ心ナリ_一打テ取ヘキ心也

* 9 辞ノ字也_一辞ハ字也

66頁(61・62章)

* 1 小国ニカ、ルナリ_一小国ニカ、ル也

* 2 此奥_ニ一盃入レテ_一此奥_ニ一盃入レテ

* 3 善人_ノ為_ニ身_ノ宝_ト不_レ敢_レ違_レ也 陽本、振仮名・送仮名無し

* 4 自ラ後悔_{シテ}自ラ後悔

* 5 美言美語スル者ナルホト_ニ美言美語_スエル者ホト_ニ

* 6 市ヲ用テヨ_一市テ用イヨ

* 7 欲疾_ヲ售_ル 京本「アキナワンコヲ」と附訓

67頁(62・63章)

* 1 凡人ヨリ別ニセヨト云心ナリ_一凡人ヨリ別ニセヨト云心

也

* 2 人_ノ善_ヲ何_ツ弃_之有_ト云ハ_一人_ノ善_ヲ何_ツ弃_之有_ト

云、底本の訂正加墨に従う

* 3 弃ル_{コト}アルマシキト也_一弃ル_{コト}アルマシキト也

* 4 上_ニ美言尊行ヲハ_一上_ニ美言尊行ヲハ

* 5 賤マテナリ_一賤マテ也

* 6 徳衰故ナリ_一徳衰故也

* 7 ○立天子ト云ハ 陽本、前句に連接し改行せず

* 8 璧ハマロキ玉也_一璧ハマロキ玉也

- * 9 大夫ノ車也―大夫車也^(朱)
 - * 10 不^レ日求^ニトハ―不^レ日求^ニト^(朱)
 - * 11 京本「日^ニ」、或は「日^ニ」か
 - * 12 天井書 京本、此三字本行にあり、此処で改行
 - * 13 愚^ニ於^レ虞^一―愚^ニ於^レ愚^一^(朱)
 - * 14 為^レ無^レ為^ニト云ハ―為^レ無^レ為^ニト云^(朱)
 - * 15 何事ニ因成ナスモ 京本「何^レ成^ニ因^レ成^一」^(朱)
 - * 16 為^レ無^レ為^ニ事^一無事^ニト云ハ無^レ為^ニ無事^一ノ差別無^レ為^ニハ理也 陽
本「无」は全て「無」に作る
 - * 17 省ト云ハ省略ノ心也―省^(朱)ト云省略ノ心也
 - * 18 省略シタル^レ也―省略シタル事也
 - * 19 万物ノ方^ニ報スル義ナリ―万物ノ方^ニ報スル義也
 - * 20 以德ト云ハ 陽本、前句に連接し改行せず
 - * 21 絶^ニ禍^一未^レ生^ニ所カ以^レ德義也―絶^ニ禍^一未^レ生^ニ所カ以^レ德義也^(朱)
 - * 22 凶^ニ難^レ於^レ其^一易^ニト云ハ―凶^ニ難^レ於^レ其^一易^ニト云ハ^(朱)
- 68頁(63・64章)
- * 1 成^ニ其大^一ト云ハ―成^ニ其大^一ト云^(朱)
 - * 2 悉^ク此人^ニ販服スルナリ―悉^ク此人^ニ販服スル也
 - * 3 軽^ク人^ニ物ヲ許シ―軽^ク人^ニ物ヲ許シ^(朱)

- * 4 子路子不^レ諾義ヲ引也―子路子不^レ諾義引也^(朱)
 - * 5 聖人ハカル^クシク―聖人ハ軽^ク^(朱)
 - * 6 其^レ脆ト云ハ―其^レ晚ト云ハ
 - * 7 微^ハ機微也微也ト云ハ―微^ハ機微也々々ト云ハ
 - * 8 治スヘキ也―治メヘキ也^(朱)
 - * 9 ○眩晃ト云ハ云 陽本、料紙表葉柱近くの余白に加筆、
位置的には、底本に近い、京本、此の文無し、此文は本章
後出経文「不^レ貴難得之貨」の章句に対する注釈であり、次
頁上段第十行「本ト云ハ道也」句の前に配すべき文
- 69頁(64・65・66章)
- * 1 自然ノ道ヲ敗ルナリ―自然ノ道ヲ敗ル也
 - * 2 人^ニ失ナハル、所ナキナリ―人^ニ失ナハル、所ナキ也
 - * 3 慎^レ終^レ始^レ則^レ無^レ敗^レ也ト云ハ―慎^レ終^レ始^レ則^レ無^レ敗^レ也ト云ハ^(朱)
 - * 4 敗^レレテ無^レ曲^レ也―敗^レレテ無^レ曲^レ也
 - * 5 末ト云ハ為^レ也―末ト云ハ偽也
 - * 6 本実ノ道ニ販ラスル^レト云ハ―本実ノ道ニ販ラスル也
 - * 7 万物ニ自然ノ性ヲ―万物ニ自然ノ性ヲ^(朱)

- * 8 助クヘキ者ノ、為也―助クヘキ者ノ、タメ為也(並朱)
- * 9 凶ナリ―凶也
- * 10 以ニ不智^ヲ治^ル国^ヲ福ト知者ノハ―以ニ不智^ヲ治^ル国^ヲ福ト知者(朱)
- * 11 以^レ道^ヲ民ニ教ヲナサント思フハ―以^レ道^ヲ民ニ教ヲナサント(朱)思フハ
- * 12 以言下之ト云ハ―以言下之ト云(ハ朱)
- * 13 民ノ吏先ハ君也―民ノ^ヲ先ハ君也
- * 14 聖人如此アルホトニ―聖人如此アルホトニ(朱)
- 70頁(66・67章)
- * 1 此聖人ハ以^レ先^ス蔽^ス後^スナキ程ニ―此聖人ハ以^レ先^ス蔽^ス後^スナキ程ニ(光朱)
- * 2 民害センスルトモ不^レ思ナリ―民害センスルトモ不^レ思也
- * 3 若^ク肖^カ久^クト云ハ 陽本、送仮名・振仮名無し、京本亦無し
- * 4 古ヨリ至^テ今^ニ―古ヨリ至^テ今^ニ、京本、送仮名無し
- * 5 従来ト云ハ 陽本、送仮名無し、京本亦無し
- * 6 フンタンノ字―フンタン字(朱)
- * 7 我レハヨク持テ―我レハ能ク持テ

- * 8 慈ハ慈悲ノ義也―慈ハ々ノ悲義ナリ(朱)
- * 9 儉ハ儉約ナリ儉約ト云ハ―儉ハ儉約也々々ト云ハ
- * 10 ヌノコヲキルワ儉ノ義也―ヌノコヲキルハ儉ノ義也
- * 11 節ハ次第ナリ―節ハ次第也
- 71頁(67・68・69章)
- * 1 余リニ儉ナルハ―余リニ儉ナル(ハ朱)
- * 2 城擲^テ守ルトキンハ 陽本、旁書無し、京本亦無し「擲」
- * 3 慈ト云ハ―慈ト云(ハ朱)
- * 4 張良ハ婦人也ト云語ヲ引也―張良ハ婦人也ト云語引也(ハ朱)
- * 5 ○為^レ之下ト云ハ 陽本、前句に直接、改行せず
- * 6 毛詩ニ云云以下行間の五十五字 京本無し、此文、下の「○不^レ敢進^テ寸而退^レ尺ト云ハ」以下の文段末に繋ぐべし
- * 7 用^レ兵有言ヘキト云ハ―用^レ兵有言ヘキト云(ハ朱)
- * 8 下ニ言フ義ヲ設也―下ニ言義ヲ設也(ハ朱)
- * 9 伐テ取ヘキ心ナリ―伐テ取ヘキ心也
- * 10 不^レ敢進^テ寸而退^レ尺ト云ハ―不^レ敢進^テ寸而退^レ尺ト云ハ(ハ朱)
- 今、底本の朱訂に従う
- 72頁(69章)
- * 1 不^レ敢進^テ寸、而退^レ尺ト云点アリ 京本「不^レ敢進^テ寸而

退尺^ニト云点アリ

* 2 老子ノ道ニモ一老子道^{ノ(朱)}ニモ

* 3 行テ无^レ行義也一^レ行テ无^レ行義也

* 4 行无^レ行ト云ハ一^レ行无^レ行ト云^{ハ(朱)}

* 5 誅^レ之^{之(朱)}ト云ハ无道ナル君ヲ殺ス義也一^レ誅^レ也ト云ハ无道ナル君ヲ殺ス義也

* 6 民ヲハ不^レ執義也一^レ民ヲ不^レ執義也

* 7 攘^{カ、クルニ}无^レ臂^{クダ、ムキ}ト云ハ一^レ攘无^レ臂ト云ハ

* 8 攘テ无道ノ君ヲ一^レ攘テ无道ヲ君ヲ^{ノ(朱)}

* 9 无^レ臂ト云ハ一^レ无^レ臂ト云ハ^{ニ(朱)}

* 10 民ニハ争ヘキ^コ一^レ民ニハ争ヘキ

* 11 仍^{ヒクニ}无^レ敵^{ツカダキ}ト云ハ一^レ仍^レ无^レ敵ト云ハ

* 12 仍テ无道ノ君ヲハ一^レ仍テ无道ノ君ヲハ

* 13 无^レ罪民ヲ殺^レ一^レ无^レ罪民ヲ殺^レ

* 14 无^レ敵ト云也一^レ无^レ敵ト云也

* 15 執^{トラフルニシ}无^レ兵ト云ハ一^レ執^レ无^レ兵ト云ハ

* 16 无道ノ君ヲ殺セトモ一^レ无道ノ君ヲ殺セトモ

* 17 无^レ罪民ヲ一^レ无^レ罪民ヲ

* 18 无^レ兵ト云也一^レ无^レ兵ト云也

* 19 何^{イカントナレハト云}者ト云ヨリ一^レ何^{イカントナレハト云}者ト云ヨリ

* 20 民力カ、ル一^レ民ガカ、ル

* 21 无道テ一^レ无道テ

* 22 正直ナリト云一^レ正直ナル云^{リト(朱)}

* 23 如^レ此不道ノ君ニ 陽本、レ点無し

* 24 不^レ忍^ト喪^トアソハス也一^レ不^レ忍^ト喪^トアソハス也^{ト(朱)}

* 25 不道ノ君ヲ喪ト云義也一^レ不道ヲ君ヲ喪ト云義也^{ト(朱)}

* 26 抗^{アケテ}兵ト云ハ一^レ抗^レ兵ト云^{ハ(朱)}

* 27 抗^{アケル}義ナリ一^レ抗^{アケル}義也

73頁(69・70・71・72章)

* 1 不^レ遠^{ルニ}サラ依^{ルニ}テ一^レ不^レ遠^{ルニ}サラヨツテ

* 2 可^ニ心得^ニナリ一^レ可^ニ心得^ニ也^{ト(並朱)}

* 3 二ツ三ツ云程ニ一^レ二ツ三ツ云程ニ^{ト(並朱)}

* 4 二ツ三ツナラテハ一^レ二ツ三ツナラテハ^{ト(並朱)}

* 5 天下ニ能ク无^レ行也一^レ天下ニ能ク无^レ行也

* 6 夫^{コノヒト}唯^レ无^レ知^ルト云ハ一^レ夫^{コノヒト}唯^レ无^レ知^ルト云ハ

* 7 无^レ知也一^レ无^レ知也

* 8 道ヲヨク知テ一^レ道ヲ能ク知テ^{ト(並朱)}

* 9 不^レ知^ル知^ルタト云ヲ一^レ不^レ知^ル知^ルタト云ヲ^{ト(並朱)}

- * 10 強知病ト云也—強知ノ病ト云也(並朱)
- * 11 人ノ病ヲ非トスルナリ—人ノ病ヲ非トスル也
- * 12 モツハラナリ—モツハラ也
- * 13 生ル義ナリ—生ル義也
- * 14 愛己章第七十二—愛己章第七十三
74頁(72・73章)
- * 1 无_レ狭_ニ其所_レ居ト云ハ—無_レ狭_ニ其所_レ居ト云ハ
- * 2 无_レ狭_ニ其所_レ居—無_レ狭_ニ其所_レ居
- * 3 謂_ニ心_ニ居_レ神ト云ハ—謂_ニ心_ニ居_レ神ト云ハ
- * 4 神ハ心藏ノタマシイ—神_ハ心藏ノタマシイ(朱)
- * 5 无_レ厭_ニ其所_レ生ト云ハ—無_レ厭_ニ其所_レ生ト云ハ(朱)
- * 6 精神ヲ厭_レナク—精神ヲ厭_レナク(朱)
- * 7 所_レ生ト云ハ—所_レ生ト云ハ(朱)
- * 8 不_レ節ト云ハ—不_レ節ト云ハ(朱)
- * 9 寛_ニノ兒也—寛_ニノ兒也
- * 10 不_レ厭_ニ心_ニ洗_レ垢濁—不_レ厭_ニ心_ニ洗_レ垢濁、京本、厭_レイ
タメ」と附訓
- * 11 勇_ニ於_レ敢_ニ則_レ殺ト云ハ—勇_ニ於_レ敢_ニ則_レ殺ト云ハ(朱)
- * 12 我身殺ナリ—我身殺也(朱)

- * 13 勇_ニ不_レ敢_ニ則_レ活ト云ハ—勇_ニ不_レ敢_ニ則_レ活ト云ハ(朱)
- * 14 无_レ為_レノスル_レ也—無_レ為_レノスル_レ也(朱)
- * 15 不_レ知_レホトニト—不_レ知_レホトニ(朱)
- * 16 不_レ争_レ而_レ善_レ勝ト云ハ—陽本、送仮名無し
- * 17 人ヲ自_レ人ヲ自_レ、底本の朱訂に従う
- * 18 ヨク勝義也—能_ク勝義也(朱)
- * 19 天何_レ言_レ哉—天何_レ言_レ我_レ哉(並朱)
- * 20 天網恢恢疎而—天網恢恢疎而(並朱)
- * 21 「不_レ失ト云ハ」と「人ノ善悪ヲ」との間、京本「天ノ網ハ
恢々ト大ニ疎カナレトモ不_レ然ト云ワ」の二十字有り
75頁(74章)
- * 1 民不_レ聊_レ生—民不_レ聊_レ生(朱)
- * 2 死ヌル_レヲ不_レ畏也—死ヌル_レ不_レ畏也(朱)
- * 3 以_レ刑罰_ニ懼義也—以_レ刑罰_ニ懼義ナリ
- * 4 若_レ使_レ民常畏死ト云ハ—君使_レ民常畏死ト云ハ(朱)
- * 5 以_レ道能_ニ—以_レ道能_ニ
- * 6 而_レ為_レ奇_者—者ノヲハ吾得_ニ執_レ而_レ殺_レ之_レ孰_カ敢_レ矣ト云ハ
為_レ奇_者ノヲハ吾得_ニ執_レ而_レ殺_レ之_レ孰_カ敢_レ矣ト云ハ
- * 7 我カ畏トセンスルニハ—我カ畏トサンスルニハ

- * 8 常有_二司_一殺_レ者_、ト云ハ 陽本、送仮名・連続符無し
- * 9 夫代_三司_一殺_レ者_、是謂_レ代_、大匠_{ト云ハ} 夫代_三司_一殺_レ者_、是謂_レ代_、大匠_{ト云ハ}
 - 代_テ大道_{ト云ハ} (朱)
 - 匠_ニ (朱)
- * 10 サス柄_ノ後也_一 | サス柄_ノ後也_一
 - 匠_ニ (朱)
 - 柄_ノ (朱)
- * 11 寅_ノ方_ヘ建也_一 | 寅_ノ方_ヘ建也_一
- * 12 戌_{ヨリ}五_メカ寅_ノ方也_一 | 戌_{ヨリ}五_メカ寅_ノ方也_一
- 76頁 (74・75・76・77章)
- * 1 柄_カ辰_方工_{建也} | 柄_カ辰_方工_{建也}
- * 2 節_度ト云ハ_一 | 節_度ト云ハ_一
- * 3 日_ノ度_{是ナリ} | 日_ノ度_{是ナリ}
- * 4 貪_損章第七十五_一 | 貪_損章第七十五_一
- * 5 經_ニハ貪_財トアリ 京本、此旁記八字無し
- * 6 「其_レ求_レ」兩字の間、京本「求_レ生_ノ厚_ニ也ト云ハ | 其_レ求_レ」兩字の間、京本「求_レ生_ノ厚_ニ也ト云ハ
 - ニモ百ヲ二百マテモ二百三百マテモ生_{スル}ト」の三十二字
 - 有_リ、底本・陽本並脱
- * 7 无_ニ以_レ生_為者ト云ハ_一 | 无_ニ以_レ生_為者ト云ハ_一
- * 8 戒_強章第七十六_一 | 戒_強章第七十六_一
- * 9 柔_弱ノハ_一 | 柔_弱ノハ_一
- * 10 強_ニナル也_一 | 強_ニナル也_一
- * 11 不_レ勝トハ_一 | 不_レ勝トハ_一
 - トハ(朱)
- * 12 強_大ハ惡_譬也_一 | 強_大ハ惡_譬也_一
 - ハ(並朱)
 - 惡_ニ (並朱)
 - 譬_也 (並朱)
 - 縦_点並朱
- * 13 柔_ハ強_ニ勝也_一 | 柔_ハ強_ニ勝也_一
 - 柔_ハ (並朱)
 - 強_ニ (並朱)
 - 勝_也 (並朱)
- * 14 天_道章第七十七_一 | 天_道章第七十七_一
- * 15 ○天_之道_其猶_レ張_レ弓_乎云ハ_一 | 天_之道_其猶_レ張_レ弓_乎云ハ_一
 - 天_之道_其猶_レ張_レ弓_乎云ハ_一 (朱)
 - 乎_手云ハ
- 77頁 (77・78・79章)
- * 1 下_所ヲハ木_ヲソエテ_一 | 下_所ヲハ木_ヲソエテ_一
 - 下_所 (並朱)
 - 下_キ所_ヲハ木_ヲソエテ
- * 2 マツタイ_ラニ_ノ弦_ハツヨクモナク_一 | マツタイ_ラニ_ノ弦_ハツヨクモナク_一
 - マツタイ_ラニ_ノ弦_ハツヨクモナク_一 (朱)
 - マツタイ_ラニ_ノ弦_ハツヨクモナク_一 (朱)
- * 3 人_君ナリ_一 | 人_君ナリ_一
 - 人_君ナリ_一 (朱)
 - 人_君ナリ_一 (朱)
- * 4 任_信章第七十八_一 | 任_信章第七十八_一
- * 5 過_トモヨムナリ_一 | 過_トモヨムナリ_一
- * 6 此_水ニ_{ヨク}勝テ_一 | 此_水ニ_{ヨク}勝テ_一
- * 7 強_ヲ、サ_{ムル}者_ハナキ也_一 | 強_ヲ、サ_{ムル}者_ハナキ也_一
- * 8 水_{ヨリ}ヨク_一 | 水_{ヨリ}ヨク_一
- * 9 ヲサ_{ムル}者_ノ義_{ナリ} | ヲサ_{ムル}者_ノ義_{ナリ}
- * 10 老_子ノ古_ノ聖_人ノ語_ヲ引_{ナリ} | 老_子ノ古_ノ聖_人ノ語_ヲ引_{ナリ}
- * 11 国_ノ主_トナル也_一 | 国_ノ主_トナル也_一

- * 12 社稷之主ト云ハ―社稷也主ト云ハ(朱)
 - * 13 垢ト注スル也、京本、垢「ハチ」と附訓(朱)
 - * 14 過ト与伐民也―過ト与代民也(朱)
 - * 15 任契章第七十九―任契章第七十
 - * 16 和ムクニ大怨ト云ハ―和ムクニ大怨ト云ハ(朱)
 - * 17 殺レ人「ハ―殺レ人夏ハ
 - * 18 殺レ人人カ亦我ヲ殺―殺レ人々カ亦我ヲ殺ス
 - * 19 怨カ餘―怨カ余(朱)
- 78頁(79・80章)
- * 1 良民ト云ハヨキ民也―良民ト云ハヨキ民ニ也(朱)
 - * 2 「悪也」の次、京本「○注ニ悪也」の四字有リ、衍
 - * 3 「六韜曰」以下行間の兩文二十九字、京本無し、「六韜曰茅茨滿庭不剪」は次章八十章の「茅茨ハ、二字共ニカヤ也」に繋ぐべく、後文の「葦々ハ不レ止見也、ウフヤシナイスルトモヨム也」は八十一章「葦々ト云ハ云云」に繋ぐべし
 - * 4 茅茨滿庭不剪―茅茨滿庭不剪(朱)
 - * 5 葦々ハ不レ止見也―葦々ハ不レ止見也(朱)
 - * 6 天心ト云ナリ―天心ト云也

- * 7 唯信ヲ執ルト云義マテ也―唯信執ルト云義マテ也(朱)
 - * 8 心マテナリ―心マテ也
 - * 9 文書法律ト云「ナク―文書法律ト云夏ナク
 - * 10 信ヨリ他ノ「ヲ以テ―信ヨリ他ノ夏ヲ以テ
 - * 11 司契ト云ハ(返点は朱) 陽本、返点は墨筆
 - * 12 徹ハ法ナリ―徹ハ法也
 - * 13 什八十人ノ長―什八十人長(朱)
 - * 14 ソレ／＼―其レ／＼
 - * 15 分心ナリ―分心也
- 79頁(80・81章)
- * 1 所レ欲ナリ―所レ欲也
 - * 2 行ヘキト不レ思ナリ―行ヘキト不レ思也
 - * 3 不レ陳例也―不レ陳例也(列)
 - * 4 国ヨク治タルニ依テ―国能ク治タルニ依テ
 - * 5 ○頭質章八十一 陽本、本行此の章題無く、本章冒頭句「頭質朴也」以下、前章末に直接、改行せず、此処の行間に、朱筆で、「△頭質章」と加筆挿入
 - * 6 守ニ元ト云ハ―守ニ元ト云(朱)
 - * 7 上卷ノ巧用章ニアリ―巧用章ニ在(朱)、京本は「巧用章在」

80頁(追補)

- * 1 二度変スル「モ」二度変スル夏モ
- * 2 アルヤウナル「モ」アル様ナル夏モ
- * 3 アルヘキナリ「アルヘキ也」
- * 4 先其ヲサツト標アラハシテ — 先其ヲサツト標アラワシテ
- * 5 上ヲ結スルナリ「上ヲ結スル也」
- * 6 文段善ク清ムナリ「文段善ク清ム也」
- * 7 気節法本章右三十九章 底本此の処で改行、但前行末にはほ一字分を空けるのみ、陽本は、前句との間に一字分を空けるだけで改行せず、京本は改行、尚、「三十九章」四字は底本朱、陽本同、京本此四字無し、また「右」、京本「在」に作る
- * 8 立秋秋分立冬冬至也「立秋々分立冬々至也」
- * 9 廿四氣ノ中ニ「廿四氣中ニ」
- * 10 不レ言義ナリ「不レ言義也」
- * 11 無欲ト云ハ「無欲ト云ハ」
- * 12 「彼ノ道士」の次、京本「云老子経ヲ書テクレタラハ鳥ヲ可レ出ト云ケリ其時王義之」の二十五字有り、底本・陽本並に脱

- * 1 応ニ禽獸物物剛柔ト云ハ「応ニ禽獸物々剛柔ト云ハ」
- * 2 爰等コトヲ — 爰等コトヲ
- * 3 魁クワイ首ヘウカシラ 杓ヘウエ老子八李氏女ニ因テ「魁クワイ首ヘウカシラ 杓ヘウエ老子(朱)李氏
- 女ニ因テ
- * 4 生ル「ハ」生ル夏ハ
- * 5 亦重耳トモ云タルハ「亦重耳トモタルハ」
- * 6 サテ聊ト云ハ「サテ聊ト云ハ」
- * 7 礼部(勻也)句ニ見タリ「礼部レイホウ勻ニ見タリ、底本旁記に従う」
- * 8 敵揺ノハタラキ — 敵ノ揺ハタラキ
- * 9 擗同「擗同也」
- * 10 踉蹌ラムラウ兵書ニ「踉蹌ラムラウ兵書ニ見タリ
- * 11 徐クソク庄子ニ見タリ「徐クソク庄子ニ見タリ
- * 12 精泄シツ医書ニ「精泄シツ医書ニ見タリ
- * 13 瘳同「瘳同也」
- * 14 痺シヒル — 痺シヒル
- * 15 啄木タクボクサゲラノ「啄木タクボクサゲラノ唐名也」
- * 16 膺ヨウ — 膺ヨウ

- * 1 嘖ノトフエ — 嘖ノトフエ
- * 2 高細タカヒホ — 高細タカヒホ
- * 3 鞞シラテ — 鞞シラテ
- * 4 逆鞞チカラカワ — 逆鞞チカラカハ
- * 5 鞞チカラカワ — 鞞チカラカハ
- * 6 始テクルリト廻ルナリ — 始テクルリト廻ル也
- * 7 兑卦胎、乾卦乾ハ没 — 兑卦胎。卦乾ハ没
- * 8 坎子坎子北 — 坎子北
- * 9 酉戌亥マテハ西也 — 酉戌亥迄ハ西也
- * 10 子丑寅マテハ北也 — 子丑寅迄ハ北也

解題

一、概要

此処に翻印した「老子経抄二卷」は、「老子道德経二卷 旧題漢河上公章句」の講述聞書体による注釈書である。邦人が撰述せる同書の注釈書としては、現存する同類諸書の内、成立時期が最も早いものとして、注目される。管見に入れる伝存本は、凡例に示した如く、次の三本である。

老子経抄 二卷 「室町末近世初」写 一冊 京都大学附属

図書館蔵 清家文庫 (略称 底本)

同 「室町末近世初」写 二冊 財団法人陽明文庫蔵

(略称 陽本)

同 「近世初」写 一冊 京都大学文学部国文学研究室蔵

(略称 京本)

本翻印は、清家文庫本を底本として、陽本、京本の両本を参照対校した。三本並びに伝写本であり、当然のこととして、それぞれに誤写、脱落がみられるが、諸本を参校して相補えば、原形を復元することが可能であろう。管見の三本を対校したこ

とに因り、底本の文意不通の箇所が多くが疎通し得た。しかし三本とも揃って同様の過誤、衍脱の箇所も有り、筆録の原初の形態に復し、講述内容を完璧な形で再元するには未だ不十分である。従って、本翻印は、先ずは底本の忠実なる翻字を心掛け、他の二本を参校対照することとし、不測の譌錯を危惧して本文を整定することは敢てしなかつた。新たな伝本の出現を俟ちつつ、後攷補訂を期す次第である。

尚、『国書総目録』には底本、陽本を著録し、京本は未著録、『抄物目録Ⅱ』（遠藤嘉基 『国語国文』昭和30・1）は底本、京本を京大図書館蔵として著録する。京本は、図書館より文学部へ移管されたものであろう。両目著録の「老子経抄 東大所蔵本 一冊」は同名異書、又、江戸時代前期に通行した承応元年（一六五二）崑山道可處士刊〔林羅山〕（道春）撰の同名書（題簽に拠る、内題は「老子虞齋口義鈔」）とも当然内容を異にする。

中世以前に成立した、邦人撰述にかかる漢籍注釈の専著は、所謂抄物を除けば、皆無に等しい。周知の如く、抄物注釈は、漢籍古鈔本に遍在する訓点或いは、諸家注説の書き入れ等とともに、本邦に於ける漢籍注釈史上、極めて重要な資料群を成し

ている。『老子道德経』に就いても例外ではなく、注釈専著としては此の書が唯一遺存するのであって、相当数伝存する古鈔本の書き入れ群とともに、中世期の老子解釈の典型を示す貴重な文献資料と目される。

我が国に古く伝来し、中世以前において盛行した『老子』テキストは、河上公章句本である。現存する古鈔本の多くは、此のテキストであり、宋刊本成立以前の唐鈔本の系統を継ぐ。宋刊本も早く舶載されたようであり、鎌倉時代書写の古鈔本に既に、刊本との校合書き入れが見られ、また、南北朝期書写で、宋刊本に極めて近い本文を有する古鈔本も伝存している。室町中期以後書写の古鈔本になると、本文は河上公章句本でありながら、宋人林希逸の「発題」を首に冠し、その注説が移写書き入れされるのが一般的となる。我が国に於ける『老子』刊行は、慶長元和期の古活字版に始まるが、此の古活字版には、河上公章句本と、林希逸虞齋口義本の両本があり、後者には実に四種もこの版が知られている。江戸時代前期に成る林羅山の注釈は、専ら虞齋口義本に拠り、此の系統の本が近世前半期を通して盛行することとなる。即ち、老子の解釈は、中世から近世にかけて、河上公章句から虞齋口義へとその依拠するところが遷移してい

く様相が、現存資料からも明らかである。

室町期の老子解釈は、本流として尚、旧来の河上公章句に拠りながら、宋学に誘発されて新興した林希逸の注説を参取導入し、やがてその新学に主流が移行していく過渡期の様相を呈している。このことは、他の経書解釈の変遷移行、即ち宋学の流入興隆とほぼ揆を一にし、当代の学問の動向と密接に関連した現象であることに留意しておく必要がある。

本抄には、後に詳述する如く、所々、林希逸の注説を異説として引載するところがあり、主体は河上公注の解釈でありながら、新注を参考採用してその流行の萌芽が認めらる。一方でまた、一睦、自牧、則円等、その事跡経歴は未だ詳らかにしないが、講述者と略同時代の諸家の注説に言及、批判し、更には先儒の説即ち博士家伝来の老子解釈を援用或いは弁正する等、老子注釈の遷移の具体を示す好個の資料である。本書は、中世以前に於ける老子学の蓄積を集約するとともに、近世に隆昌する新たな学問潮流の機兆を認知し得るところに資料的特徴が存すると言えよう。

伝存三本のいずれにも、奥書・識語等成立の事情、伝写・伝領の次第を示す記録は一切無く、著者、書写年代を明確にする

ことができない。伝存状況と叙述内容からも、又所謂抄物であれば、成立の時期は、室町時代中期以後であることには相違ないであろう。講述者に就いては、清原宜賢に擬するむきもあるが（山田英雄 清原宜賢について 『国語と国文学』昭和31・10）、もとより確証有つての定論ではない。然りながら、その蓋然性は多分に存するのであり、宜賢撰述抄物との内容にわたる仔細なる比較攷証を要しよう。

二、諸本

以下、各本の書誌事項を記述しておく。

〔老子経抄〕二卷〔近世初〕写 一冊 竹中重門旧蔵本 京都

大学文学部国文学研究室蔵（函架番号 国文学Tg45）

暗褐色表紙（二七・一×二〇・四糎）、外題無し、但、題簽剝落せし痕跡あり。料紙、楮紙。副葉紙前後各一葉。

序跋の類無く、首直ちに本文に入り、「老子経序此序ハ洪葛カ書ト云儀ハ義述ニ見タリ云々」と老子経序の注釈があり、総題を題さず。序注末、改行し「△老子道経」と題して経注本文の注釈に入る。卷二巻頭は、改葉し、「△老子徳経」と題す。尾題は無い。

無辺無界、字面高さ約二三糎、每半葉十四行、行字数廿六字
内外不等。

各章毎に改行、「養身章第二」等と章題を掲し、題頭に「△」
の標識を冠す。但し、第一章及び末の第八十一章には章題が無
い。各文段頭には「○」を冠して画す。本文漢字片仮名交じり、
文末助辞ナリ式の講述聞書体。引用原文には、概ね訓点を加え
るが、句点は無い。附訓は後掲兩本に比し、やや簡略である。
但し、此に有って彼に無き附訓も間々存する。

「竹裏館文庫」(朱無郭)、「山径書堂」(墨、無郭)、「月明
荘」(朱小長方)、「京都／大学図／書之印」(朱方)(昭和二十
八年二月十二日受け入れ登録印有り)の印記有り。

老子経抄二卷 [室町末近世初]写 二冊 財団法人陽明文庫

蔵

(函架番号 近口13)

濃縹色表紙(二七・二×二一・五糎)、書題簽「老子経抄 乾
(坤)」(近衛信尹筆、名和修氏の教示に従る)、料紙、楮紙。

本文首第二行「老子経抄」と題し、次行より「老子経序此序
ハ洪葛カ書ト云義ハ義述ニ見タリ云々」と序注あり。序注末改
葉し、「老子道経」と題し、老子本文の注釈に入る。卷下巻頭

は「老子徳経抄」と題す。卷上尾題「老子道経上」、卷下尾題
無し。

無辺無界、字面高さ約二一・九糎、每半葉十二行、行廿二字
内外不等。

各章頭に章題を掲すること前掲書に同じ、但、題頭には朱の
「△」の符標を冠する。また、第八十一章は、本行には章題無
く、朱で行間に「願質章」と加筆補入。文段を画する墨圈は、
卷下徳経部分にのみ存し、卷上には無い。漢字片仮名交じり文、
引載経注文には附訓(返点・送仮名・振仮名、連続符は無い)
あり、前掲書に比し、詳密なり。朱引、朱の句点、合点の書き
入れ、句点は殆ど各文節毎に付され、底本に比し細密である。
又引載経文等重要字句を朱の郭で囲み、引用の原文文左旁に朱
線を付す。朱の校字、希に墨筆で偽字を訂す。

尚、この本には、僅かながら前掲本には無い行間の補入加筆
が見られ、又、翻印末の二頁に見られる如く、手控え風の加増
部分が存する。

「近衛蔵」(朱長方)、「陽／明／蔵」(朱方)の印記あり。題
簽の筆跡に拠り、近衛信尹(永祿八八一五六五ノ年生、慶長一
九八一六一四ノ没)所持本と見做され、書写年代の下限を画し

得る。

老子経抄二卷 「室町末近世初」写 一冊 船橋秀相手沢本

京都大学附属図書館蔵清家文庫 (函架番号 一―67口)

栗皮表紙(二七・二×二〇・七糎)、「老子経抄 完」と墨

書さる。料紙、薄葉斐楮交漉紙。遊び紙前後各一葉。

本文巻頭、「老子経抄」と題す。書写次第、巻頭題署の体式並びに前掲陽本に同類。但、章題頭には朱の「〇」を冠す。

無辺無界、字面高さ約二三糎、每半葉十三行、行廿四字内外不等。

漢字片仮名交じり文、引載経注文には墨筆の返点・送仮名・振仮名・音訓合符連続符を付す。朱引(右―王朝名・地名・国名、中―人名、左―書名、左双線―年号)、朱の句点・合点の書き入れあり。

処々、譌字脱字を訂し或いは存疑の加墨が見られ、希に朱筆を交える。此の加筆及び朱引、朱の句点合点は、墨色筆勢から察て、後筆ではあるが、本文書写後程無く同一手によって施された加筆と見たい。又、希に行間に存する補入の文は、陽本と同文であり、本写本書写後の追補ではなく、所拠の底本が既に

行間に加筆されていたのに従い、そのままに、転写されたものと見做される。

「清原」(朱長方双郭)、「秀/相」(朱方双郭)、「船橋蔵書」(朱長方)、「京都/大学図/書之印」(朱方)の印記あり。

此の本は、第八十一章章題を、他の章題に合わせて標出し、陽本では朱で加筆されている処が、本行に写定されている等、陽本に比し、幾分体裁が整っている。伝存三本の内では、最も整理された本文を有す。本翻印の底本に選定した所以である。

三、伝存三本の本文上の関係

底本と陽本との関係 此の両本は、伝写に付随する誤写・脱落・衍文等による文字の異同、或いは、振仮名・訓点の詳略の差異が認められるものの、行文上、相違する箇所は殆ど無く、テキスト上からは同一本と見做してよい。意図不明の改行(14下15、21上14、37下9、40上16、42下5―本翻印の頁数、上―下段の別、行数を示す、以下同様の表記を用いる)、改葉(12下10)、誤脱(22下4、23下3、36上10、38下4、40下11、41上16、43上3・9、55下10、64下6、76上11、80下12)等双方共通する処が多く、また、一方の訂正補筆の処が一方に往々一

致し、希に行間に増入された文も、補入箇所、文章内容共に殆ど同一である。一方が一方の転写本である親子の關係と迄はいかないにせよ、同一祖本からの伝写両本とみなしてよく、極めて近い關係を有している。

京本と底本・陽本との關係 底本と陽本との近縁關係に比し、

京本は、やや懸隔した様相を呈している。まず、書写の形式から言えば、京本は全編を通して文段を「○」で以て画している。

底本・陽本は、下巻のみ「○」を用い、上巻には用いていない。

底本・陽本に有る本文終結後の加増と見られる部分（本翻印81

・82頁）が京本には無い。巻頭の大題を京本は欠く。底本・陽

本にみられる、行間補入の文は、京本には無いものと、本行に

組入れられているものとが有る。又、引載の原文の訓点が概し

て簡略である等、相違する面である。更に、脱文・衍文の箇所

を検討すれば、底本・陽本と共通する処は尠なく、京本が概し

て脱文が多い反面、底本・陽本の誤脱に因る文意不通の箇所を

補い、疎通する場合が多々ある。

もとより、三本共に、各文章は措辞用語悉く一致し、同一講

義の同一筆録に淵源することは明らかで、京本と雖も、テキス

トとして別系統に置く程の逕庭を有するものではない。

三本の關係について概要を述べれば叙上の如くである。しか

しながら、本文字句を少しく仔細に対照比較すれば、陽本と京

本との近似性も伺えるのであり、やや複雑な様相が察知される。

一つには陽本と京本の字句が一致して、底本と異なる場合が少

なくないことであり、又一つには、陽本の朱又は墨筆によつて

加筆或いは見消し訂正された部分を検討する時、その加筆訂正

される以前の本行の文字辭句が、往々京本の字句と合致するこ

とである。それらの事例の内いくつかを提示しておく。

一、陽本と京本の字句が一致して底本と異なる場合。

17上6 成象章六

成象章六

成象章第六

48上9

神ト云也

神ハ無方無体ノ神也天地ノ神也易ニ曰陰陽不レ計是ヲ

神ト云也

神ハ無方無体ノ神也易ニ曰陰陽不レ計是ヲ神ト云也

50上15

同異章

(京本)

(底本)

(陽本)

(京本)

(底本)

(陽本)

(京本)

同異章

(陽本)

貴賤ハ裏表也

(底本)

同異章四十一〔四十一〕三字補入)

(底本)

62下4 農事廢ト云ワ民モ珍物ヲ好ノムニ仍テ農事廢也農事又

52下9

沖氣以為和ト云ハ沖氣ト云ワ道也

(京本)

レハ飢寒至也 (京本)

沖氣以為和ト云ハ沖氣ト云ハ道也

(陽本)

農事廢ト云ハ民モ珍物ヲ好ムニ依テ農事廢也不農事又

沖氣以為和ト云ハ道也

(底本)

レハ飢寒至也 (陽本)

55上2

知ニ足之足ニト云ワ上ナル足ト云ワ世上ノ足也其ヲ吾レ

(京本)

65下16 或下以取ト云ワ大国ニカ、ル也以下云字ハ辭ハ字也

ハ是レカ至極ノ足テアルト思フカ下ナル足也

(京本)

飢寒至也 (底本)

知ニ足之足ニ上ナル足ト云ハ世上ノ足也其ヲ吾レハ是レ

(陽本)

或下以取ト云ハ大国ニカ、ル也以下云字ハ辭ハ字也

至極ノ足テアルト思フカ下ナル足也

(陽本)

或下以取ト云ハ大国ニカ、ル也以下云字ハ辭ハ字也

知ニ足之足ニ上ナル足ト云ハ世上ノ足也其ヲ吾レハ是レ

(底本)

或下以取ト云ハ大国ニカ、ル也以下云字ハ辭ハ字也

至極ノ足テアルト思フカ足也

(底本)

或下以取ト云ハ大国ニカ、ル也以下云字ハ辭ハ字也

56下9

兕ト云ワ似レ牛角ノ一アリ色青也不破ニ甲兵ニト云ワ甲

(京本)

或下以取ト云ハ大国ニカ、ル也以下云字ハ辭ハ字也

兵ハ皆ホコ也

(京本)

(底本)

兕ト云ハ似レ牛角一アリ色青也不破ニ甲兵ニト云ハ甲兵

(陽本)

一、陽本の加筆訂正以前の字句が京本に一致する場合。

ハ皆ホコ也

(陽本)

13下12 道万物ニ施シ生長サセルカ (京本)

兕ト云ハ似レ牛角一アリ色青也不破ニ甲兵ハ皆ホコ也

(底本)

道万物ニ施シ生長サセルカ (陽本)

61下4

貴賤ハ裏面也

(京本)

18下2 人モ多シ情欲ニ久ク世保ツヘキナント、スル者ハ早く亡

貴賤ハ裏面也

(陽本)

スル也 (京本)

人モ多_ニ情欲_ニ久ク世保_ツヘキナント、スル者ノハ早ク

亡ル也 (陽本)

人モ多_ニ情欲_ニ久ク世ヲ保_ツヘキナント、スル者ノハ早ク

ク亡ル也 (底本)

18下9 天下人カ敬_レ之程ニ先テ以官長トスル也 (京本)

天下人カ敬_レ之程先テ以_レ官長トスル也 (陽本)

天下ノ人カ敬_レ之程先テ以_レ官長トスルナリ (底本)

18上3 惣ノ庄老列ハ寓源ト云テ道理一取ヘキ為ニ万_二夏ノ譬ヲ

拳也 (京本)

惣ノ庄老列_(朱)寓源ト云テ道理一取ヘキ為ニ万_二夏ノ譬ヲ

ヲ拳也 (陽本)

惣ノ庄老列寓言ト云テ道理一取ヘキ為ニ万_二夏ノ譬ヲ拳

也 (底本)

19上7 衆人ハ賤所不_レ居也 (京本)

衆人ハ賤所不_レ居也 (陽本)

衆人ハ賤所_ニ不_レ居也 (底本)

47上7 吾カマ、スル_ヲナキ也 (京本)

吾カマ、スル_ヲナキ也 (陽本)

吾カマ、ニスル_ヲナキ也 (底本)

50上16 上士ト云ワ聖人也出_レ士上中下ヲ立也 (京本)

上士ト云ハ聖人也出_レ士上中下ヲ立也 (陽本)

上士ト云ハ聖人也於_レ士上中下ヲ立也 (底本)

67下1 百里奚愚_ニ於愚_ニ不_レ有_レ知_レ秦 (京本)

百里奚愚_ニ於愚_ニ不_レ有_レ知_レ秦 (陽本)

百里奚ハ愚_ニ於虞_ニ不_レ有_レ知_レ秦 (底本)

72下9 殷紂カ民ハ無道テ文王ノ民ハ正直ナル云此儀也 (京本)

殷紂カ民ハ無道テ文王ノ民ハ正直ナル云此義也 (陽本)

殷紂カ民ハ無道テ文王ノ民ハ正直ナリト云此義也

73上4 十ヲ可_レ言_ニ三三云ホトニ易_レ知也 (京本)

十ヲ可_レ言_ニ三三云程ニ易_レ知也 (陽本)

十ヲ可_レ言_ニ三三云程ニ易_レ知也 (底本)

今一つ、三本間の系流を考える上で留意さるべきは、一旦書

写整理された後、伝写に伴って幾分か加筆がなされ、その加筆部分が本文に定着していった形跡が伺われる点である。

一、第三十九章章句「白屋」に就いての抄で、底本には、

白屋ト云ハ、無_レ飾賤家ヲ云也、又エヒスノ_ヲ也、(49上14)

とあり、京本には「又エヒスノ_ヲ也」の七字が無く、陽本は

どうであるかと言え、本行は京本と同様で、行間に本文と同筆で、「白屋ト云ハ、エヒスノ、夏也」との加筆がある。

京本の同類本に加筆（陽本）、加筆された部分が本行に定着（底本）していった経緯が認められるのではなからうか。

一、立戒章第四十四末、底本には、

知足^ル足^ルヲト云ハ、足タルヲ、足タツト知ル者ハ、守

ニ真根^ニ者也、如此ナル者ハ、常ノ道ニ、足タル者ナリ、
(54上7)

の四十三字があるが、此の文は京本には無い。陽本では、本章本行は前文の「声色ハ、耳目ニカ、ル也、」で終結し、此の文は其の下の余白に小字を以て追記されている。（尚、此の抄文は本来、儉欲章第四十六の経文「故知足之足常足矣」に必ずべきで、此処に配されるのは適当ではない）

一、「顕質章八十一」（79上15）の章題は、京本は題せず、本章の抄文は前章末に直接して改行も無い。陽本は、本行は京本に同じく、行間に朱筆を以て「△顕質章」と補筆挿入されており、底本に至って、他章の章題の例に合わせて、「顕質章八十一」と標記する。

一、79下2の旁記、京本は「巧用章在」とあり、陽本は「巧用

章ニ在」と旁記し、その右に朱筆で「上卷ニアリ」と追記がある。底本はそれを「上卷ノ巧用章ニアリ」と一文にまとめている。

以上の事例から推察すれば、テキスト整理の流れとしては、概ね、京本↓陽本↓底本という系列が想定出来そうである。

しかしながら、伝写の系列は更に複雑であって、京本↓陽本という直系を否定せざるを得ない事例がある。即ち、陽本・底本では行間に追録されている次の文章が、京本では本行に挿入写定されていることである。

一、莊子ニ曰、大言里耳ニ不入ト云リ、下士聞道笑義也、（50下2）

一、本経ニ不笑レト云、点ヲ仰セタルハ、注ニ所笑レト云、所テ字ヨリ見テ、不^レ笑レト点スルナリ、（51上7）

一、半領トハ、如此書也、○我ト云ハカシコ、テハ中衣ト注スル也、（53上7）

校異に於いて指摘したように（50頁14・51頁5・53頁5）、京本の挿入箇所はいずれも適切ではなく、陽本・底本の如く行間に加筆されていた文を、京本が誤って挿入書写したと考えるのが自然で、陽本の書写状況からみて、陽本の筆写者が京本の

如き伝本に拠って脱落誤写し、其の文を後に行間に補つたとみるのは穩当ではないであろう。従つて、此の事例からは、陽本同類本↓京本同類本という系列も考慮せざるを得ない。

もとより、管見の三本のみを以てしては、伝写の系列、本文系統を鮮明にすることは難しく、当然、三本以外の複数の伝写本の介在を想定すべきであり、新たな伝本の出現を冀望して、後放を期したい。

四、内容に関する覚書数条

林希逸注説

概要に於いて述べた如く、本抄には、宋人林希逸の老子注釈である「虜齋口義」を参照する所がある。既述のように、「虜齋口義」は室町後期以後書写の老子古鈔本に書き入れとして見られるようになり、江戸時代前期に盛行する老子注釈である。本抄に於いても、その比較的早い時期の、新注受容の一端が認められる。多くは句義と称しているが、口義のことである。以下、口義参照の箇処を章次を逐い抽出列挙しておく。注解の対象となる本経本注の文辞を「」を付して掲出する。

五章

〔橐籥〕句義ノ作者、林希逸カ心ニハ、二字共ニ、鍛治ノフキ也、籥ハフキノ口ノ、トコノヤウナル所ヲ云也、(16下12)

九章

〔恃而盈之〕恃ト云テ、句義ニハ、テヘンニカク、余本ニハ、リツシンヘンニ書、イツレカ、善ナルヘキトハ、不ニ分明也、(20上17)

十五章

〔故能弊不新成〕句義ニハ、弊ハ故也、故ハ新ニコタヘル字也、如_レ故不_ニ新成_ト云、(27下16)

二十二章

〔弊則新〕句義ニハ、弊ハ故也、故ニ新ニコタフ字也、(33下9)

二十四章

〔跛者不立〕句義ニハ、跛トアリ、(35上15)

〔跨者不行〕句義ニハ、跨マタカルトアリ、(35下2)

二十七章

〔是謂襲明〕句義ニハ、襲ハ蔵也、カクスト云心也、(38上8)

三十三章

〔死而不妄者寿〕句義ニハ、孔子ノ朝聞道、夕ニ死可ト、仰アル此心也、(43上4)

三十五章

〔樂与餌過客止〕亦句義ニハ、樂ヲクラカケニ樂シテ、餌エハニスル也、面白キ樂、亦食物トニハ、客人留ル者也、道ハ吉叟ニ、付クト云心ヲ、取ヘキタメノ譬也、(44上13)

三十六章

〔魚不可脱於渊〕句義ニハ、渊ヲ道ニ譬ヘ、魚ヲ人ニ譬也、(45下14、二本並錯簡、45上7に置くべし、下文参照)

三十九章

〔下五事〕(注) 一睦ハ、句義ニハ、谷ト万物トヲ、接ノ一ニシテ、五事ナルヘキト也、(48下4)

六十七章

〔故能成器長〕口義ニハ、器ハ形也、是モ形テ成就シタト云ハ、万物也、(71上5)

諸家注説の引用

本抄講述者と略同時代の、学僧とおぼしき一睦、自牧、則円(37上8)、正徳(59下1)の注説、また説者の名は明記しな
いが「或説」(48下2)、「或人」(2下11、59下4)、「遠侍者」
(7下15、78上9)、「遠者」(28下17、40上7、44上1、72上1)
の解釈、異説別解異訓(68下5、73上15等)の引用批判があり、

今、伝わらない当時の講説或いは注釈書複数の存在が推知される。いずれも本書に拠ってその内容の一端が窺え、本書の貴重性を増している。次に、一睦及び自牧の所説を列記して挙げる。
△一睦注説▽

序

〔真人〕亦一睦ハ、愛氣養神、益壽延年、其徳如此ナルヲ、真人ト云トアリ、徳経ノ五十四章メニ見タリ、(2下8)

〔解形還神〕亦一睦ハ爰ヘシテ出ルヲ爰ヲ解形返神也、(2下14)

〔為守藏室史〕一睦ハ、守藏室史タルトキト、ヨミテ、ヲノ点ヲ不付誦也、(3下17)

〔变化無常〕亦一睦ハコ、ヘ、「代ニ」チャツクト、変現ノ、出ラル、所ヲ、变化無常、御誦アル也、(6上16)

〔九宮〕亦一睦ハ、天ハ九道ト云テ、天ニ九ノ道アルト云義アリ、(8下5)

一章

〔道〕一睦ハ、理ハ道也、万物ノ上ノ理ヲ見テ、道ト名付ルト也、(10上13)

〔吐氣〕(注) 一睦ハ此氣ト云ハ、混沌ト、シタツシ内ヨリ、

發動ノ、一氣生タル氣トアリ、(11上12)

〔觀其妙〕一睦ハ、妙ハ一文字ト心得ヘキト也、(11下9)

〔道讚叙〕(注)一睦ハ、讚、解ノ字ノ心トアル也、(11下15)

〔衆妙之門〕一睦ハ、門ハ万物、各ニ出テ立テ出ルヲ、門ト取也、(12下1)

二章

〔美・善〕一睦ハ、當時ニ叶ヲ善ト云、事理ニ叶ヲ美ト云、當時ニ叶ト云ハ、古ヘノ法度ニハ、不_レ叶トモ、當世ニ叶タルハ、當時(ニ)叶也、夏理ニ叶ト云ハ、古モ今モ叶タルヲ云也、(12下17)

〔見有而為無也〕(注)一睦ハ、見_レ有_レ為_レ無、見_レ有_レ无トセハ、

ヨカルヘキト也、難ヲ見テハ、易シトセハ、ヨカルヘキ義也、以下皆同心也、(13下2)

〔而不辭〕一睦ハ、道ハ万物ニ施シ、生長サセルカ、ハヤ退囈シタホトニ、半ハマテ辭退シテ、万物ヲ生長スル夏ヲ、止ヘキトハ、不思也、イツマテモ、自然ニ行者也、(13下12)

〔君開一源〕(注)一睦ハ、君カ善テモ、惡テモ、一源ヲ開ケハ、下ニハ生_三百端_一也、(14上14)

四章

〔道沖而用之〕一睦ハ、道沖而用_{タリ}之、(15下1)

六章

〔成象〕一睦ハ、万象トモ云、万物トモ云ホトニ、万物成就シタル義也、(17上6)

八章

〔易性〕一睦ハ易イト、心得テアルト、アソハス也、(19上1)
〔内影〕(注)自牧一睦ハ、水ニ万物カ、望ニ見ルニ、影ハ水ノ内ニアルト、アソハスナリ、(19下11)

九章

〔運夷〕一睦ハ運ハ、天ノ運數、夷ハ平也、タイラカト云心ニ、アソハス也、(20上13)

十七章

〔太上〕太上ト云ハ、太古也、伏羲以前ヲ云也、一睦ハ時代ヲハ、不_レ指也、(28下16)

二十章

〔我独頑〕此頑ノ字ヲ、スルコトナシト、ヨマセタルハ、注ニ本トツイテ、先儒達、ヨマル也、一睦ハ、カタクナ、リト、ヨンテ、ヨカルヘキト也、(32上12)

三十六章

〔不可以示執夏之臣〕(注)亦一睦ハ、此執夏ハ、我カ執夏ノ、

大臣下ナントニモ、治_レ国大夏ノ、權道ヲハ、示スマシキト也、示タレハ、ヲツ取テ不_レ販₊、背_レ主者也ト、アソハス也、

(45上16)

〔老子道德經〕一睦ハ、道ヲ不_レ離、心得タルカ吉ト也、此德

ハ、道ヨリ得ル德也、(46上5)

三十八章

〔賦下〕(注)一睦ハ、賦_レ下ト云ハ、下ニ年貢、賦斂ヲ取義ト

アル也、(47上13)

三十九章

〔下五事〕(注)一睦ハ、句義ニハ、谷ト万物トヲ、接ノ一ニ

シテ、五事ナルヘキト也、(48下4)

四十章

〔去用章〕一睦ハ、此章ハ不審也、此去ノ字ハ、コ、ヨリ、ア

ユミヲ、ハコソテ、遠ク行ク時ハ、上声ナリ、始ヨリ、兩方

ニ相去テ、居ルハ去声也、此章心得カタキト也、乍_レ去有無

ニ、(相)去ルト心得ヘキカト也、(49下14)

四十七章

〔家給〕(注)一睦ハ、爰ヲ其ノ家々ヲ、次第々々、付テ行心

也、(55下6)

五十三章

〔益証章〕一睦ハ、証ハ、シルシ、亦証明也、(58上10) 八講

述者一益_レ証_レ義也、_レ 述者一益_レ証_レ義也、_レ

〔夷平也大易也〕(注)一睦ハ大易也ト云、三字ハ、心得ヌト

テ、アソハサヌ也、(58下12)

五十五章

〔玄符章〕一睦ハ、道ヲモ、玄ト云德ヲモ玄ト云ホトニ、道德

ニ符_{カテフ}、符ハカナフトヨムナリ、(59下17)

〔益生日祥〕一睦ハ、此益_レ生ト云ハ、无為ノ以_レ道益_レ生ヲ義

也、是レハ吉方也、心使氣ト云ヨリ、悪キ方也、(60下9)

五十六章

〔玄德章〕一睦ハ、道ヲモ玄ト云、德ヲモ玄ト云ホトニ、此章

ハ道德トアソハス也、(60下14)

五十七章

〔百里諸侯〕(注)百里諸侯ト云ハ、夏ノ代ニハ、諸侯ハ、百

里ノ国ヲ持也、雷声ハ百里ヨリ外ハ、不_レ聞者也、故ニ百里

ニ相定也、此心ニ天地ノ間ニ於テ、音大ナル者ハ雷也、又天

下ノ内ニ、諸侯ヨリ大ナル者ナキ也、是レ一睦ノ義也、(62

下10)

〔法物滋彰盜賊多有〕法物ト云ハ、珍好ノ物也、法物ト云ハ、

上ニカケテ可_レ見也、刻画、雕琢類、皆法物也、人君ノ、如

此アル時ニハ、民ヲ勞シ使程ニ、農事廢レテ、盜賊多有ル也、

(62下15)

〔我脩道承天〕(注)承_レ天ト云ハ、任_レ天道ニ義也、殷紂夏桀ヲ

伐ハ、皆承_レ天義ナリ、皆一睦義也、(63上1)

五十九章

〔治人事天〕一睦ハ仁義礼智信ヲ用テ、可_レ治民也、東ハ仁、

南ハ礼、西ハ義、金也、物ヲコトハル方也、北ハ信也、此レ

ヲ以テ、民ヲ治ムヘキト云心也、(63下14)

六十九章

〔玄用章〕玄用ハフカク用ル義也、一睦ハ、玄道也、(71下7)

〔不敢進寸而退尺〕毛詩ニ云伐_レ柯伐_レ柯不_レ遠_レ其則_レ、遠者ト

論ノ時、此語ヲ一睦引也、其故ハ既ニ上句ニ、不_レ敢為_レ主而

為_レ客ト云ホトニ、下句モ尺ニ退ヘシト也、(71下8行間)

〔行無行〕一睦ハ、行无_レ行ト云ハ、人ナミ_レ行キハスレト

モ、直ニ我カ、劔兵ヲ取テ、不_レ伐、是レカ行無行義テアルト、

アソハス也、(72上11)

〔不忍喪〕(注)一睦ハ、不_レ忍_レ喪アソハス也、コラヘスノ、

不道ノ君ヲ喪ト云義也、(72下14)

七十章

〔被褐懷玉〕褐ハ爰本ニアル、シト子ト云者ノ類也、一睦ハ、

褐ハヲワタテ、アルトアソハス也、(73下3)

七十三章

〔天之道不爭而善勝不言而善處〕一睦ハ、爰ニ人多ケレハ、勝

レ天トモ、語引也、不_レ言而善處ト云所ニ、天何_レ言哉_レ、語ア

リ、(74下11)

七十九章

〔天心〕(注)一睦ハ、此天心ヲハ、万人ニカケテ、一人ノ吁

嗟キアレハ、万人ノナケキト云心也、(78上7)

〔自牧注說〕

序

〔驕氣与多欲〕亦自牧ハ、驕氣ハ、仁義礼智信ノ五常ノ道、可

レ行思フハ、ヲコツタル氣也、多欲ト云ハ、五常ノ道、行テ

後代ニ、伝ヘキト思フハ、多欲也ト誦也、(5上9)

一章

〔衆妙之門〕自牧ハ、此門ハ、万物迷テモ、悟モテ、生死ノ二

ツニハ、此門ヲトラテハ、叶ハヌホトニ、至テ深キ、万物ノ微妙ト云也、(12下2)

七章

〔非以其無私耶〕亦自牧ハ、無私云義ニアソハス也、(18下14)

八章

〔内影〕(注) 自牧一睦ハ、水ニ万物カ、望ニ見ルニ、影ハ水ノ

内ニアルト、アソハスナリ、(19下11)

九章

〔先揣之後必弃捐也〕(注) 自牧ハ、能ク揣メテ、長ク可レ保ラ

モハモハ、後ニ必弃捐スル心也、(20下7)

〔金玉滿堂莫之能守〕自牧ハ、金玉滿堂、莫之能守ト、ア

ソハス也、(20下11)

十七章

〔太上〕自牧遠者ハ、太古ト云ハ、伏羲以前ヲ、指ヘケレトモ、

先ツ爰テ、時代ヲ指ハ、太上ヲハ、三皇ノ代ニ指也、(28下17)

先儒達の注説

本注釈は所謂抄物として室町期の成立と見做されるが、その時期より以前に於いて累積されて来た、博士家を中心とする老子解釈の伝統を踏襲遵守しているであろうことは、当然窺察さ

れるところである。その推測の妥当性を裏付ける事例として次の一条を挙げておく。

32上11 頑ト云ハ、無為也、此頑ノ字ヲ、スルコトナシト、ヨ

マセタルハ、注ニ本トツイテ、先儒達、ヨマル也、一睦ハ、

カタクナ、リト、ヨシテ、ヨカルヘキト也、雖然先儒ノ、

ヨミツケニ任也、

家ノ点

言うまでもなく、訓点は漢籍注釈における重要な要件であった。本書でも訓みに就いての講釈が少なくなく、特に注目されるのは、「家ノ点」への言及である。此の「家」が、所謂博士家を意味するものであるか、講述者の家を指すものか詳らかでない。底本が清原家旧蔵本であり、講述者が宣賢である蓋然性が高いとすれば、いずれにしろ同義とはなるが予断は許されない。此処で注意すべきは、下の事例の(4下14)(12下14)によって明らかな如く、講述者の訓みと「家ノ点」とを並記対照させ、寧ろ「家ノ点」を参考として補足的に扱っている点である。「家ノ点」に拘泥しない講述者の態度が窺われる。又此の異訓への言及は、現存古鈔本の訓点書き入れと比較する時、伝本の伝流系統を考察する上で、無視出来ない要件となるであ

ろう。「家ノ点」に關しての講述には次の諸条がある。

序

〔入婦人胞中〕胞ノ中ヲ誦ハ家ノ点也、(2下17)

〔蓬累而行〕亦家ノ点ニハ、蓬累カシラカ、ヘ、ミタリカハシ
フノ、ユクトヨム也、(4下14)

二章

〔斯惡已〕斯惡已ト云ハ、美ヲ美ト知タルハ惡也、斯惡^{ニクム}己^ヲ
ヨムハ、家ノ点也、(12下14)

十三章

〔吾無身〕ナイカシロニスルトヨムハ、御家ノ点ニヨム也、
(24下15)

二十四章

〔操行〕家ノ点ニハ、操行ノ二字ヲ、コ、ロハセトヨム也、
(35下6)

五十七章

〔天下多忌諱〕天下ヲ、キミトヨムハ、家ノ点也、注ニ天下ト
ハ、謂ニ人主ニアルニヨツテ、ヨム也、(61下15)

異本

更に注目すべきは、次に挙げる如き「異本」「余本」「戈本」

「古本」等別本との校合成果が認められることである。此れに

より、講述當時に於ける伝本諸相の一端が推知せられ、現存古
鈔本諸本の、輻輳した本文の異同關係に脈絡をつけ得て、伝
本系統を検討する上で少なからぬ便宜が期待される。

序

〔醫〕亦異本ニハ、^{イクルミ}繕ニ作也、(5下4)

〔居周年久〕年ト云字ハ、ナキ本モアリ、有ル本モアリ、(5
下14)

〔高七百余丈〕七百余丈ト云本モアリ、亦百余丈ト云本モアリ、
多クハ七ノカナヲ、書テアリケナト云義アリ、亦七百余トヨ
ム人モアリ、是非ヲハ不^レ分也、(9上13)

一章

〔道可道章・体道章〕道可道章ト立ルハ、河上公分ツ章也、經
ノ三字ヲ取テ、章ニ立ル^レ叟ハ、毛詩ニ本トツイテ、如此章ニ
立也、体道章ト云ハ、誰カ立タルトハ不^レ知、然レトモ、学
者ノ為誦也、(9下15)

二章

〔不言不可知〕(注)不^レ言不^レ知者也、知ルト云本モアリ、イ
ツレモヨキ也、(14上10)

九章

〔恃而盈之〕恃タノシテト云ヲ、句義ニハ、テヘンニカク、余本ニハ、

リツシンヘンニ書ツカ、イツレカ、善ナルヘキトハ、不ニ分明也、

(20上17)

〔富貴而驕遠自遺其咎〕富貴而還テト云ハ、戈本ニハナシ、

(20下11)

十章

〔淨能無疵病乎〕(注)淨ニ、能無ニ疵病ト云ハ、淨字ハ、ナ

キ本モアリ、(底本)

淨ニ能無ニ疵病ト云六字ハナキホンモアリ(京本)(21下14)

二十四章

〔善思章〕本經ニハ、苦恩章トアリ、以異本ニ勘也、(35上12)

三十章

〔行善者当果敢而已不休也〕(注)行善者ハ、当ニ果敢ニ而已不休

也ト、ヨム点ハ凶也、古本ニハ如此アリ、(40上9)

五十二章

〔販元章〕題号ヲ、販元ト云ハ、ナクノ、滞無トシタル本、在

之、(57上17)

五十三章

〔夷平也大易也〕(注)夷ハ平ニノ、大タイ易ナリトヨム、余

本ニ、中ナル也ノ字ハ、ナキト也、(58下11)

五十五章

〔知和日常也〕知ヲ和ヲ、曰ト常也ト云テハ、和氣柔弱ナルハ、人

ノ身ニ有ル益ト、知タル者ノハ、常ノ道ヲ知者也、亦曰ト常

本モアリ、イツレモヨキ也、(60下2)

引用・参照書名等

易 11下16 (1章)、33下13 (22章)、35上6 (23章)、48

上10 (39章)

易ノ火珠琳 49上2 (39章)

尚書 77上13 (78章)

尚書ノ序 11上6 (1章)

尚書ノ序ノ正義 51下5 (41章)

毛詩 9下16 (1章)、71下7行間 (69章)

毛詩ノ正義 49上16 (39章)

礼記 7下12 (序)

左伝 11上5 (1章)

杜預カ注 77下6 (78章)

孝経 34下1 (22章)

大学 42上1 (32章)
 論語 20上16 (9章)、55下3 (47章)
 論語ノ序 9下1 (序)、9下12 (1章)
 略礼部韵 81下11 (尾)
 毛韵 81下12 (尾)
 史記 7下4・10 (序)、81上13 (尾)
 漢書 24上9 (12章)、67下2 (62章)
 論ノ法 46下10 (38章)
 兵書 81下15 (尾)
 医書 27上4 (15章)、81下16 (尾)
 事林広記 1下11 (序)、29下9 (18章)
 事林広記ノ図 79下10 (81章附)
 楞嚴経 30下10 (20章)
 梵網(納)古迹 60上3行間 (55章)
 ウラホン経 29下10 (18章)
 述義(義述) 1上2・4・6 (序)
 莊子 4上12 (序)、12上8 (1章)、14下10・15上1 (3章)、44下4 (35章)、50下2 (41章)、56上3 (49章)、70下5 (67章)、74上9 (72章)

伊勢物語 37上9 (26章)

錯簡・誤脱

本書には三本に共通して次の如き明らかな錯簡が存する。此処に指摘訂正しておく。

一、卷上為政章三十七の末「句義ニハ、洵ヲ道ニ譬へ、魚ヲ人ニ譬也、」(45下14)の文は、微明章第三十六の経文「魚不可脱於洵」に対する林希逸の注を引いたもので、本抄では、「魚不可脱於洵ト云ハ、下句ヲ云ヘキ為ノ譬也、其故ハ、魚ヲ洵ニ脱テ、後ハ、二度ト不抱也、」(45上5〜7)の文に続くべき文辞である。

一、玄符章第五十五の「鋭為ノ二字ハ、同ス、ムナリ、」(60下8)の文は、底本・陽本の旁記に「次ノ章ノ注ニアリ」と言う如く、玄徳章第五十六の経文「挫其鋭」の章句「情欲有所鋭為当念道無為以挫止之」に対する注釈であり、本抄では「欲絶其源ト云ハ、善ニモ、悪ニモ、源カアル者也、是ハ悪キ源ヲ、絶ヘキ為ナリ、」(61上2・3)の文段の次に配されるべき文辞である。

上述の如く、三本共に伝写に伴う譌脱が少なくない。就中、京本は底本・陽本に比しそれが顕著である反面、底本の誤写衍

脱を補訂出来る箇所も又多い。次に、その事例を挙げて、本書理解の爲の一助として、本稿の結びとしたい。

4 上16 先王迹尋テ、用イ事テアルト、孔子ヲ非ル心也、

(底本)

先王ノ迹尋テ用無イ事テアル孔子ヲ非ル心也

(京本)

4 下13 有レ能人ヲ不得時ハ、

(底本)

有レ能人ヲ不得時ワ

(京本)

7 上7 用ト云ハ、再興ト見タリ、

(底本)

興用ト云ハ再興ト見タリ

(京本)

8 上2 自是以下ハ、道経ノ分ヲ云ナリ

(底本)

自是以下ハ道経意経ノ分ヲ云也

(京本)

8 下8 九宮、九州ニ、応ノ此章ヲ、分ツコトヲ、九ニノ九々

八十一カ、数ノ極メ也、

(底本)

九宮九州ニ應ノ此章ヲ分ツ叟ヲ九ニノ九々八十一章ニ

分也如此陽ノ数モ九々八十一カ数ノ極也

(京本)

16 上9 法^テ道安靜弱ナルヘキ也、

(底本)

法^レ道安靜柔弱ナルヘキ也

(京本)

16 上15 天施ト云ハ、天ヨリ一氣ヲ施シ、雨露ヲ施シ、地ヨリ

五行ヲ出テ、化スルト云ハ、柳ハ緑リ、花ハ紅ト成

ハ、化スル義也、

(底本)

天施ト云ワ天ヨリ一氣ヲ施シ地ヨリ五行ヲ出テ化スル也
化スルト云ワ柳ハ緑リ花ハ紅ト成ハ化スル義也

(京本)

16 下14 虚ニノ而、愈出ト云ハ、

(底本)

虚ニノ而^レ屈動而愈出ト云ワ

(京本)

19 上16 牝ハ取レハ女ニ也、獸ノ時ハ、女獸也、

(底本)

牝ハ人ニ取レハ女也獸ノ時ハ女獸也

(京本)

22 下3 生而不^レ有ト云ハ、道万物ヲ、生長^レアルトテ、宰割、

器ニ作ランスル、亦屋具足ニスヘキナントハ、セヌ

義也、

(底本)

生而不有ト云ワ道万物ヲ生而モ取テ我カマ、ニセヌワ

不有義也○不宰ト云ワ道万物ヲ生長^レアルトテ宰割

器ニ作ランスル亦屋具足ニスヘキナントハセヌ儀也

(京本)

26 上4 迎ト云字ノ心ハ、居ナカラ、物ニ迎者也、亦門ヨリ、

外ニ出テモ、迎者ナルカ、迎時ハ去声也、爰テ居ナ

カラ、迎時ハ上声也、

迎ト云字ノ心ワ居ナカラモ物ニ迎者也亦門ヨリ外ニ出

テモ迎者ナルカ出テ迎時ハ去声也爰テ居ナカラ迎時
ハ上声也 (京本)

30上15 此三者ト云ハ、絶_レ聖_レ弃_レ智_一也、絶_レ仁_レ弃_レ義_二也、絶_レ仁_レ弃_レ利_一是_三也、 (底本)

三者ト云ワ絶_レ聖_レ弃_レ智_一也絶_レ仁_レ弃_レ義_二也絶_レ巧_レ弃_レ利_一是_三也 (京本)

30下10 楞嚴經ニハ、唯ト何トアリ、余ニハ、唯与_レ何アリ、
多クハ、阿カヨカルヘキ也、 (底本)

楞嚴經ニハ唯ト阿トアリ余ニハ唯与_レ何アリ多ハ阿カ
ヨカルヘキ也 (京本)

31上13 如此上ノ人ノ、多情欲_一、盛ナル躰カ、アル也、 (底本)

如此世上ノ人ノ多情欲盛ナル躰カアル也 (京本)

31下12 若無_レ所欲ト云ハ、 (底本)

若_レ無_レ所_レ販ト云ワ (京本)

32上8 志意在_ニ神域_一ト云ハ、上来ノ如ク、飛揚_ノアルトテ、

意ナキテハナイ、心在_ニ域_一也、 (底本)

志意在_ニ神域_一ト云ワ上来ノ如ク飛揚_ノアルトテ意_一ロナキ
テハナイ心ハ在_ニ神域_一也 (京本)

34上15 曲則全トハ者、豈_ニ虚言_一哉ト云ハ、古ヘモ、我身ヲ、曲

ル時ンハ、身全シト云、辞アルカ、豈_ニ虚言_一ニテ、
アツタヨト、爰ニテ、ヲトシツクル心也、 (底本)

曲則全トハ者豈_ニ虚言_一哉ト云ワ古ヘモ我身ヲ曲ル則ン
ハ身全シト云辞アルカ豈_ニ虚言_一テハナイ正言ニテア

36上10 不_レ殆ト云ハ、在_ニ陽_一不_レ焦_一吾ハ老子也、 (底本)

不_レ殆ト云ハ在_ニ陽_一不_レ焦_一吾ハ老子也、
穿_一〇吾不_レ知_ニ其名_一ト云ワ吾ハ老子也 (京本)

38下3 不_レ愛_ニ其資_一ト云ハ、師ノ坊カ、才子ヲ不_レ愛也、言ト
云ハ (底本)

不_レ愛_ニ其資_一ト云ハ師ノ坊カ才子ヲ不_レ愛也注_ニ無_レ所
使ト云ワ坊主カ才子ヲ無_レ所_レ使也〇注_ニ言_一ト云ハ

39下16 好スルト云心ハ、善カ吾カ身ニ還リ、悪ヲ行ヘハ、悪
カ我身ニ、還ルト知テ、慎メハ、悪ハ不_レ来好也、 (京本)

好スルト云心ハ善_一行_ニ善_一吾身還リ悪ヲ行ヘハ悪カ我身
還ルト知テ慎_一悪_一不_レ来好也爰好スト云也 (京本)

40下11 物ト云ハ、万物、貴_レ左ト云ハ、 (底本)

物ト云ハ、万物、貴_レ左ト云ハ、 (底本)

物ト云ハ万物也○不處ト云ワ老子如キノ有道人ハ其

52上6 道生^{ナス}一ト云ハ、道ハ、言語ニ、不^レ渡所ヨリ、一氣発

国ニ不^レ処也○居則貴^レ左ト云ワ

(京本)

41上16

爰本ニテノ、副將軍、不殺方ヲ、賤キニ取也、(底本)

動ノ、生タル所カ、一カ混沌未分ノ所、一未^レ生前

爰本ニテノ副將ト云位也人ヲ殺処テハ殺^レヲ貴程ニ

道生^レ一ト云ワ道ハ言語ニ不^レ涉所ヨリ一氣發動ノ生タ

不^レ殺者ノハ賤キ也爰テハ不殺方ヲ賤キニ取也(京本)

ル処カ一也一カ混沌未分ノ処一未^レ生前^キヲ發起以前

43上2

若ク二十四ノ間ニテ、死ヌル^レ凡、不^レ守^レ道、妄ニシ

55下9

ト云也 (京本)

テ死ヌル者、命短也、

(底本)

曰益ト云ハ、有為ノ学ヲスレハ、曰情欲益也、(底本)

若ク三十四ノ間ニテ死ヌルトモ守^レ道不^レ妄者^ハ壽道^{イノチナカキ}

曰益ト云ハ有為ノ学ヲスレハ日ニ情欲益也○為道日損

理也老テ百ハカリニテ死ヌルトモ不^レ守^レ道妄リニ

ト云ハ自然道ヲスレハ日ニ情欲ヲ損也 (京本)

死ヌル者ハ命短也

(京本)

60下2

知^レ和曰常也ト云テハ、和氣柔弱ナルハ、人ノ身ニ

43上8

任^レ成ト云ハ、万物ノ成就シタルニ、任ト心得ヘキ也、

有^レ益ト、知タル者ノハ、常ノ道ヲ知者也、亦曰常

汜兮ト云ハ、

(底本)

本モアリ、イツレモヨキ也、 (底本)

任^レ成ト云ワ万物ノ成就シタルニ任スル心也功成而不

知^レ和日常ナリト云ハ和氣柔弱ナル人身ニ有^レ益ト知タ

名有ト云処ニカ、ル也成ノ字ハ何クニテモ成就ト心

ル者ノハ常ノ道ヲ知者也亦曰常ト本モアライツレ

得ヘキ也○汜兮ト云ワ

(京本)

モヨキ也 (京本)

51上10

如此、太正人ハ、委曲ナル事モ、廉直ナル事モ、ナ

64下6

莅^レ天下ト云ハ、其鬼神、人ニ不^レ神ト云心也、(底本)

キ也、

(底本)

莅^レ天下ト云ワ以^レ道^レ應居^レ位莅^レ天下^ニ義也○其鬼

如此大方正人ハ委曲ナル事モ廉直ナル事モナキ也

ト云ワ鬼神也不^レ神ト云ハ其鬼神人ニ不^レ神ト云心

(京本)

(京本)

72下1 仍無敵ト云ハ、仍ト云モ、互ニ仍引テ、争フ方也、

仍テ无道ノ君ヲハ、殺トモ、无_レ罪民ヲ殺_レノ、敵トスルホトニ、无敵ト云也、

(京本)

仍無_レ敵ト云ワ仍ト云モ互ニ仍ト云モ互ニ仍引テ争フ方也仍イテ无道ノ君ヲハ殺トモ無_レ罪民ヲ殺_レノ敵トスル_レ更ナキホトニ無敵ト云也

(京本)

76上11 以_レ其求情欲多_レノ、人ノ物取貪リヲイテ、二百マテモ、二百マテモ、生_{イキ}スルト、求ルニ依テ、輕ク死也、

(京本)

以_レ其求_レ生之厚也ト云ハイカヤウニモ百ヲ二百マテ

モ二百三百マテモ生スルト求テ情欲多クシテ人ノ物

取貪ライテ二百マテモ三百マテモ生スルト求ルニ依

テ輕ク死也

(京本)

78上6 天心ト云ハ、我ヨリ受タル心也、人々天ヨリ、心ヲ受

ル者ナルホトニ、天心ト云ナリ、

(京本)

天心ト云ワ我天ヨリ受タル心也人々天ヨリ心ヲ受ル者

ナルホトニ天心ト云也

(京本)

78下12 部曲ト云ハ、分也、曲ハムラ也、其村々々ヲ、分心也、

(京本)

部曲ト云ハ部ハ分也曲ハムラ也其ノ村々々ヲ分ツ心也

(京本)

80下10 換鵝經ト云ハ、王義之ト云モノ、山陰ト云処ニ、道士

三人アツテ、鵝ト云鳥ヲ飼ケルヲ、王義之所望シケ

レハ、彼ノ道士、老子經ヲ、書テ出_レノ、此鳥ヲ得ル

ホトニ、換_カ我ニ經ト云也、王義之ハ、勝レタル、

手書ナル故也、道士ハ仙人也、

(京本)

換鵝經ト云ハ王義之ト云者ノ山陰ト云処ニ道士三人ア

ツテ鵝ト云鳥ヲ飼ケルヲ王義之所望シケレハ彼ノ道

士云老子經ヲ書テケレタラハ鳥ヲ可_レ出ト云ケリ其

時王義之老子經ヲ書テ出シテ此鳥ヲ得ルホトニ換

鵝經ト云也王義之ハ勝レタル手書ナル故也道士ハ

仙人也

(京本)

本稿作成に当っては、貴重書閲覧・複写・翻刻許可等につき、京都大学附属図書館・同文学部・財団法人陽明文庫より種々御高配を賜った。関係者各位の御芳情に対して心から謝意を表す。